

A. 消化管・腹膜

<i>P.1.....</i>	<i>2005年</i>	<i>卒業試験</i>
<i>P.13.....</i>	<i>2004年</i>	<i>卒業試験</i>
<i>P.25.....</i>	<i>2003年</i>	<i>卒業試験</i>
<i>P.39.....</i>	<i>2005年</i>	<i>概説試験</i>
<i>P.55.....</i>	<i>2004年</i>	<i>概説試験</i>
<i>P.70.....</i>	<i>2003年</i>	<i>概説試験</i>

2005年度卒業試験（復元）

平成17年11月1日実施

1人1人に問題等が入った封筒を手渡し、それぞれ学籍番号を振っており、持ち帰りは超困難。全部で75問、そのうち画像問題が20問。傾向は国試に近づく（易化）。画像は典型的なものばかりなので国試問題集で慣れておけばよい。治療（抗癌剤）、遺伝子についてマニアックな問題が数問みられたが、その他は悩むような問題は少なかった。

【1】 次のうち正しいものの組み合わせ

- a.吐血によるものは暗褐色を呈することが多い。 b.喀血による喀血物は強酸性のものが多い。
c.テネスマスは十二指腸潰瘍により起こることが多い。 d.頭痛に伴う嘔吐は腹痛を伴うものが多い。
e.上部消化管出血に伴う下血は黒色が多い。

1ab 2ae 3bc 4cd 5de

解答 2 a:血液が胃酸によって酸化されコーヒー残渣様になる。

【2】 上部消化管造影 X 線検査について正しいのはどれか？

- a.消化管の蠕動運動を抑制するため、抗コリン薬を投与する。 b.胃液や残渣の貯留があると、粘膜へのバリウムの付着が不良となる。 c.充満法は、胃角を含む胃の辺縁の評価に有用である。
d.二重造影法は、粘膜の微細構造の評価に適している。

1.a),c),d) 2.a),b) 3.b),c) 4.d) 5.a～dの全て

解答 5

【3】 注腸造影検査について正しいもの

- a.大腸内の便や残渣を少なくするため下剤を用いた前処置が必要 b.腸の蠕動運動を抑えるため抗コリン薬を用いる c.胃透視よりも低濃度のバリウムを用いる d.バリウムと空気を経肛門的に注入する

1acd 2ab 3bc 4d 5全て

2004 概説 3 と類似

解答 5

【4】 次のうち正しい組み合わせはどれか

- a.クローン病と潰瘍性大腸炎は CT で容易に鑑別できる。 b.虫垂炎の診断に CT は有用である。
c.炎症性腸疾患と大腸癌は CT で鑑別できる。 d.消化管癌の深達度診断には MRI が極めて有用である。

1)a,c,d 2)a,b 3)b,c 4)d 5)全て

<解答> 3

<解説>2004年卒試14. と同じ問題。解説一部修正。

- a.これらの鑑別には内視鏡や透視が必要。 b.虫垂壁肥厚や造影剤で濃染される等の所見が有用。
c.大腸癌は腫瘤としての壁肥厚が見られる。炎症性腸疾患は CT ではわかりづらい。
d.消化管癌の深達度診断は造影 X 線透視と内視鏡・超音波内視鏡で行う。

【5】 正しい組み合わせはどれか？

- a. モリソン窩とは肝右葉上部背側の無漿膜野である
b. CT 上で肝右葉上部背側に液体が認められれば、それは腹水である
c. 脾臓は後腹膜臓器であり、頭部から尾部まですべて後腹膜にある
d. 癌性腹膜炎の CT 診断は、腹水が認められなくても可能なことがある

選択肢不明

解答 d

a:モリソン窩は肝腎窩 b:胸水の場合もある c:脾尾部は腹腔内 d:mass でわかることがある

【6】正しいものを選び。

- (a)イリノテカンの頻度の高い副作用の1つは下痢である。 (b)ドセタキシルは代謝拮抗剤である。
 (c)シスプラチンは大腸癌の適応はない。 (d)ジェムシタピンは膵癌に適応がある。
 1)a,c,d 2)a,b 3)b,c 4)すべて

解答 1

【7】胃癌に対する化学療法について正しいものを選び。

- a.胃癌の肝臓転移がある症例では化学療法より手術を選択する。
 b.根治術後の進行胃癌に対する補助的化学療法は標準治療として認められている。
 c.5-FUの主な副作用は末梢神経障害である。 d.塩酸イリノテカン(CPT-11)は胃癌に適応がある。
 1.acd 2.ab 3.bc 4.dのみ 5.全部

解答 1? 4? b:確実な延命効果を証明した evidence は乏しい。

【8】モルヒネに対する記述のうち正しいものはどれか

- a.モルヒネは依存症患者を作りやすい b.モルヒネの長期使用は困難である
 c.モルヒネの使用は生命予後を悪化させる d.モルヒネには便秘や眠気などの副作用がある
 1.a,c,dのみ 2.a,bのみ 3.b,cのみ 4dのみ 5.a~dのすべて

解答 4

【9】癌と遺伝子について正しいものはどれか。

- a.食道癌においては p53 遺伝子異常ががん化や癌の伸展に関与していると考えられている。
 b.N-myc 増幅は先天性胆道閉鎖症によく見つかる遺伝子異常である。
 c.家族性大腸腺腫症は第5染色体長腕の APC 遺伝子異常に起因する疾患である。
 d.人の遺伝子数は約3万個である。
 1. a,c,d 2. a,b 3. b,c 4. d 5. a~d すべて

解答 1

a.○ b.神経芽細胞腫に特徴的 c.○ d.諸説あるが選択肢より○ d.2~3万弱と判明。

【10】遺伝子に関する記述について正しいものはどれか。

- a.RNAの塩基配列に基づいてアミノ酸を繋げる事を転写という。
 b.DNAは1本のポリヌクレオチド鎖である。
 c.DNAの遺伝子情報に基づき mRNAを作る事を翻訳という。 d.DNAには発現を調節する部分がある。
 1.a,c,d 2.a,b 3.b,c 4.dのみ 5.a-d すべて

解答 4

【11】次の組み合わせで関連痛でないものを選び。

- a.胆嚢炎：右肩甲痛 b.膵炎：左肩甲痛 c.心筋梗塞：心窩部痛
 d.急性虫垂炎：右下腹部痛 e.過敏性腸症候群：左下腹部痛
 1 a,b 2 a,e 3 b,c 4 c,d 5 d,e

解答 5 dは腹膜に波及する体性痛 eは内臓痛

【12】緊急手術の適応疾患を選び。

- a.急性膵炎 b.虚血性腸炎 c.卵巣嚢腫茎捻転 d.絞扼性イレウス e.大腸憩室炎
 1.ab 2.bc 3.cd 4.de 5.ae

解答 3 b:急性腸間膜動脈閉塞症とは違う。壊死、穿孔などない限り内科的治療。

【13】 癌性疼痛に使用しない薬はどれか。

- a.塩酸モルヒネ b.ナプロキセン (ナイキサン) c.アセトアミノフェン
d.リン酸コデイン e.臭化スコポラミン (ブスコパン)

<解答> e (過去問頻出)

【14】 正しい組み合わせを選べ。

- a.唾石は耳下腺に好発する。 b.舌前 2/3 の味覚は顔面神経の枝である鼓索神経により支配されている。
c.味覚は不安、睡眠不足、うつ傾向にも影響を受ける。 d.がま腫は舌下腺に多い。
e.味蕾は舌と口唇のみに存在する。
1. abc 2. abe 3. ade 4. bcd 5. cde

解答 4 a:顎下腺に好発。e:咽頭、喉頭にも存在する。

【15】 扁桃について正しい選択肢を選べ。

- a.咽頭扁桃肥大症は滲出性中耳炎の原因となる b.扁桃病巣感染症では扁桃摘出術は禁忌である
c.扁桃周囲膿瘍の治療は切開排膿が第一選択である d.IgA 腎症は扁桃病巣感染症の一つである
1a.c.d 2a.b 3b.c 4d 5a-d すべて

解答 1

【16】 正しいものを選べ。

- a) 嚥下の第一相 (口腔期) は随意運動である。
b) Plummer-Vinson 症候群では舌炎、ビタミン B12 欠乏性貧血、嚥下困難がみられる。
c) 舌の白板症は前癌病変である。 d) 伝染性単核球症は肝機能障害に注意する。
1) a,c,d (2) a,b (3) b,c (4) d のみ (5) すべて正しい

解答 : (1)

a : ○第一相は、食物塊を舌の運動で咽頭にまで送り込む運動 (口腔期、随意運動)、第二相は、咽頭壁の収縮によって食物塊を食道に押し込む運動 (咽頭期、半不随意運動)、第三相は、食道の蠕動運動によって食物塊を胃にまで送り込む運動 (食道期、不随意運動)。

b : ×Plummer-Vinson 症候群は鉄欠乏性貧血。 c、d : ○

【17】 食道の解剖で誤っているものを選べ。

- a.食道粘膜は重層扁平上皮である。 b.頸部食道と胸部食道の境界は胸骨上縁である。
c.食道は後縦隔にあり左主気管支の後ろを通る。
d.食道は3ヶ所の生理的狭窄部位を持つ。 e.食道の最外層は漿膜に覆われている。
1)a 2)b 3)c 4)d 5)e

解答 5

【18】 食道の運動に関して正しいものはどれか。

- a.上部食道括約筋は嚥下時に弛緩する b.一次性蠕動波は食物が下部食道壁を伸展することにより起こる
c.二次性蠕動波は嚥下反射に引き続き誘発される。 d.下部食道括約筋は嚥下に引き続き収縮する。
e.ガストリンは下部食道括約筋を収縮させる。
1)a,b 2)a,e 3)b,c 4)c,d 5)d,e

解答 2 bc の一、二次は逆。

【19】食道癌について正しい記述を選べ。

- a.食道癌の壁深達度が粘膜下層までのものを早期癌という。
 b.粘膜内癌のうち、粘膜筋板に及んでいないものは、リンパ節転移の頻度が低い。
 c.わが国の食道癌は腺癌が多い。 d.食道扁平上皮癌は、肺癌に比べて放射線感受性が低い。
 e.食道扁平上皮癌はトルイジンブルー染色にて不染帯となる。
 (1)a (2)b (3)c (4)d (5)e

解答 2 a:粘膜層まででリンパ節転移(-)を早期癌 e:ルゴールで不染帯

【20】食道疾患に関して正しいものを選べ。

- a.食道アカラシアでは下部食道括約筋(LES)の弛緩不全が見られる。
 b.逆流性食道炎の治療薬としてPPIが用いられる。
 c.食道アカラシアの治療法として内視鏡的噴門拡張術がある。
 d.発赤所見を伴った食道静脈瘤は内視鏡的硬化療法の適応ではない。
 e.食道裂孔ヘルニアではLES圧が上昇している。
 1.abc 2.abe 3.ade 4.bcd 5.cde

解答 1 2004年概説(51)と同一でした。

【21】食道癌についてまちがっているものをひとつ選べ

- 1 2 異型上皮はルゴールで不染体を呈する 3 エコーはリンパ節転移の検出に有用である
 4 治療方針決定に内圧検査が有用である 5 病期決定にはCT・MRIが有効である。

解答 4

【22】食道癌の治療について正しいもの1つを選べ。

- a. 全周性の病変に対するEMRは狭窄をきたしやすい。 b. sm癌はEMRの絶対適応である。
 c. 化学療法はシクロホスファミド、メトトレキサート中心である。
 d. 胃癌に比べ放射線感受性は低い。 e. 術後合併症として嘔声は少ない。

解答 a c:シスプラチン、5FU d:放射線療法も重要な治療の選択肢 e:反回神経が近くを通る

【24】次の文章のうち、誤っているものの組み合わせを選べ。

- a.肝硬変患者の吐血のほとんどは食道静脈瘤によるものである。
 b.腎機能障害は内視鏡的硬化薬注入療法(EIS)の合併症としてみられる。
 c.内視鏡的静脈瘤結紮術(EVL)はEISに比べて合併症が少ない。
 d.胃静脈瘤にB-RTOは有効である。 e.食道胃静脈瘤から活動性出血を認める時のEVLは無効である。
 1.a,b 2.a,e 3.b,c 4.c,d 5.d,e

なぜか2004年肝・胆・膵卒業試験51番とまったく同じ問題でした。
 過去問の答は2です。

【25】正しいものの組み合わせを選べ。

- A.ガストリンは胃酸分泌を促進する B.胃酸は主細胞より分泌される
 C.ペプシノゲンは高PH下でペプシンに活性化される
 D.胃酸は2リットル程度分泌される E.セクレチンは胃酸分泌を抑制する
 1ABC 2ABE 3ADE 4BCD 5CDE

解答 3 B:壁細胞より分泌 C:低PH下で活性化

【26】胃腫瘍に関して正しいものはどれか。

- a.胃原発の悪性リンパ腫の多くはT細胞性である b.MALTの発生とH.pylori感染には関連がある
c.カルチノイドは胃粘膜下腫瘍の形態をとる
d.GISTの治療にはメチル酸イマチニブが用いられる e.胃腺腫は癌化しない

解答 ? BCDは正しいと思います。

【27】次から正しいものを選べ

1. A型胃炎では幽門腺領域に萎縮が見られる
2. A型胃炎では免疫学的機序が関与していると言われている
3. A型胃炎では高ガストリン血症を認める
4. Helicobacter Pylori感染が関与する胃炎では幽門粘膜は通常よく保たれている
5. 固有胃粘膜に萎縮が見られる状態では腸上皮化生がみられることはない

解答 2、3 1、2:A型は体部に萎縮が強く、自己免疫が関与
3:胃酸分泌が低下し、それにともなったガストリン分泌亢進

【28】正しいものをひとつ選べ。

- a.Mallory-Weiss症候群は大量出血が多く、手術適応となることが多い。
b.Dieulafoy潰瘍は潰瘍底が浅く、大量出血することは稀である。
c.急性胃粘膜病変は大量出血を来すことがあり、上腹部痛を来すことが多い。
d.出血性胃潰瘍の鎮痛剤としてはNSAIDが適切である。
e.薬剤の進歩により出血性胃潰瘍に対する手術は行われなくなった。

1.a 2.b 3.c 4.d 5.e

解答 3

【29】消化性潰瘍について正しいもの。

- a.胃潰瘍は十二指腸潰瘍より穿孔しやすい。 b.十二指腸潰瘍穿孔は前壁に多い。
c.老人の胃潰瘍は高位が多い。 d.オペ適応は穿孔、出血、狭窄である。
e.胃潰瘍は十二指腸潰瘍より高酸であることが多い。

1) abc 2) abe 3) ade 4) bcd 5) cde

解答 4 b:十二指腸球部前壁に多い。 c:高齢者では胃潰瘍>十二指腸潰瘍

【30】胃癌の定型手術(2/3以上の胃切除+D2郭清)について誤っているものを1つ選べ。

- a.定型手術は他臓器に浸潤がなく(T3以下)、D2郭清にて、根治度ABが得られるとき施行する。
b.術中に腹膜播種が疑われるときは腹水洗浄細胞診を施行し遊離癌細胞を確認するのが望ましい。
c.切除線と腫瘍縁との距離は肉眼的所見にて設定する。進行癌で、浸潤型または中間型に対しては5cm以上、限局型には3cm以上にするのが望ましい。
d.下部(L)進行胃癌では、脾門部リンパ節(No10)の郭清を行うために脾摘を行うことが多い。
e.噴門部リンパの転移が疑われるときは胃全摘が多い。

解答 e?

【31】胃切除後の合併症について誤っているものを選べ。

- a.術前に比べて体重の減少がみられる。 b.噴門側胃切除術後は逆流性食道炎が起こる。
c.食後2、3時間で低血糖が起こる。
d.長年を経過してもビタミンB1欠乏による貧血に注意が必要である。 e.骨粗鬆症、骨硬化症が起こる。

1.a 2.b 3.c 4.d 5.e

d か e が誤りなのですが、選択肢上一つしか選べません。どちらかが単純なミスプリなのかもしれません。あるいはどちらを選んでも正解なのかも。

【33】正しいものを選びなさい。

- a. Virchow 転移があると高率に縦隔リンパ節に転移を有する。
 b. リンパ節転移は粘膜内癌でもみられる c. 胃癌術後再発では肝転移が多い。
 d. Schnitzler 転移は高分化型胃癌に多い。 e. Krukenberg tumor は閉経前婦人に多い。
 1) abc 2) abe 3) ade 4) bcd 5) cde

解答 1

【34】胃癌の stage を決めるのに重要な因子を3つ選ぶ。

- a. 腫瘍径 b. 腫瘍占拠部位 c. 進達度 d. リンパ節転移 e. 遠隔転移

答え cde

【35】クローン病の治療薬として正しい組み合わせを選びなさい。

- a. 5-アミノサリチル酸製剤 b. 副腎皮質ステロイド c. 抗 CD20 抗体
 d. 非ステロイド性消炎鎮痛剤 e. 抗 TNF- α 抗体
 1. abc 2. abd 3. abe 4. bcd 5. cde

解答 3

【36】次の疾患と X 線検査所見の組み合わせのうち、正しいものを選びなさい。

- a. クローン病－裂溝 b. 腸管ベーチェット－下掘れ潰瘍 c. 腸結核－縦走潰瘍
 d. クローン病－apple core's sign e. 潰瘍性大腸炎－拇指圧痕像
 1. ab 2. ae 3. bc 4. cd 5. de

解答 1 b: 「下掘れ潰瘍」がどんなものかわかりませんが、多発性のびらんないし打ち抜き状の潰瘍性病変が特徴。

【37】潰瘍性大腸炎について正しいものを一つ選べ

- 1、本邦ではクローン病より少ない 2、本邦では圧倒的に女性に多い
 3、病変は盲腸から肛門に進展する 4、大腸癌の高危険群である 5、栄養療法が第一選択である

解答 4

【38】大腸癌について正しいものを選べ。

- a. 日本における大腸癌の罹患率は、近年増加傾向にある。
 b. 重症のイレウスを伴う大腸癌の手術では、一次人工肛門を造設することが多い。(?)
 c. 右側結腸癌の方が左側結腸癌より頻度が高い。 d. 血中 CEA 値は、大腸癌の診断に有用である。
 (1)acd (2)ab (3)bc (4)d (5)a~d すべて

解答 2?

【39】消化、吸収に関して正しいものをえらべ

- a) 終末消化は刷子縁膜にて行なわれる。
 b) 唾液、膵液中の α -アミラーゼにより、タンパク質はオリゴペプチドにまで分解される。
 c) ペプシンにより糖質の消化が始まる。 d) ビタミン B1 は内因子と結合して、回腸から吸収される。
 e) 胆汁酸は回腸から再吸収される
 1ab 2ae 3bc 4cd 5de

解答 2 bc:a アミラーゼは糖質、ペプシンはタンパク質 d:B12

【40】正しい組み合わせを選べ

- a.下腹部出血では大腸より小腸疾患が多い
 b.偽膜性腸炎はクロストリジウムディフィシルのトキシンによる
 c.虚血性大腸炎は左側が多い d.イチゴゼリー状血便はアメーバ赤痢にみられる
 e.UCよりクローン病の方が顕血便が多い
 1.abc 2.abd 3.abe 4.bcd 5.cde

解答 4

【41】直腸癌の手術において、癌手術の根治度を向上させる目的なのはどれか。

- a.自律神経温存手術 b.total mesorectal excision c.側方郭清 d.腹腔鏡補助下手術
 (1)acd (2)ab (3)bc (4)d (5)a~dすべて

解答 3

【42】結腸ストーマの術後早期合併症で正しいものはどれか？

- a)ストーマ壊死 b)ストーマ周囲皮膚炎 c)狭窄 d)傍ストーマヘルニア
 1acd 2ab 3bc 4d 5abcd

解答 5

【45】正しい組み合わせを選べ。

- 1.エルシニア腸炎は膿瘍を伴う類上皮細胞肉芽腫が特徴的である。
 2.虚血性大腸炎で粘膜の立ち枯れ壊死が特徴的である。
 3.腸結核で乾酪壊死を伴う類上皮肉芽腫は特徴的である。
 4.アメーバ腸炎で凝固壊死は特徴的である。
 5.サイトメガロ腸炎で粘膜内の細胞内封入体が特徴的である。
 1abc 2abe 3ade 4bcd 5cde

解答 1?2? 4:融解壊死が特徴

【46】正しい組み合わせを選べ。

- a.偽膜性腸炎は、clostridium difficileの毒素による。
 b.抗癌剤性腸炎では、奇異な核を有する異型細胞がみられる。
 c.腸チフスは、類上皮細胞肉芽腫を認めることがある。
 d.O157の腸炎の組織像は、虚血性腸炎のものと類似している。
 1acd 2bc 3bc 4dのみ 5すべて

解答 5

【47】腸型ベーチェットについて、正しいものはどれか。

- a.好発部位は回盲部である。 b.副腎皮質ステロイドが奏効する。
 c.完全型ベーチェット病に合併することが多い。
 d.浅い輪状潰瘍が特徴である。 e.穿通、穿孔を伴うことは極めてまれである。
 1ab 2ae 3bc 4cd 5de

解答 1 c:消化器病変は副症状。完全型は主症状(口腔粘膜の再発性アフタ潰瘍、皮膚症状、眼症状、外陰部潰瘍が出現したもの)

【49】 大腿ヘルニアについて正しい記載はどれか。

- 1.両側発生することが多い。 2.鼠径靭帯より足側に突出する。
 3.大腿動脈の内側に脱出する。 4.嵌頓しやすい。 5.修復は Bassini 法による。
 1.a,b,c 2.a,b,e 3.a,d,e 4.b,c,d 5.c,d,e

解答 4

【50】 鼠径ヘルニアについて正しいものを選び

- a.男性より女性に多い b.外鼠径ヘルニアより内鼠径ヘルニアの頻度が高い
 c.内鼠径ヘルニアは嵌頓しやすい d.小児は内鼠径ヘルニアが多い
 e.mesh-plug 法は術後後壁にかかる圧力が小さく、疼痛が少ない
 1a 2b 3c 4d 5e

解答 5 a:男に多い。b:外鼠径ヘルニアが鼠径ヘルニアの大部分。c:内鼠径ヘルニアの嵌頓は稀。
 d:小児は外鼠径ヘルニア

【51】 胃癌根治手術後に抗癌剤による点滴治療を行っていたところ、指先の皮膚がひどく荒れ、疼痛の訴えがあった。以下のうち正しいものはどれか。

- a.症状が強い場合は抗癌剤を中止する。 b.5-FU 系薬剤に特徴的な副作用のひとつである。
 c.ステロイドが著効する。 d.抗癌剤の内服投与では同様の症状が出現することは少ない。
 1.a,c,dのみ 2.a,bのみ 3.b,cのみ 4.dのみ 5.a~dのすべて

解答 ?

【52】 55 歳男性。2 年前に胃前庭部早期胃がんのために幽門側胃切除をうけた。最近 3 ヶ月ほど、午後になると全身倦怠感と疲労感が強くなり、会社でも食後 2 時間ぐらいいして横になって休むようになった。時々下痢をする。体重も減少気味である。この病態にたいして正しいのはどれか。

- a.食後に高血糖になる。 b.低張性脱水をおこす。 c.運動療法により軽快する。
 d.インスリンの反応性過分泌がある。 e.間食をすると症状は軽快する。
 1.abc 2.abe 3.ade 4.bcd 5.cde

解答 3 2004 卒試 40 参照

【53】 49 歳の女性。胃部不快感と体重減少を主訴に来院。上部消化管透視にてスキルス胃癌と診断された。この疾患について正しいのはどれか？

- a.高年齢層に好発する。 b.内視鏡検査により早期発見しやすい。 c.間質成分の増殖が顕著である。
 d.腹膜播種転移を起こしやすい。 e.蛋白漏出を起こしやすい。
 1.a,b 2.a,e 3.b,c 4.c,d 5.d,e

2003 概説 92 番と同じ

解答 4

【54】 54 歳男性。胃癌で開腹した。遠隔転移を認めず、腹膜播種所見なし。小弯から後壁に及び明らかな漿膜浸潤を認めたが隣接臓器への浸潤がなかった。幽門下リンパ節転移数個疑われる。腫瘍は胃上部にあって、上縁は食道胃接合部から肛門側 20 mm に離れた。適切な治療は？

- 1) 開胸・開腹による下部食道・上部胃切除 2) 胃全摘
 3) 噴門部胃垂全摘 4) 分節胃切除 5) 幽門部胃垂全摘

2003 概説 95 番と同じ

解答 2

【55】 65 歳女性。ICU に入院中。意識不明で大動脈弁狭窄、閉鎖不全、糖尿病がある。右腹部を硬く触れるため造影 CT を施行したところ右結腸（とそのあたりのもう一部分）が濃染。診断は次のうちどれか。
 ab（すみません忘れました。両方ともなんとかか炎でした）
 c 上腸間膜動脈閉塞症 d 腸軸捻転

解答 c cd2 つの中からはなら心疾患、造影 CT から c。

【56】 24 才、女性、クローン病患者が空腹時の上腹部痛を訴えたため上部消化管内視鏡を施行した。図 56 に内視鏡写真を示す。描出されている部位はどこか。
 1 胃噴門部 2 胃体部 3 幽門前庭部 4 十二指腸球部 5 十二指腸第二部

答えは恐らく 3 だと思います（解いた方によると・・・図はありません）

【57】 大腸内視鏡画像（正常）を選ぶ。正面は行き止まり、左側に隆起（回盲弁）
 参照 <http://www.dokidoki.ne.jp/home1/idehosp/gif/gif02.html>
 (1)直腸 (2)S 状結腸 (3)上行結腸 (4)横行結腸 (5)盲腸

解答 5

【58】 67 歳男性、2 ヶ月前からの右頸部腫瘍と嚥下困難を訴えて来院した。喉頭ファイバーの画像を以下に示す。選択肢で正しいものを選び。 (画像は右の喉頭蓋に腫瘍がある画像でした。)
 a. 診断を確定するために生検を行う。 b. 重複癌の恐れがあるため、上腹部の検索を行う。
 c. 放射線療法が奏功する。 d. 早期より嚥下困難を来す。
 1) a.c.d. 2) a.b. 3) b.c. 4) d のみ 5) 全て

解答 5

【59】 73 歳男性、三ヶ月前より固形物が喉につかえていた。最近になって嚥下困難が増強したため来院。上部消化管造影画像 59(a) と胸部 CT 59(b) を別に示す。この症例の手術に関して誤っているものを一つ選べ。(a は国試 97-c 画像に類似、b は大動脈肺動脈窓レベルのスライスで、食道から気管後壁への浸潤あり)
 1. 気管への浸潤に対して、術前放射線化学療法を行う。
 2. 腹腔内リンパ節への転移に対して、郭清を行う。
 3. 再発を考慮して、術後の再建は後縦隔経路で行う。 4. 術後の呼吸管理を ICU で行う。
 5. 反回神経損傷に対して、気管支鏡検査を行う。

解答 3 3: 後縦隔経路は二期手術が困難になるので「再発を考慮して」と矛盾する。

【60】 58 歳男性。夕食時飲酒後、血液の混じった食物残渣を嘔吐し、胸痛を訴えていた。翌朝不穏状態となり、救急車で搬送された。来院時血圧 80/52、脈拍 126、呼吸数 32、体温 38.4 度。皮下気腫と左の呼吸音減弱を認める。白血球 1200 (12000 の誤植かも)、CRP ?? (高めだったと思う)、動脈血 pH 7.356、酸素分圧 52、二酸化炭素分圧 48。CT (よくわからない) と胸写 (左肺野が真っ白。一部縦隔気腫っぽい) あり。適切な処置の一つ選べ。←大体こんな内容だったと思う。
 a. 内視鏡的に止血 b. 忘れました。 c. 胸腔ドレーンを入れて呼吸状態を改善する。
 d. S B チューブで圧迫止血 e. バリウムを使って穿孔の有無を確認する。
 (1) a (2) b (3) c (4) d (5) e

解説で... 文章と画像から食道破裂だと思われます。自分の周りは 3 を選んだ人が多いみたいです。

【62】32歳女性。生来著患なし。1年半前より腹部重圧感、鈍痛があった。胃十二指腸造影検査で胃体上部の潰瘍瘢痕を指摘された。抗潰瘍薬を服用し、6ヶ月で愁訴はなくなった。今回は3ヶ月前より、体重減少6kg、食欲不振、食後の上腹部の鈍痛が起るため受診した。腹部は平坦で、抵抗や腫瘤を認めない。胃十二指腸造影写真(図62)を別に示す。最も考えられるのはどれか。



- a.胃平滑筋肉腫 b.4型胃癌 c.悪性リンパ腫
d.萎縮性胃炎 e.肥厚性胃炎

胃のX線写真で十分にバリウムが入って、胃の広がった写真が得られていない時にはスキルスを疑う。

解答 b

【63】56歳男性 1ヶ月前より上腹部痛出現し近医で上部消化管内視鏡をうけ十二指腸潰瘍と診断された.H.pylori陽性のため5日前より除菌療法をうけていた.前日より1日20回の下痢が出現し血性となったため来院.下行結腸の内視鏡画像(全体に発赤所見のみ)この所見は直腸以外の全大腸に認められた.まず選択すべき治療は何か?

- a.副腎皮質ステロイドを投与 b.フラジールを投与 c.除菌療法の中止
d.5アミノサリチル酸を投与 e.白血球除去療法を施行
1.a 2.b 3.c 4.d 5.e

解答 c 抗生物質投与後の急性出血性腸炎か?

【64】70歳男性。既往歴、特になし。

上部消化管内視鏡で胃前庭部に1cmの病変を認めた。(画像:1cmくらいの小さな隆起性病変があった)生検を行ったところ、GroupVの高分化腺癌であった。エコーにて1~2の低エコー病変を認める。正しい治療方針は?

- 1.プロトンポンプ阻害薬 2.H.pylori除菌療法 3.内視鏡的粘膜切除(EMR)
4.胃切除術 5.抗癌剤を用いた化学療法

正解は3.ではないかと思えます。

【65】56歳女性。突然の上腹部痛で救急外来受診。上腹部内視鏡写真を示す(胃粘膜から出血。潰瘍や隆起性病変はなく、粘膜ひだも正常。おそらくAGMLです)。適切な治療を一つ選べ。

- a.抗癌剤 b.内視鏡的粘膜切除 c.PPI
d.NSAID e.すいません忘れました。全摘とか、結構ありえん系でした

解答 c

【67】68歳、男性。大腸内視鏡検査のため、下剤を2L内服した直後に腹部膨満感を認めた。CEAは12.0ng/mlであった。次にCTを提示する。bはaよりも尾側の断面である。次のうち正しいものはどれか?

ア.拡張しているのは結腸である。 イ.右下腹部で壁の肥厚が認められこの部分が閉塞の原因である。
ウ.腹水は認められない。

- 1.ア, イ 2.イ, ウ 3.ア, ウ 4.すべて正しい 5.すべて間違い

解答 ? 2004年卒試、71番と同じ。

【69】69歳男性。一ヵ月前より全身倦怠感があり、近医にて貧血を指摘され(Hb6.9)当院受診。上部、下部内視鏡にて異常を認めなかった。小腸内視鏡を施行したところ、次のような画像所見が見られた。またその組織所見を示す。疾患名を答えよ。

- a.クローン病 b.小腸悪性リンパ腫 c.小腸癌 d.小腸結核 e.小腸 GIST

上のなかから一つを答えるもので悪性リンパ腫か GIST だと思います。(これも図はなし)

【70】手、足、唇などに色素沈着を伴うポリポースの組織写真を示す。正しいものを選び。

- a 大腸以外にもポリープの多発を認める
b 過誤腫である
c 間質に平滑筋細胞が認められないのが特徴である
d
e 消化器以外の臓器に癌が認められることが多い。
1.abc 2.abe 3.ade 4.bcd 5.cde



解答 2 Peutz-Jeghers 症候群

【71】16歳女性。昨夜9時頃に腹痛を自覚、嘔気もあり嘔吐も1回あった。深夜に右下腹部の痛みが増し、本日午前5時に救急外来を受診。生理不順はなく最終月経は2週間前。体温38度、心拍98、血圧124/78、呼吸数18。右下腹部を中心にデファンスあり、マクバニーの圧痛点に圧痛あり、ブルンブルク兆候あり。直腸診で圧痛あり。エコーにおいて右側結腸の浮腫をみとめ、CTにて同部位に腫瘤をみとめる。適切でない処置はどれか(一つだけ選択)

- a.静脈ルート確保点滴 b.イレウスチューブ挿入 c.鎮痛剤静注または筋注
d.抗生物質静注 e.虫垂切除術

解答 b 典型的な急性虫垂炎の症例とされますので、b.は必要ないでしょう。まずはルートを確保し、鎮痛鎮静を図りつつ腹膜炎を鎮静化させるべく抗生物質を投与。これだけで治ることもあるが、コントロールできなければ手術。

【72】直腸癌で手術予定の患者の腹部CTを撮ったら図(腹部造影で肝右葉に単発のLDA)のようであった。適切なものを選び。

- a 抗癌剤の効果はほとんどない b 血管造影で hypervascular である
c 動注化学療法が第一選択である d 他臓器に転移がなければ手術を行うこともある
1acd 2ab 3bc 4d 5 全て

解答 4 可能なら切除。転移性肝癌は hypovascular な腫瘍が多い。

【73】54歳男性。新鮮血の下血を認めたため近医受診。大腸造影で73-a、大腸内視鏡で73-bの画像をえた。病変の場所はどこ？

- a S状結腸 b Rab c Rb d RbP e P

解答 ? (図がありません)

【74】【73】の病変に関して次の記述で正しいものはどれか。

- a.側方リンパ節への転移は少ないので側方郭清はいらない b.直腸切断術の適応である
c.肝転移があれば手術適応はない d.早期に経口摂取をやめて中心静脈栄養とする
1、acd 2、ab 3、bc 4、d 5、a～dのすべて

解答 ? (73 がわからないので何とも言えません)

【75】胸焼けを訴えて受診した患者さんの、胸部レントゲン(側面像で、胃泡が横隔膜より上に見える)及び内視鏡写真(噴門部を見上げた図で、ECJが食道裂孔より上に見える)を示す。この疾患について正しいのはどれか？

- a)先天性疾患であり、若年者に多い。 b)自然軽快することは少ない。
c)制酸薬が、症状の改善に有効である。 d)食後の安静臥床が症状改善に有効である。
e)Mesh plug法はこの疾患に対する手術法である。
1)ab 2)ae 3)bc 4)cd 5)de

解答 3 食道裂孔ヘルニア a:乳幼児と高齢者に多く、それぞれ先天性と後天性。
d:食後横にならないこと。

2004年度卒業試験（復元）

メモ：問題・解答用マークシートが一つの(名前つき)封筒に入れてあり、封筒ごと提出。持ち帰りは不可能。

問題番号は1～7168にはa～c、70にはa,b、71にはa,bの小問があり、全部で75問でした。

1. 以下の記載で正しいものを選び。
- a. 健常成人の一日糞便排出量は400～500gである。 b. 健常成人の糞便 pH は7.0～7.5である。
 c. グアヤック反応はオルトトルイジン反応よりも鋭敏である。
 d. 上部消化管出血の診断に免疫学的潜血反応が有用である。
 e. スタン III 染色は粘液便の診断に用いられる。
- 1.a 2.b 3.c 4.d 5.e

(答) 2. H15年度概説 99番参照。

- a. ×、1日の便重量が平均250gを超えると下痢。 b. ○
 c. ×、逆。 d. 上部消化管出血ではヘモグロビン変性の可能性があり不確実。
 e. 脂肪滴で赤色に染色される。

2. 下記のうち、器質性便秘をきたす病態はどれか。
- a. 脱水 b. 糖尿病 c. 強皮症 d. 内痔核 e. 甲状腺機能亢進症
- 1.abc 2.abe 3.ade 4.bcd 5.cde

aは便が硬くなることによる器質性便秘○。dは便意を感じなくなる機能性便秘×。 解答 1。

3. 関連痛でないものを選び
- a. 胆嚢炎-右肩甲部痛 b. 膵炎-左肩甲部痛 c. 心筋梗塞-心窩部痛
 d. 急性虫垂炎-右肩甲部痛 e. 過敏性腸症候群-左下腹部痛
- 1.ab 2.ae 3.bc 4.cd 5.de

(答) 5. a. ○ b. 左背部に関連痛。c. ○
 d. 心窩部痛→右下腹部に局限。e. 左下腹部痛は内臓痛？

4. 特発性虚血性大腸炎の特徴として正しいものはどれか。
- a. 一過性型よりも狭窄型が多い。 b. 右側結腸に好発する。
 c. 発症直後の組織で担鉄細胞を認める。 d. 発症すると腹痛と下血が見られる。
 e. 40歳以下の若年者でも発症する。
- 1.ab 2.ae 3.bc 4.cd 5.de

(答) 5. a. 一過性型の方が多い。 b. ×、下行結腸、S状結腸に多い。 d. ○ e. ○

5. 腸管型ベーチェット病に関して、正しいものはどれか。
- a. 回盲部が好発部位である。 b. 副腎皮質ステロイドが著効する。
 c. 完全型ベーチェット病に合併することが多い。
 d. ? e. 穿通、穿孔を伴うことは極めて稀である。
- 1.ab 2.ae 3.bc 4.cd 5.de

(答) 1. a. ○ e. ×、極めて稀というわけでもない。

6. 正しいものを一つ選び
- a. Peutz-Jeghers 症候群 - 脱毛 b. Cronkhite-Canada 病 - 爪の萎縮
 c. Turcot 症候群 - 骨腫 d. Cowden 病 - Cafe-au-lait 斑 e. 若年性ポリポーシス - 口唇色素沈着
- 1.a 2.b 3.c 4.d 5.e

(答) 2.

7. 胃酸分泌を促進するものを選びなさい。

- a. ガストリン b. アセチルコリン c. ヒスタミン d. ソマトスタチン e. セクレチン
1.abc 2.abe 3.ade 4.bcd 5.cde

(答) 1. a.b.c. ○ d. ×、胃酸分泌↓。 e. ×、胃酸分泌↓。

8. 消化管運動について正しい組み合わせを選びなさい。

- a. 小腸の分節運動やふりこ運動は食物の攪拌、混和する。
b. 蠕動運動は口側から肛門側の方向のみである。 c. アセチルコリンは消化管運動を抑制する。
d. モチリンで **interdigestive migrating contraction** は誘発される。
e. ガストリンは消化管運動を亢進させる。
1.abc 2.abe 3.ade 4.bcd 5.cde

(答) 3. 原田先生のプリント【消化管生理学 2】参照。

- a. ○ b. ×、逆蠕動が十二指腸、回盲部付近で起こる。
c. アセチルコリンはガストリン分泌を亢進させる。 d.e. ○

9. 食道癌について正しいものを選びなさい。

- a. 食道癌は色素内視鏡検査にてヨード染色で褐色に染まる。
b. 壁進達度が粘膜下層まで至るものを早期癌とする。 c. 表層にとどまるものは EMR の適応とならない。
d. 食道癌の 90%以上が扁平上皮癌である。 e. バレット上皮は食道腺癌の発生母地となる。

(答) d,e? 渡邊先生のプリント参照。

- a. ×、癌では不染帯となる。
b. ×、早期食道癌：原発層の壁進達度が粘膜層にとどまりリンパ節転移を認めない食道癌。
c. ?、表在癌：癌腫の壁進達度が粘膜下層までにとどまるもの。EMR の絶対適応は深達度 m2 以下であることより、「表層にとどまる」の意味にもよるがおそらく×。 d.e. ○

10. 胃・十二指腸潰瘍に関して正しいものはどれか。

- a. U1-2 の潰瘍は組織欠損が固有筋層に達する潰瘍である。 b. 胃角部小彎は胃潰瘍の好発部位である。
c. *Helicobacter pylori* 陽性の胃潰瘍は除菌療法の適応となる。
d. プロトンポンプ阻害剤は *Helicobacter pylori* の除菌療法の時に使われる。
e. 十二指腸潰瘍は高齢者に好発する。
1.abc 2.abe 3.ade 4.bcd 5.cde

(答) 4. 原田先生のプリント参照。

- a. ×、固有筋層→粘膜下層。 b.c.d. ○
e. ×、若年者には十二指腸潰瘍が多く、高齢者になるに従い胃潰瘍が多くなっていく。

11. 胃潰瘍の治療薬で正しいものはどれか。

- a. プロトンポンプインヒビター b. H2 阻害薬 c. NSAID
d. 副腎皮質ステロイド e. プロスタグランジン製剤
1abc 2abe 3ade 4bcd 5cde

<答え> 2

12. 胃癌について正しいものを一つ選べ

- 1) リンパ節転移のある胃癌は早期胃癌ではない
2) 深達度が粘膜内にとどまる胃癌は全て内視鏡的粘膜切除術の適応である
3) 低分化型腺癌は内視鏡的粘膜切除術のよい適応である
4) 血行性転移は肝転移が最も多い 5) 表在型は隆起型が最も多い

<答え>4

1、リンパ節転移は問わない

13.胃腫瘍に関して正しいものはどれか

- a.MALT リンパ腫の治療法に H.pylori 除菌療法がある
- b.過形成性ポリープは良性ポリープで癌化する事はない
- c.胃に局限したカルチノイドの多くはカルチノイド症候群を呈する
- d.Gastrointestinal stromal tumor (GIST) の治療にメシル酸イマチニブが用いられる
- e.胃腺腫の一部は癌化する

1 a,b,c 2 a,b,e 3 a,d,e 4 b,c,d 5 c,d,e

<答え>3 a○ b× 1~2%はある d○

14.正しい組み合わせを選べ。

- a.クローン病と潰瘍性大腸炎において CT で鑑別は容易である。
- b.消化管癌の深達度診断には MRI が極めて有用である。
- c.炎症性腸炎と大腸癌は CT で鑑別は容易である。 d.虫垂炎の診断に CT は有用である。

1) a 2) a,b 3) c,d 4) d 5) すべて

<解答>4

- ×a.これらは、内視鏡および注腸造影により診断する。
- ×b.消化管癌の深達度には、超音波内視鏡が有効。
- ×c.内視鏡と注腸造影で。CT では鑑別までにはいたらないので×。
- d.CT では虫垂の腫れが確認され、造影で high となる

15.食道の解剖について誤っているものを選べ。

- a.食道粘膜は重層扁平上皮である b.頸部食道と胸部食道の境界は胸骨上縁である
- c.食道は後縦隔にあり左主気管支の後ろを通る d.食道は3ヶ所の生理的狭窄部位を持つ
- e.食道は漿膜によっておおわれている

1.a 2.b 3.c 4.d 5.e

解答 5

abcd その通り

e 食道の外膜は結合織であり、漿膜をもたない

16.食道の病変について正しいものを選べ

- a Rokitansky 憩室は圧出性である b 特発性食道破裂は保存的に治癒することはない
- c 腐蝕性食道炎は晩期食道癌の合併がある d 食道アカラシアは神経叢消失による弛緩不全である
- e 食道の良性腫瘍で最も頻度が高いものは平滑筋腫である

1 a b c 2 a b e 3 a d e 4 b c d 5 c d e

解答 5

17.正しいものはどれか。

- a. 胸部上部食道癌は気管に浸潤しやすい。
- b. 胸部中部食道癌は横隔神経沿いのリンパ節への転移が重要である。
- c. 胸部中部食道癌は左主気管支に浸潤しやすい。
- d. 胸部下部食道癌は腹腔リンパ節に高頻度に転移が見られる。
- e. 胸部下部食道癌は大動脈弓に浸潤しやすい。

1 abc 2 abe 3 ade 4 bcd 5 cde

<答え>1

a○ d× 予想外に多いらしい 高頻度ではないらしい c○?

18. 上部消化管出血で多いのはどれか。

- a. 食道静脈瘤破裂 b. Mallory-Weiss 症候群 c. 急性びらん性胃炎 d. 十二指腸潰瘍 e. 胃癌

<答え> a

- (1) 胃潰瘍 (2) 食道静脈瘤 (3) 十二指腸潰瘍 (4) 急性胃粘膜病変 (5) 胃腫瘍 (6) マロリー・ワイス

19. 胃潰瘍からの出血に対する治療として正しくないものはどれか。

- a. 内視鏡的クリップによる止血 b. 内視鏡下エタノール注入
c. プロトンポンプインヒビターの投与 d. 輸液 e. NSAID の投与

1 a 2 b 3 c 4 d 5 e

(答) 5

20. 絞扼性イレウスについて正しいものを選び。

- a. 保存的に治療する。 b. 診断に超音波検査が有用である。 c. 腹単で無ガスイレウス像が見られる。
d. 腹水の貯留が見られることがある。 e. 下剤を使用する。

1(abc) 2(bcd) 3(cde) 4(abe) 5(ade)

<答え> 2 a×手術 e 禁忌

21. 虫垂炎について正しい組み合わせを選び

- (a) 診断がつき次第に手術を施行する
(b) 腹膜刺激症状を呈さない場合は保存的治療をおこない経過を見る
(c) 腹痛は最初は心窩部で痛むが、その後に右下腹部に移動する
(d) 虫垂炎の症状としては腹痛、発熱、悪心、嘔吐がある
(e) 虫垂炎の診断には腹部エコーより腹部単純写真のほうが有用である

1.(a)(b)(c) 2.(b)(c)(d) 3.(c)(d)(e) 4.(a)(b)(e) 5.(a)(d)(e)

解答 2 (a)× カタル性は保存的に診る (e)× 腹部エコーや腹部CTが有用

22. 緊急手術の適応となる疾患を選び

- a. 急性膵炎 b. 虚血性腸炎 c. 卵巣嚢腫茎捻転 d. 絞扼性イレウス e. 大腸憩室

1.a,b 2.b,c 3.c,d 4.d,e 5.a,e

解答 3

- a 安静、絶食、酵素阻害薬、感染予防に抗菌薬
b 腸炎の重症度（一過性型、狭窄型、壊死型）によって、治療方針は変わる。壊死型なら緊急開腹手術
c 一般に緊急手術 d 緊急手術の適応

23. 58歳男性。アルコール飲酒後、気分が悪くなり食べ物を吐いた。その直後、新鮮血を嘔吐した。緊急内視鏡検査にて食道胃噴門部に縦走する粘膜裂傷を認めた。この疾患について正しいものはどれか。

- a 腹腔内圧の上昇が原因である。 b アルコール胃炎が関与している。
c 胃酸分泌が亢進している。 d 下部食道括約筋圧が亢進している。
e 自然に止血・治癒することがある。

1 ab 2 bc 3 cd 4 de 5 ae

解答 5

マロリーワイス症候群のこと：嘔吐により腹腔内の圧力が急激に上昇し胃-食道の接合部付近に裂け目ができ出血し、吐血、下血を来す疾患。

- a ○ b 胃潰瘍のことかもしれん c d アカラシア e ○

24.胃癌を示す粘膜ひだの所見として正しいものはどれか。

- a ひだの途絶 b ひだの急峻な先細り c ひだの先端の太まり d ひだの癒合
1 acd 2 ab 3 bc 4 dのみ 5 すべて

解答 5 過去問頻出 2003年概説 53 など

25.注腸造影検査

- a 大腸内の便・残渣を前処理する必要がある。 b バリウムを肛門から注入する。
c 空気を肛門から注入する。 d 胃で用いられる造影剤より濃度の高いものを使用する。
e 鎮痙剤を使用しない。

- 1abc 2abe 3bcd 4ade 5cde

解答 1

27.潰瘍性大腸炎の組織像で正しいものはどれか？

- a) 密な慢性炎症細胞浸潤 b) Basal plasmacytosis
c) 陰窩膿瘍 (crypt abscess) d) 杯細胞減少(goblet cell depletion)
e) 陰窩の捻れ(crypt distortion)

- 選択肢 1)a,b,c 2)a,c,d 3)b,c,d 4)c,d,e 5)すべて

解答 5? acd はまず正しい。ここで、過去問より b が正しいので選択肢的に 5 になる。

2003 年度概説 58 参照。

○b. 炎症性腸疾患(IBD)全体の指標として用いられます。

○c. 陰窩(crypt)内に好中球が出現して、膿瘍(abscess)形成します。

UCは粘膜層のみの炎症。全層性はクローン病で見られます。基本的に肉芽形成しません。

29.以下の腸炎についての記述で正しいものの組み合わせを選べ。

- a.放射性腸炎では血管内皮細胞下の泡沫細胞出現が特徴的所見である。
b.偽膜性腸炎の原因は病原性大腸菌 O-157 の感染である。
c.Clostridium difficile の毒素による腸炎の組織像は虚血性腸炎と類似している。
d.腸チフスでは類上皮肉芽腫がしばしば出現する。
e.抗痙剤性腸炎では奇異な核を有する異型細胞が出現する。

- 1.a,b,c 2.b,c,d 3.a,d,e 4.全て正しい 5.全て誤り

解答 3

b × 抗生剤の投与による菌交代現象が原因。Clostridium difficile など。 d ○

30.上中下咽頭癌についての記載で正しい組合せを選べ

- a.上咽頭癌は放射線感受性が高い b.下咽頭癌は第 6 脳神経麻痺をしばしば合併する
c.中咽頭癌が頸部に転移することは稀である
d.下咽頭癌は予後不良で手術、放射線、化学療法を組合せた集学的治療が行われる事が多い
e.中咽頭癌がもっとも発生しやすいのは舌根部である

- 1.a,b 2.b,c 3.d,e 4.c,e 5.a,d

解答 5

a ○ 上咽頭癌は低～未分化癌が多く比較的放射線、化学療法の感受性が比較的高い。

b × あるとすれば上咽頭癌。破裂孔から中頭蓋窩に進展するので動眼神経や外転神経がまず障害され、複視をきたす。 c × 頸部リンパ節転移が多い d ○ e

31.扁桃について正しいものも選べ

- a.抗体を産生し、免疫反応をおこして感染防御を行う
 b.扁桃病巣感染症の確定診断は Paul-Bunnell 試験である
 c.扁桃周囲膿瘍に対する治療は切開排膿である d.咽頭扁桃は思春期までに退縮する
 1.a c d 2.a d 3.b c 4.d 5.全て

解答 1.

解説 a.○パイエル板類似の非常に大きなリンパ濾胞を持ち、B細胞が I g A 産生細胞に成熟する。

b.×EBVの検査法である。c.d.○

32.皮膚と腸管との間に瘻孔を形成するものを選べ

- a.急性出血性直腸潰瘍 b.? c.放射線腸炎 d.放散菌症 e.虚血性大腸炎
 選択肢 すいません、覚えてません。非典型的でした

解答 不明

解説 クロウン病、腸結核、放線菌症、癌、腸閉塞で起こしやすい。

33.大量下血を来たすものを選べ

- a.内痔核 b.大腸動静脈奇形 c.メッケル憩室炎 d.子宮内膜症
 1.abc 2.bc 3.ad 4.全て ←だったかな?

解答 2 : b○ c○

34.虚血性大腸炎について正しいものを選びなさい。

- a.潰瘍のかたちは縦走潰瘍である。 b.症状としては腹痛のあとに下血がみられる。
 c.一過性型が多く保存的治療で治癒することが多い。
 d.腹部血管造影では下腸間膜動脈の閉塞がみられる。
 1(a,b,c) 2(b,c,d) 3(a,b,d) 4(a,c,d) 5(すべて)

解答 1

解説 d.閉塞部位は明らかでないことが多い

35.Crohn 病の手術適応が多いのはどれか

- a.保存的治療無効 b.狭窄 c.瘻孔形成 d.出血
 1. abc 2. bcd 3. bc 4. ad 5. abcd

解答 3

解説 講義プリント (1 外科 壬生) には、手術適応は

1. free perforation 穿孔 2. massive bleeding 大出血
 3. intraabdominal abcess 腹腔内膿瘍 4. fistula 瘻孔形成
 5. intractability 内科的治療無効 6. stenosis or obstruction 狭窄・閉塞
 7. toxic megacolon 8. carcinoma 癌

とあり、選択肢のすべてを満たすが、標準外科学 (医学書院) には次のとおりに書いてある

絶対的適応：腸閉塞、穿孔・急性腹膜炎、大量出血、中毒性巨大結腸症、癌合併

相対的適応：難治性狭窄、膿瘍、外瘻・内瘻、内科的治療無効、二次的肛門病変

36.遺伝性大腸癌について正しいものをえらべ。

- a 直腸癌が多い。 b 大腸癌が多発する。
 c 40 歳代で発症することが多い。 d p53 遺伝子の異常が多い。
 1.abc 2.bcd 3.ab 4.cd 5.ad

解答 3

解説 FAP,HNPCC のこと。 c.× 若年発症が多く、放置すると 50 歳までに死亡する。

d.× FAP では 5qAPC,HNPCC では hMSH2 などの異常が多い。

37.鼠径ヘルニアについて正しいもの一つを選べ。

1. 鼠径ヘルニアは、男性よりも女性に多い
2. 内鼠径ヘルニアの方が、外鼠径ヘルニアよりも多い
3. 内鼠径ヘルニアは、嵌頓しやすい
4. Bassini 法は、外鼠径ヘルニア修復の標準術式である
5. Mesh Plug 法は、創部にかかる緊張が少なく術後疼痛が軽い

解答 5

解説 鼠径ヘルニアは男性に多く、外鼠径ヘルニアの頻度が高い。大腿ヘルニアは中年女性に多く、嵌頓しやすい。Bassini 法は過去行われていた術式で現在は行われない。

38.大腿ヘルニアについて間違った記載はどれか？

- 1.中年女性に多い
- 2.両側性に発生しやすい
- 3.大腿動脈の内側に脱出する
- 4.嵌頓しやすい
- 5.修復は McVay 法による

解答 2

解説 原則片側性に起きる。

40.55 歳男性。2 年前に胃前庭部早期胃がんのために幽門側胃切除をうけた。最近 3 ヶ月ほど、午後になると全身倦怠感と疲労感が強くなり、会社でも食後 2 時間ぐらいして横になって休むようになった。時々下痢をする。体重も減少気味である。この病態にたいして正しいのはどれか。

- a.食後に高血糖になる。
- b.低張性脱水をおこす。
- c.運動量療法により軽快する。
- d.インスリンの反応性過分泌がある。
- e.間食をすると症状は改善する。

1.ab 2.abe 3.ade 4.bcd 5.cde

解答 3

解説 後期ダンピング症候群...食後 2～3 時間してから脱力感、めまい、冷汗などの症状が出現する。これは、糖質の急速な吸収によって、一過性に過血糖が生じ、反応性にインシュリンの分泌が亢進し、反動的に低血糖を来すためである。本症候群は、胃切除後よりも、胃全摘後に多い。症状の発現を見た場合には、直ちに糖分の補給を行う。

41.胃十二指腸潰瘍について正しいものを選べ。

- a. 治療は手術によるものがほとんどである。
- b. 十二指腸潰瘍の後壁穿通は保存的に経過観察が可能である。
- c. 胃十二指腸潰瘍穿孔の治療には腹腔鏡下手術を考える。
- d. コントロール不良の出血も手術適応となる。
- e. 胃十二指腸潰瘍による狭窄に対しては、手術をすることはない。

1.abc 2.abe 3.ade 4.bcd 5.cde

<解答> 4

<解説>(a)× H₂受容体拮抗薬やPPIの開発により手術患者は激減。(b)(c)(d)○

(d)× 高度の狭窄は手術。

45.化学療法適応の必要条件として正しい組み合わせを選べ。

- a.全身状態が良好である
- b.遠隔転移がある
- c.臓器機能が保たれている
- d.十分な informed consent が得られている。

(1)a,b (2)a,c,d (3) d (4)a～d 全て

45：遠隔転移がなくても化学療法をする場合あり。解答 2

46. 癌性疼痛に使用しない薬はどれか。

- a. 塩酸モルヒネ
- b. ナプロキセン(ナイキサン)
- c. アセトアミノフェン
- d. リン酸コデイン
- e. 臭化スコポラミン(ブスコパン)

<解答> e

<解説>(e)は鎮痙作用、消化管運動抑制作用、胃液分泌抑制作用で鎮痛作用はない。

47.末期がん患者の症状として正しくないものはどれか。

a.食欲不振 b.癌性疼痛 c.うつ状態 d.体重増加 e.混乱

1.a 2.b 3.c 4.d 5.e

<解答> d

48. 急性出血性直腸潰瘍について正しいものを選びなさい。

a.先行する腹痛がある。 b.寝たきり状態の高齢者に発症しやすい。 c.突然の新鮮血下血で発症する。
d.直腸上部の単発性小円形潰瘍がみられる。 e.排便時のいきみが関与する。

1 a,b 2 a,e 3 b,c 4 c,d 5 d,e

<解答> 3

<解説>2003 年度卒試 19 を参照。

(a)× 無痛性で急激に発症。(b)(c)○ (d)×直腸下部に多発する地図状、類円形の潰瘍が穿孔。

(e)× 排便時のいきみは本疾患に関係ないらしい。

46. 消化管出血について正しいものを選びなさい。

- (1)胃腫瘍は胃潰瘍より出血をおこす頻度は少ない。
(2)Mallory-Weiss 症候群は激しい嘔吐後に発症することが多い。
(3)胃潰瘍は動脈性の出血を来すことがある。
(4)食道静脈瘤の出血は高アンモニア血症の原因とはならない。
(5)消化管出血によりショックをおこすことはない。

a (1)(2)(3) b (1)(2)(5) c (1)(4)(5) d (2)(3)(4) e (3)(4)(5)

<解答> a 2003 年度卒試 46 番と同問。

○(1) 出血の頻度では胃潰瘍の方が多。(year note) ○(2) その通り。

○(3) その通り。 ×(4) 消化管出血といえば、BUN 上昇と高アンモニア血症。

×(5) oozing bleeding と spurting bleeding があるが、後者は出血性ショックを起こす可能性がある。

51.70 歳女性。空腹時の腹部の痛みを訴え、受診。外来にて上部消化管内視鏡検査を行なった。矢印が指している部位は次のどれか。(画像は穴から出たカメラの管(=噴門部からでたカメラ)と鋭角の構造物があり、その構造物上に発赤がある。その発赤に矢印がついている。問題復元するときは適当な写真を貼りつけてあげてください。あまりにも典型的な図なので、どの本にも似たような絵はあるはず)

1 胃噴門部 2 胃体部 3 胃角部 4 幽門前庭部 5 十二指腸部

【解答】 3

【解説】 解説の仕様もないが、敢えてするならばポイントはカメラの管が見えてるってことは少なくとも肛門側から口側を見上げてるとことと、胃のなかで、このような鋭角をとる構造は胃角であるということ

52.69 歳男性。1ヶ月前より嘔気、嘔吐が出現し、改善しなかった。1ヶ月で約 6kg 体重が減少した。1週間前より食餌を摂取していない。小腸造影にて空腸に図 52 のような像が得られた。正しい診断は？(内腔の狭小化があったように見えました。)

a.腸結核 b.Crohn 病 c.悪性リンパ腫 d.Gastrointestinal stromal tumor e.癌

【解答】 e?

【解説】 ・年齢的に Crohn 病は×。腸結核は部位的に×(回盲部に多い)
・小腸の悪性腫瘍は癌>悪性リンパ腫>平滑筋肉腫(GIST)の順。
・症状は腹痛、閉塞症状、出血。癌は腹痛、嘔吐、イレウスなどの閉塞症状をきたしやすいが、悪性リンパ腫では閉塞症状は比較的少ない。

53. 64 歳男性。検診で便潜血陽性を指摘された。近医で大腸内視鏡検査を受けたところ大腸に病変を指摘された。生検で group5 であったため来院した。(大腸内視鏡所見、超音波内視鏡所見で隆起性の病変があった。) 腹部 CT、エコーではリンパ節転移、遠隔転移ともに認めなかった。正しいものを選び。

- 粘膜内にとどまる陥凹性大腸癌と判断、内視鏡的切除。
- 粘膜下層にとどまる陥凹性大腸癌と判断、外科的切除。
- 粘膜内にとどまる隆起性大腸癌と判断、ポリペクトミー。
- 粘膜下層にとどまる隆起性大腸癌と判断、外科的切除。
- 固有筋層に浸潤した隆起性大腸癌と判断、外科的切除。

【解説】 診断は大腸癌

治療方針：粘膜内の癌は内視鏡的切除

sm1 までの早期癌も内視鏡的切除適応

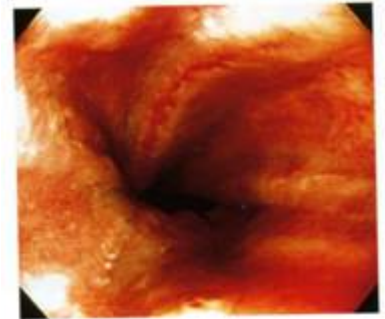
sm2,3 は腹腔鏡下治療の適応

進行癌は外科的治療（切除）

病期進行例は化学療法、放射線療法

54. 画像問題。カラーアトラス 8 ページの A と同じような内視鏡図
50 才女性、胸焼けを主訴に来院。上部消化管内視鏡図を以下に示す。
診断を一つ選び。(図は year note ATLAS より)

- 胃癌
- 食道静脈瘤
- 逆流性食道炎
- マロリーワイス症候群
- 食道裂孔ヘルニア



【解答】 3

【解説】 画像解説：線状の縦長のびらん、周囲粘膜が白色調。

55. 70 歳 男性 主訴：嚥下困難。内視鏡写真を示す。(写真は 2 枚で、1 枚はルゴール染色がかけられていました。食道・胃接合部から食道側にかけて広がる境界明瞭な扁平な病変で、ルゴール染色にて不染帯は認めませんでした。) 治療法はどれか？

- | | |
|----------------|----------------|
| a. 内視鏡的粘膜切除 | b. 内視鏡的食道拡張術 |
| c. 食道切除+リンパ節郭清 | d. PPI 投与 |
| | e. H.pylori 除菌 |
- 1)a 2)b 3)c 4)d 5)e

【解答】 4 ?

【解説】 ルゴール染色で不染帯を認めないことから、逆流性食道炎が考えられる。

→治療は PPI。(画像がないのでなんともいえないが・・・)

56. 胃の二重造影。胃潰瘍の画像だったような？詳しくは書けませんでした。申し訳ない

57. 52 歳男。空腹時に上腹部痛。ウレアーゼ陽性。治療方針はどれか？(画像)胃内視鏡で胃角部小弯に潰瘍らしきものが見られた。

- | | | | | |
|--------|--------|--------|--------------|----------|
| a. EMR | b. 胃切除 | c. PPI | d. pylori 除菌 | e. NSAID |
|--------|--------|--------|--------------|----------|
- 1.(ab) 2.(bc) 3.(cd) 4.(de) 5.(ae)

【解答】 3

【解説】 H. pylori 感染が確認された潰瘍は、除菌療法を行う。

除菌療法は PPI (ランソプラゾールやオメプラゾール) + アモキシシリン + クラリスロマイシンによる三剤除菌療法 (1 週間)。

58. 画像問題 画像は STEP 内科 P57 の画像

診断名は何か？急性胃粘膜病変と思われる

【解説】急性胃粘膜病変の内視鏡所見：胃粘膜に多発性の浮腫、発赤、びらん、潰瘍を認める。

59. 卵巣癌の患者。CT を示す。矢印の構造物は以下のいずれか。

1. 小腸 2. 横行結腸 3. 正常の大網
4. 大網の播種性病変 5. ? の播種性病変

60. 76 歳男性。胃潰瘍の既往あり。近医にて毎年内視鏡検査を受けていた。今回はじめて食道の病変を指摘された。自覚症状は特に認めない。内視鏡写真（60a,b）この疾患について誤りはどれか。

- a. 比較的早期と考えられ、病変は一箇所に局限していることが多い。
b. 第一選択は EMR である。
c. 放射線化学療法は考慮すべきでない。
d. CT より MRI のほうが有用である。
e. 予後を推定するためにリンパ節転移の検索が必要である。

1(abc) 2(abe) 3(ade) 4(bcd) 5(cde)

写真：食道の内視鏡写真とルゴール散布後の写真。

60a：びらん、出血を伴う不整な食道粘膜に見えた。境界不明。

60b：ルゴールで明瞭な不染帯を認めた。平坦型～潰瘍型。

【解説】

～食道癌の検査、診断～

- ・ 食道造影：存在診断（辺縁不整な陰影欠損）
- ・ 内視鏡（ルゴール染色）：病変範囲の診断（ルゴール不染帯）
- ・ 生検：確定診断
- ・ 超音波内視鏡：深達度、近傍のリンパ節転移
- ・ CT、MRI：他臓器浸潤、リンパ節転移
- ・ エコー：リンパ節転移

～根治手術の適応とされないもの～

- ・ 他臓器（大動脈、気管、気管支など）浸潤：簡単に合併切除可能なら根治術可能、高度リンパ節転移、遠隔転移、胸膜播種、腹膜播種、全身状態不良

61. 67 歳男性。2ヶ月前から嚥下困難と体重減少(10kg)があった。来院時の CT、消化管内視鏡を示す。正しいものを選び。(診断はおそらく食道癌で、大動脈弓レベルの CT が提示されていました。食道壁から外に浸潤している様子で、すぐそばには大動脈弓や気管がありました。内視鏡はなぜかモザイクがかかっています(謎)よくわかりませんでした。)

- a. 治療方針を決めるのに気管支鏡検査が有用である。
b. 全身化学療法が第一選択である。
c. 全身状態がいろいろうちに、手術にふみきる。
d. 精査として頸部エコーが有用である。
e. リンパ節転移の検索が大切である。

1. abc 2. abe 3. ade 4. bcd 5. cde

【解答】 5 ?

【解説】

- a. ○ 重要臓器へ浸潤する場合は切除不能となり、姑息的に胃を用いたバイパスを行う。
b. × 切除可能ならば食道切除が第一選択。 c. ○ d. ○ e. ○

63. 胃癌の切除病変について。

粘膜面、漿膜面、断面の肉眼像 3 つと病変部の病理像が示してある。正しい所見はどれか？

- (1)浸潤限局型－高分化 (2)腫瘤型－低分化 (3)潰瘍浸潤型－高分化 (4)びまん浸潤型－低分化

【解答】(4)

病理で印環細胞らしきものがみられる。肉眼像は潰瘍が少しみられ、いまちはつきりしないが、胃壁がうすく進展性がなさそうな印象。→スキルス胃癌

64. 大腸の、次の画像について答えよ。(おそらく虚血性大腸炎でした)

1. 融解壊死がみられる。
2. 好酸球浸潤がみられる。
3. 核内封入体が特徴的である。
4. 類上皮細胞が特徴的である。
5. 赤血球貪食像が病原性を示す所見として重要である。

【解答】(虚血性大腸炎なら) 5

【解説】赤血球貪食像(担鉄細胞)は虚血性大腸炎の慢性期生検組織所見として大事。

65. 小腸の炎症性病変の組織像を示す。これについて以下から正しい組合せを選べ。

<画像は、おそらく乾酪性肉芽腫>

- a. NSAID の投与が原因となる。
 - b. 乾酪壊死を認める。
 - c. Ziel-Neelsen 染色で菌体を証明する必要がある。
 - d. 虚血性腸炎と類似した病像を呈する。
 - e. アミロイドが沈着している。
- 1.a b 2.b c 3.c d 4.d e 5.a e

【解答】(画像が乾酪性肉芽腫とすると) 2

【解説】診断は腸結核

- a. 治療は抗結核療法 (SM, INH, RFP, EB)
- b. 組織所見として、乾酪性肉芽腫、Langhans 型巨細胞、結核菌が大事。c. o、
- d. 腸結核では輪状・帯状潰瘍が特徴、虚血性腸炎は縦走潰瘍

66. 45 才男性。1 ヶ月前から続く口の中の痛みを訴えて来院。左舌下に潰瘍を伴った 25 ミリの硬結を認め、左顎下に 15 ミリの転移と思われるリンパ節を触れる。他臓器に転移は認めない。TMN 分類は？

1. 口腔癌 T1N1M0
2. 口腔癌 T2N1M0
3. 口腔癌 T3N2M0
4. 中咽頭癌 T1N1M0
5. 中咽頭癌 T2N1M0

【解答】2

【解説】口腔癌の TNM 分類

T1: ≤2cm, T2: 2cm<腫瘍≤4cm, T3: >4cm, T4: 隣接組織

N1: 同側単発 ≤3cm, N2: 3cm<同側単発 ≤6cm, 同側多発 ≤6cm, 同側または対側 ≤6cm,

N3: >6cm

67. 63 歳男性。2 ヶ月前から続く嚥下痛を主訴に来院。左梨状陥凹に腫瘍を認め、左の声帯は固定している。

喉頭ファイバー写真を示す。正しいものの組み合わせを選べ。

(写真は、声門の上部の梨状陥凹部に、白色調の隆起性病変がありました。)

- a. 組織型として腺癌が最も多い。
- b. 頸部リンパ節転移は少ない。
- c. 高率に食道・胃に重複癌を認める。
- d. 治療として、手術・放射線・化学療法を行う。
- e. 摘出手術後は再建手術が行われる。

- 1(a,b,c) 2(a,b,e) 3(a,d,e) 4(b,c,d) 5(c,d,e)

【解答】5

【解説】扁平上皮癌が多いです。また、高率に頸部リンパ節転移が見られます

68.64 歳男性。1 カ月前に新鮮血の下血があり、近医を受診した。大腸造影にて、図 68 の所見が得られた。

(a) 図 68 の大腸造影にて病変の部位はどこか？

1.Rs 2.Ra 3.Rb 4.S 状結腸

画像添付（側面像で仙骨上部部分直腸アップルコアサイン）

(b) (解答 69) 図 68 の所見による癌の所見は

1.1 型 2.0-1a+1c 型 3.2 型 4.3 型

(c) (解答 70) この病変に関して次の記述で正しいのは

ア.直腸診では病変部を経肛門的に触知できない

イ.側方リンパ節への転移は少ないので側方郭清はいらない

ウ.肛門括約筋温存手術の適応である

エ.この所見では便の軟化剤を投与すべきである

【解答】

a) 1 ? b) 3 ? c) ア、イ、ウ

【解説】

a) Rs : 岬角～S2 下縁、Ra : ～腹膜反転部、Rb : ～恥骨直腸筋付着部上縁

b) apple core sign は進行した 2 型でみられる。

c) ア. 直腸は約 20cm あり、Rs の病変は直腸診では触知できない。

イ. 側方リンパ節転移は 15% あり、Ra, Rb, P の癌が適応となるが、予後が良くなるかは不明。

ウ. 歯状線（肛門の約 2 cm 上）より 8cm 以上離れていれば適応となる。それ以下は Miles 手術。

71.68 歳、男性。大腸内視鏡検査のため、下剤を 2L 内服した直後に腹部膨満感を認めた。CEA は 12.0ng/ml であった。次に CT を提示する。b は a よりも尾側の断面である。

(a) 次のうち正しいものはどれか？

ア. 拡張しているのは結腸である。

イ. 右下腹部で壁の肥厚が認められこの部分が閉塞の原因である。

ウ. 腹水は認められない。

1. ア, イ 2. イ, ウ 3. ア, ウ 4. すべて正しい 5. すべて間違い

(b) ?

(<http://www.aso-group.co.jp/aih/kouhou/kakuka/housya/tf/case376/index.htm>) に類似

解答 ?

2003年度 卒業試験 (復元)

メモ：全体としては77問で、そのうち75問がマークシート、残りの2問が耳鼻科からの出題となっていました。

1 潰瘍性大腸炎について正しいものはどれか。

- a 本邦では女性よりも男性に多い。 b Crohn病よりも患率が高い。
c 一般人口よりも大腸癌の発生が高い。 d 直腸は患しないことが多い。
e 栄養療法が治療の第1選択である。

<解答> b,c

×a. そんな報告はない。

○b. 罹患率は、人口10万人に対してCrohn病：15人、潰瘍性大腸炎：53人と多い。

○c. 慢性持続型・若年発症型・全大腸炎型などは、大腸癌の発生リスクが高い。

×d. 直腸から連続性に上行する病変が特徴的。

×e. 栄養療法が主体なのはCrohn病。UCでは薬物が第1選択。解答 b,c

2. 次の消化管疾患とX線所見で正しいものを選び

- (1) 単純性潰瘍 - Lead pipe appearance (2) Crohn病 - 縦走潰瘍 (3) 腸結核 - 偽憩室
(4) 腸重積 - Coiled spring sign (5) 潰瘍性大腸炎 - 輪状潰瘍

1abc 2abe 3ade 4bcd 5cde

<解答> 4

×(1) 潰瘍性大腸炎がLead pipe appearanceを示す。

○(2) Crohn病では、回腸末端に好発する縦走潰瘍が特徴的。

○(3) 腸結核、Crohn病などではX線にて偽憩室がみられる。

○(4) 腸重積では、注腸造影にてカニの爪像やcoiled spring signがみられる。

×(5) 輪状潰瘍は腸結核に特徴的。

3. クロウン病の治療薬はどれか。

- 1、副腎皮質ステロイド 2、メサラジン 3、抗TNF- α モノクローナル抗体
4、NSAIDs 5、コルヒチン

a(1,2,3) b(1,2,5) c(1,4,5) d(2,3,4) e(3,4,5)

<解答> a

Crohn病に対する薬物療法は、重症例にはステロイド、軽症例に対してサラゾピリン(サリチル酸誘導体)やメサラジン(サラゾピリンの改良版)が用いられる。アメリカでは、抗TNF- α 抗体が使用されているが、長期的安定性などの評価はまだである。5コルヒチンは、痛風の薬。

4. 下記の消化管ポリープのうち、遺伝性のはどれか。

- a) Gardner症候群 b) Cowden病 c) 化生性ポリープ
d) Cronkhite-Canada症候群 e) Peutz-Jeghers症候群

1. abc 2. abe 3. ade 4. bcd 5. cde

解答 2 2002年卒試 6と同じ問題

○a) 常・優 APC ○b) 常・優 PTEN ×c) ×d) ○e) 常・優 STK11

5. 早期大腸癌の定義はどれか

- 1 遠隔転移無し 2 内視鏡的切除可能 3 粘膜下層まで 4 粘膜内 5 腺腫

<解答> 3 大腸癌の早期癌は、粘膜下層までの病変。転移は問わない。

6. 50歳の男性。昨夜より悪心、嘔吐がおり、次第に腹痛が増強してきたため来院した。腹部単純X線像を下に示す。適切な処置はどれか。



- (1) 絶飲食
- (2) イレウス管の挿入
- (3) 高圧浣腸
- (4) 下剤の投与
- (5) 栄養輸液

- a. (1) (2) (3) b. (1) (2) (5) c. (1) (4) (5)
d. (2) (3) (4) e. (3) (4)(5)

解答 b 6. 2002年の64番と同じ問題

niveau 見られ、小腸イレウス。よってb。高圧浣腸は腸重積の治療。イレウスに下剤はいらない。消化管運動調整剤（ネオスチグミン、プロスタグランジン）が必要。

7. 正しいものを選び

- a. 胃粘液は副細胞、表層上皮細胞より分泌される b. ペプシンは壁細胞より直接分泌される。
c. 胃全摘後の患者は悪性貧血をきたすことがある d. 胃液の分泌は1日1から2リットルである

<解答> a.c.d

- oa. そのとおり。 ×b. 壁細胞由来の塩酸と主細胞由来のペプシノーゲンから、ペプシンができる
oc. 壁細胞由来の内因子欠乏によりVit.B₁₂吸収ができず悪性貧血をきたす od. その通り。

8. a. D細胞より分泌されるソマトスタチンは胃酸分泌を抑制する。
b. セクレチンは十二指腸S細胞より分泌される。 c. セクレチンより胃酸分泌が促進される。
d. 壁細胞はガストリン刺激後プロテインキナーゼ活性で胃酸を分泌する。
1. abc 2. bcd 3. acd 4. abd 5. 全て

- <解答> 4 oa. ソマトスタチンはガストリンおよび胃酸分泌を抑制する。膵島D細胞からも分泌。
ob. 十二指腸や空腸などのS細胞から分泌。 ×c. 抑制される。
od. ガストリン刺激により、Caを介してCキナーゼを活性化させる。

9. (1) 好酸球性胃腸炎では腹水がみられる (2) 蜂巣織胃炎の起炎菌では腸球菌が多い
(3) 上腸間膜閉塞症では立位腹部単純写真でDouble bubble signがみられる
(4) Functional dyspepsiaでは胸やけがみられる
(1) ab (2) bc (3) ad (4) ae (5) acd

- <解答> (5) o(1) 腹水を伴って、著明な粘膜肥厚が特徴的。
×(2) 溶連菌が多いので×
o(3) 上腸間膜動脈性十二指腸閉塞症ではdouble bubble signがみられる。
×(4) 胸やけの症状などreflux-like dyspepsiaは、GERDに分類。

10. 正しいものの組み合わせを選び。

- a 迅速ウレアーゼ活性は内視鏡検査を必要としない
b PPIはH₂ブロッカーより胃酸を強く抑える
c 十二指腸潰瘍の再発に対してHpの除菌は有効である
d Hpは糞便中に検出される

- 1abc 2abd 3acd 4bcd 5 全て正解

<解答> 4

- ×a.内視鏡を使用し、生検組織のウレアーゼ活性を測る。 ○b.そのとおり。PPI は薬効の持続時間が長い。
 ○c.消化性潰瘍を繰り返し、Hp 陽性の場合には除菌が必要。
 ○d.糞-口感染や口-口感染が感染経路とされている。

1 1. 胃悪性リンパ腫について正しいものを選び

- a. 潰瘍を形成するものが多い b. 開腹手術を行うことは稀である
 c. 大部分は全身リンパ腫の転移である d. Bリンパ球が主体である e. ピロリ菌除菌療法が有効である
 1abc 2abe 3bcd 4ade 5cde

<解答> 4

- a.潰瘍・びらん・皺襞を形成する。 ×b.治療の第1選択はヘリコバクターの除菌である。
 ×c. ヘリコバクターに対する生体の反応が原因であり、MALT（粘膜関連リンパ組織）が形成される。悪性リンパ腫のほとんどはMALTリンパ腫である。
 ○d.non Hodgkin のB細胞リンパ腫に属する。 ○e.治療の第1選択はヘリコバクターの除菌。

1 2. 正しい組み合わせを選び

- a. クロウン病と潰瘍性大腸炎においてCTで鑑別は容易である。
 b. 消化管癌の深達度診断にMRIはきわめて有用である
 c. 炎症性腸炎と大腸癌はCTで鑑別は容易である d. 虫垂炎の診断にCTは有用である
 1) a 2) a, b 3) c, d 4) d 5) すべて

2004年14と同じ。(上記の通り)

1 3. 正しいもの

- a 肝右葉背側にある無漿膜野のことをモリソン窩という b 肝右葉の上部背側にある液体は腹水である
 c 癌性腹膜炎は腹水が認められなくてもCTで診断出来ることがある
 d 膵臓は頭部から尾部まで全て後腹膜内に存在する
 1ab 2ac 3c 4bd 5すべて

<解答> 4

- a) 肝臓右葉と後腹壁との間の腹膜陥凹のうち、右腎臓との間をモリソン窩という。 b) 正しい
 c) 癌性腹膜炎とは、腹腔内臓器の原発性あるいは転移性癌が腹膜に播種し、さらに腹水が貯留した状態、であるので腹水が認められない場合癌性腹膜炎とは呼べない。 d) 正しい

14. 食道の解剖について誤りを一つ選べ

- 1 食道の上皮は重層扁平上皮である 2 食道は左気管支の後ろを通る
 3 筋層は二層の平滑筋からなる 4 生理的狭窄部位は3ヶ所ある
 5 噴門部の構造は逆流防止に重要である

<解答> 3 1) 正しい

- 2) 気管分岐部では左気管支の後方を通り、次第に左側に寄り横隔膜は第10胸椎の高さで貫く。
 3) 食道の筋層は、上1/3は横紋筋、中1/3は横紋筋と平滑筋の混在、下1/3は平滑筋で構成されている。
 4) 食道入口部、気管分岐部、横隔膜貫通部の3つ。 5) 正しい

1 5. 食道の病変について正しい組み合わせを選び。

- a. Zenker 憩室は牽引性憩室である。 b. 特発性食道破裂は下部食道に起こりやすい。
 c. 腐食性食道炎は晩期に食道癌を合併することがある。
 d. 食道アカラシアの原因は神経叢の消失による弛緩不全にある。
 e. 食道の良性腫瘍で最も頻度の高いのは線維線種である。

1.abc 2.abe 3.ade 4.bcd 5.cde

〈解答〉5

- 1) Zenker 憩室は内圧性である。 2) 正しい 3) 正しい 4) 正しい
5) 食道の良性腫瘍のうち、平滑筋腫が半数を占める。よってそれらは食道の下部に好発する。

16. 胸部食道癌の根治手術について正しいものを選び。

- a 左開胸で行う。 b 再建臓器は空腸が第一選択である。
c 再建ルートは後縦隔経路が最短である。 d 胸壁前経路は縫合不全が起こりやすい。
e 反回神経周囲のリンパ節転移の頻度が高い。

1 abc 2 bcd 3 abe 4 ade 5 cde

〈解答〉5

- 1) 大動脈を避けるため右開胸で行う。 2) 胃、または結腸が第一選択である。

18. 絞扼性イレウスについて正しいものを選び。

- a 聴診上腸蠕動音が亢進している。 b 節遮断剤を投与しても腹痛が軽減しない。
c 腹膜刺激症状が認められる。 d 腹部エコーで腹水が認められる。
e 腹部エコーで拡張腸管の腸内容の移動が認められる。

〈解答〉

- 1) ? 初期では亢進し、進行すると減弱・消失する。 2) 3) 正しい 4) 正しい 5)

19. 急性出血性直腸潰瘍について

- a 腹痛が先行する b 寝たきりの高齢者に多い
c ? 直腸上部の円形単発潰瘍が多い d 突然の新鮮血下血で発症する e 排便時のいきみが関係する
で、選択肢は覚えてませんが三つ正解を選ぶでした

〈解答〉b, d, e

- 1) 無痛性で急激に発症する 2) 正しい
3) 直腸下部に多発する地図上、あるいは類円形の潰瘍が先行する。 4) 正しい 5) 正しい

20. 消化管出血について正しいものを選び。

- a. 食道静脈瘤の出血にはエタノール局注が効果的である。 b. 胃潰瘍は胃癌より吐血の頻度が少ない。
c. 吐血をみたら最初に行うのは緊急内視鏡である。 d. 胃潰瘍は動脈性出血を来すことがある。
e. NSAIDs は消化管出血の原因となることがある。

1.ab 2.bc 3.cd 4.de 5.ae

〈解答〉4

- 1) 硬化剤を注入する。 2) 胃潰瘍のほうが多い。
3) まずはバイタルサインをチェックし、重症度を判定すると同時に必要に応じて、気道確保、血管確保（輸液）、人工呼吸などの救急処置を行なう。次に出血部位を確認するために症状から上部消化管出血が疑われる場合は鼻腔または口腔から、下部消化管出血が疑われる場合には肛門から内視鏡を挿入し、緊急内視鏡検査を行なう。 4) 正しい 5) 正しい

21. AGML の原因として考えられるものはどれか

- a 絶食 b ストレス c NSAID d カルシウム拮抗薬 e 抗コリン薬
1ab 2ae 3bc 4cd 5de

〈解答〉3

- 原因としては暴飲暴食や、ストレス、服薬（特に NSAID は胃粘膜の防御因子であるプロスタグランジンの合成を阻害するので AGML を起こしやすい。）によって起こる。

24. 潰瘍性大腸炎と Crohn 病について正しい組合わせを選べ。

- a 潰瘍性大腸炎では血管内皮細胞下の泡沫細胞出現が特徴的組織所見といえる。
- b 潰瘍性大腸炎では組織学的に杯細胞減少 (goblet cell depletion) が特異的所見である。
- c 両疾患とも長期 (10 年以上) 経過例ではしばしば癌を合併することがある。
- d Crohn 病では乾酪性類上皮細胞肉芽腫の出現が特徴的組織所見である。
- e Crohn 病では全層性炎症や裂溝が特徴的組織所見である。

1 ab 2 ac 3 bd 4 ce 5 de

〈解答〉? (b,e?)

- 1) 誤り。泡沫細胞はマクロファージが酸化した LDL(低比重リポ蛋白)を貪食し、細胞内に泡沫状の脂肪滴を蓄積し形成され、粥状動脈硬化や黄色腫などに現れる。 2) 正しい
- 3) Crohn 病の大腸癌のリスクは報告によって異なる。いずれにせよ潰瘍性大腸炎に比べてはるかに低い。
- 4) 非乾酪性肉芽腫。 5) 正しい

25. 間違っているものを1つ選べ。(02の33とほぼ同じ)

- a 口腔、喉頭の悪性腫瘍では高率に消化管、呼吸器に重複癌が認められる。
- b う歯、喫煙歴、飲酒歴がある場合には、口腔癌に注意が必要である。
- c 口腔癌で最も部位的に多いのは舌癌である。 d 口腔癌の組織型としては腺癌が多い。
- e 初期の口腔癌は切除や放射線で治療可能であるが、比較的早期にオトガイ下、顎下部、頸部に転移をきたす。

1a 2b 3c 4d 5e

〈解答〉4 d) 扁平上皮癌が多い。

26. 間違いを1つ選べ。

- a 口蓋扁桃に原発する癌は口腔癌に分類される。
- b 中咽頭癌の組織は分化度が高い扁平上皮癌が多い。
- c 中咽頭癌の原発巣の治療には手術と放射線がある。
- d 中咽頭癌の切除に伴う組織欠損は前腕皮弁や大胸筋皮弁によって形成される。
- e 頸部リンパ節転移に対しては頸部廓清術が行われる。

<解答>a (2002年概説70参照) 耳鼻科

口腔は前弓までで、それより後ろにある口蓋扁桃は中咽頭に分類されます。

12. 間違いをひとつ選べ。

- a. 下咽頭癌、喉頭癌では声帯が固定していれば TNM 分類で T2 以上である。
- b. 進行した下咽頭癌症例では化学療法、放射線療法のみでは完全治癒が難しく、咽頭、喉頭、頸部食道合併切除が行われる。
- c. 下咽頭癌は進行例が多く頸部リンパ節転移の頻度が高い。
- d. 下咽頭癌の頸部リンパ節転移に対して頸部廓清術が行われる。
- e. 下咽頭癌の咽頭、頸部食道切除後の再建には遊離空腸を用いることが多い。

答え a. T3 以上となる

2001 年卒試の 12 番と同じ

28 右下腹部に腫瘍を触知するのはどれか

- a 回腸悪性リンパ腫
- b 虫垂炎
- c 潰瘍性大腸炎
- d 卵巣嚢腫

1abc 2bcd 3abd 4ad 5すべて

炎症の生じた虫垂を大網が被覆したり虫垂周囲に膿瘍を形成したときには有痛性の腫瘍を触知する。by Text 外科学。

解答 3

29. 虫垂の疾患について正しいものはどれか。

- a 虫垂は大腸の中でもカルチノイドの多い部位である。
 - b 老人の虫垂炎では白血球が上昇しないことがある。
 - c 虫垂の良性腫瘍でも粘液水腫をきたす。
 - d 小児の虫垂炎では穿孔は少なく、抗生物質投与による保存的治療が多い。
- 1 abc 2 bcd 3 abd 4 acd 5 全て

<解答> 1 (2002年卒試験 38 参照) 壬生先生

- oa. カルチノイドは良悪性の中間的な性質を有する非上皮性腫瘍ですが、日本では直腸(35%)、胃(30%)、十二指腸(15%)の順に多いとされています。欧米では虫垂(40%)、空回腸(25%)、直腸(15%)ということなので一応○にしました。
- ob. らしいです。痛みの訴えも不明瞭。
- oc. 虫垂良性腫瘍のうち、mucinous cystadenoma が mucocoele をきたすらしいです。
- od. 小児の虫垂炎は全体の中では頻度が少ないものの穿孔しやすいので注意が必要。

30. クロウン病の手術適用で多いのはどれか

- a 癌合併 b 狭窄 c 瘻孔形成 d 腹膜内腫瘍、炎症性腫瘍形成
- 1ABC 2BCD 3ABD 4ACD 5すべて

<解答> 1? 壬生先生

- o a. 若年でも癌発生。Bypass 手術した後の loop、また狭窄部位に好発する。
- o b. 最も多い手術の原因。
- o c. 膀胱との内瘻、皮膚との外瘻は ope。腸管同士の内瘻は狭窄例で ope。
- x? d. 腹膜内膿瘍ならば ope 適応。炎症性の腫瘍(?)ならばまず炎症を鎮めるのでは?

31. 直腸癌の手術で、術後の QOL を向上させる目的であるのはどれか。

- a. 自律神経温存術 b. 側方郭清 c. 腹腔鏡補助下手術 d. total mesorectal excision
- (1)ab (2)bc (3)bd (4)ac (5)cd

<解答> ? (2002年卒試 39 参照) 壬生

- o a. 排尿、性機能温存を目的としています。
- x b. 側方向リンパ節転移 15%ある。郭清による予後改善は不明。
- x? c. Post site recurrence が問題。QOL 高めるのでしょうか。早くから動けるとか?
- o d. 直腸全間膜切除 (Total mesorectal excision: TME) は直腸を包む非常に薄い膜を破らずに一つのパッケージとして切除する方法です。骨盤内再発が減少しただけでなく)10~30%→0~4%)、J型パウチと機械吻合により、直腸の貯留能を保つことができ、最終的に自然排便を回復することができます。

32. 排便の異常を主訴とする疾患はどれか?

- a 直腸癌 b 過敏性腸症候群 c 子宮内膜症 d 直腸粘膜脱症候群
- 1 abc 2 bcd 3 abd 4 acd 5 全て

<解答> 5

- o a. 出血(やや粘性のある暗赤色のもの)
- o b. ストレスにより腹痛、下痢(男性に多い)、便秘(女性に多い)、ガス過多など
- o c. 便柱の狭小化、生理に一致した腹痛
- o d. 出血、排便困難

34. 大腸全摘・回腸肛門吻合術の適応となる疾患を選べ。

- a 大腸クローン病 b 潰瘍性大腸炎 c 家族性大腸腺腫症 d 慢性便秘症
- 1 ab 2 bc 3 cd 4 bd 5 ac

<解答>2 壬生先生

- × a. skip lesion を形成するし、再発も多いので ope の場合はできる限り狭い範囲で。
- b. 下から順に冒していくので。
- c. 癌化する前に予防的大腸切除を。癌死の平均年齢が 42 歳であることの重みを。
- × d. それだけでは。

36. 正しいものの組み合わせを選べ。

- a 体性痛腹痛はA線維を介して伝達され、鋭い痛みである。
 - b 体性痛腹痛には鎮痛剤が有効である。
 - c 放散痛は内臓性腹痛である。
 - d 内臓性腹痛は限局性・持続性である。
 - e 内臓性腹痛では体動で増悪する。
- 1 abc 2 abe 3 ade 4 bcd 5 cde

<解答>1 (2002 概説 4 参照) 飯田先生

	内臓痛 (C 線維)	体性痛(A 線維)
発 生 機 序	管腔臓器の spasm や拡張 実質臓器の牽引や腫脹	壁側腹膜、腸間膜、横隔膜の炎症 物理的・化学的刺激
求 心 路	交感神経	脳脊髄神経
性 状	鈍痛、疝痛、周期的、間歇的	突き刺すような痛み、持続的
部 位	腹部の中心線上、対称性、 局在に乏しい	非対称性、限局性
放 散 痛	伴うことあり	なし
体動の影響	軽減することが多い	増悪することが多い
自律神経症状	しばしば伴う	なし
薬 剤	鎮痙剤が有効	鎮痛剤が有効
手 術	禁忌のことが多い	緊急手術の適応となることが多い

37. 正しい組合せを答えよ

- a. 健康人の消化管内の気体量は 1000ml 程度である。
 - b. 腹膜炎では浸出性腹水が認められる。
 - c. 消化管内の水分の大半は小腸で吸収される。
 - d. 健康人の糞便中水分量は一日 100ml 程度である。
 - e. 分泌性下痢は絶食により消失する。
- 1、abc 2、abe 3、ade 4、bcd 5、cde

<解答> 4 (2002 概説 5 参照) 飯田先生

- × a. 100ml です(嚥下した空気が 70%, 血中からの移行が 20%, 腸内細菌の腐敗発酵が 10%)。ただし、排除する系としては 90%が血中への移行であることに注意。
- b. 炎症により浸出性腹水がでます。
- c. in (約 9ℓ)のうち、空腸で 3-5ℓ, 回腸で 2-4ℓと大部分を吸収します。結腸からは 1-2ℓ。
- d. 糞便中の水分 100-200ml/day。
- × e. 絶食により消失するのは浸透圧性下痢(ex. 過食、乳頭不耐症などで腸管内浸透圧↑による)。分泌性下痢はホルモン、脂肪酸、エンテロトキシンなどにより腸液分泌過多になったもの。

38. 以下のうち、便秘を来たしやすすい薬物はどれか (3つ)

1. カルシウム拮抗薬 2. 抗コリン薬 3. 抗うつ薬 4. 麻薬 5. 抗生物質

<解答> 2,3,4

三環系抗うつ薬の副作用としてムスカリン受容体遮断(抗コリン作用)が有名です。腸管に分布しているムスカリン受容体に結合して腸管運動を抑制し便秘を引き起こします。よって 2,3 は正解。麻薬はアヘンでオピオイド受容体(μ 受容体)を刺激し、鎮痛、鎮静、呼吸抑制、便秘を引き起こします。

39.消化管出血に関する次の問に答えよ。

- a.吐血による出血は酸性を呈す。 b.喀血による出血は暗赤色を呈す。
c.上部消化管からの出血による下血は鮮紅色を呈す。 d. e.テネスマスは遠位大腸の病変が原因である。
1.ab 2.ae 3.bc 4.cd 5.de

<解答> 2

- oa.胃酸の影響で酸性となる。また、酸化され暗赤色となる。 ×b.喀血は鮮紅色でアルカリ性。
×c.血液が胃酸によって酸化され、さらに腸内細菌叢によって硫化され黒色便ないしタール便となる。
?d. oe.テネスマスとは遠位大腸の病変によっておこり、腹痛があつて頻繁に便意をもよおすのに、ほとんど便が出なかったり、排便があつてもわずかしかなない場合をいう。

41. 幽門側胃切除で結紮するのは？

- a 右胃動脈 b 上臍十二指腸動脈 c 胃十二指腸動脈 d 短胃動脈 e 右胃大網動脈

<解答> a,e?

幽門側胃切除では、左右の胃動脈・胃大網動脈を結紮する。(STEP 外科 2)

残胃には、短胃動脈等により血流が保たれる。

42. 胃切除後の障害について、誤っているものを選び。

- a ビタミンB12吸収障害による貧血には、ビタミンB12の内服が有効である。
b 巨赤芽球性貧血は、胃全摘後5～7年で発生することがある。
c 骨代謝異常による骨粗鬆症の発生をみることがある。
d 輸入脚症候群の手術治療には Braun 吻合がある。
e 吻合部潰瘍の発生頻度は、Billroth II 法再建後に多い。

- 1a 2b 3c 4d 5e

<解答> 1

- ×a.吸収障害のため、筋注すべきである。
ob.胃切除後、1年で鉄欠乏性貧血、3～5年で Vit12 欠乏性貧血を発症する。(yn G-26)
oc.ビタミンD(脂溶性ビタミン)やカルシウムの吸収障害が起こる。 od.(yn A-105)
△e.Billroth II 法に多かったが、現在では Billroth I 法と II 法に差はない(yn A-105)

44. 胃悪性リンパ腫について正しいものを選び。

- a 潰瘍を形成するものが多い。 b 開腹手術を行うことは稀である。
c 胃癌に比べて予後が悪い。 d 大部分は全身リンパ節の転移である。
e 胃肉腫のなかで最も頻度が高い。

- 1 ab 2 ae 3 bc 4 cd 5 de

<解答> 2

- oa.多発潰瘍、びらん、巨大皺壁、辺縁平滑な陰影欠損などを呈する。
×b.開腹手術が主である。大きさ2～3cm未満のものにはEMRも。
×c.予後は進行胃癌よりもよい。 ×d.?
oe.胃肉腫の内訳は、悪性リンパ腫...60% 平滑筋肉腫...30%

46. 消化管出血について正しいものを選び。

- (1)胃腫瘍は胃潰瘍より出血をおこす頻度は少ない。
(2)Mallory-Weiss 症候群は激しい嘔吐後に発症することが多い。
(3)胃潰瘍は動脈性の出血を来すことがある。
(4)食道静脈瘤の出血は高アンモニア血症の原因とはならない。
(5)消化管出血によりショックをおこすことはない。

- a (1)(2)(3) b (1)(2)(5) c (1)(4)(5) d (2)(3)(4) e (3)(4)(5)

<解答> a

- (1) 出血の頻度では胃潰瘍の方が多い。(year note) ○(2) その通り。 ○(3) その通り。
 ×(4) 消化管出血といえば、BUN 上昇と高アンモニア血症。
 ×(5) oozing bleeding と spurting bleeding があるが、後者は出血性ショックを起こす可能性がある。

47. 胃癌の転移について正しいものはどれか。

- a 右鎖骨上窩の転移も Virchow 転移という。 b リンパ節の転移は粘膜内癌でも認められる。
 c 肝転移は高分化腺癌に多い。 d 胃癌手術後再発で最も多いのは腹膜播種性転移である。
 e Krukenberg tumor は閉経後婦人に多い。
 1 abc 2 abe 3 ade 4 bcd 5 cde

<解答> 4

- ×a. Virchow 転移は左鎖骨上窩の転移のこと。 ○b.
 ○c. 高分化型の腺癌では血行性の肝転移が多く、未分化癌では腹膜播種が多い。
 ○d. 浸潤型胃癌の再発では、癌性腹膜炎を来たすものが多い。(yn A-40)
 ×e. Krukenberg tumor は閉経後婦人には少ない。(yn A-38)

48. 次の中で正しい組み合わせを選びなさい。(2002 年概説 49. と同一問題)

- a. 固形癌において手術時すでに微小転移が存在している可能性がある。
 b. 原発巣切除により転移巣が増大することがある。 c. 術中操作による腫瘍細胞散布の可能性はない。
 d. 癌の切除では治癒切除であれば、再発は認められない。
 1. a,b 2. a,c,d 4. d 5. 全て

※選択肢の数字が明らかに変ですが、特に訂正はありませんでした。

手術中所見と摘出標本所見から見て腫瘍組織の遺残がないと判断されたものを
 治癒切除という。その後の再発もある。

解答 1

49. 細胞死について正しいものの組み合わせを選びなさい。

- (1) 細胞死には大きく分けてアポトーシスとネクローシスがある。
 (2) 抗癌剤は細胞にアポトーシスをおこす。 (3) 核の分断化はアポトーシスの特徴である。
 (4) アポトーシスは遺伝子発現によって制御された細胞死である。
 a. (1) (2) のみ b. (1) (3) (4) のみ c. (4) のみ d. 全て正しい

<解答> d

- (1) その通り。能動的細胞死と受動的細胞死である。
 ○(2) DNA を傷害し、cell cycle の G1、G2 期を停止する事でアポトーシスを起こす。
 ○(3) クロマチン凝縮の後、核分断化(断片化)が生じて、アポトーシスが起る。
 ○(4) 本文の通りで、核分葉化、染色体 DNA 断片化、胞体の縮小断片化が特徴的。これらは遺伝子発現によって制御されている。

50. 癌化学療法について正しい記述は次の内どれですか。

- a. 同じ臓器の癌でも、腫瘍により抗癌剤効果性は異なる。
 b. 抗癌剤の投与量は多ければ多い程有効である。
 c. 複数の抗癌剤を併用することは効果増強の面のみならず副作用低下の面で有用である。
 d. 抗癌剤の効果を増強する薬剤を併用することを Biochemical Modulation (BCM) という。
 1. ab 2. bc 3. acd 4. d のみ 5. 全て

<解答> 3

- a. その通り。 ×b. 抗癌剤の毒性も問題となる。 ○c.
 ○d. * BCM 療法・・・抗癌剤 (effctor) にある薬剤 (modulator) を併用し、抗癌剤の薬理的動態を変化させ、
 抗癌剤の効果を特異的に増強したり、抗癌剤の毒性を特異的に軽減したりすること。

54. 39歳男性。2週間前より感冒様症状にて近医受診。投薬を受けてから心か部痛出現。薬局でH2ブロッカーを購入して服用することで症状改善したが、気になって検査のために当院を受診。上部消化管内視鏡写真を示す。疾患は次のどれか。(写真は胃の白苔と発赤を伴う治癒期の潰瘍でした)

- a 薬剤性潰瘍 b AGML c 早期胃癌 d 再発性胃癌 e

<解答> a 写真解説と病歴より、NSAIDによる薬剤性潰瘍と思われる。

55. 症例は45歳男性。平成15年7月、背部痛出現。徐々に症状増悪し、強い心窩部痛を伴ってきたため来院。外来にて施行した上部消化管内視鏡検査(図55)を示す。もっとも適切な治療法はどれか。

- a. プロトンポンプ阻害剤投与 b. 胃管挿入 c. 粘膜防御因子増強剤投与
d. プロスタグランジン製剤投与 e. 内視鏡的止血術

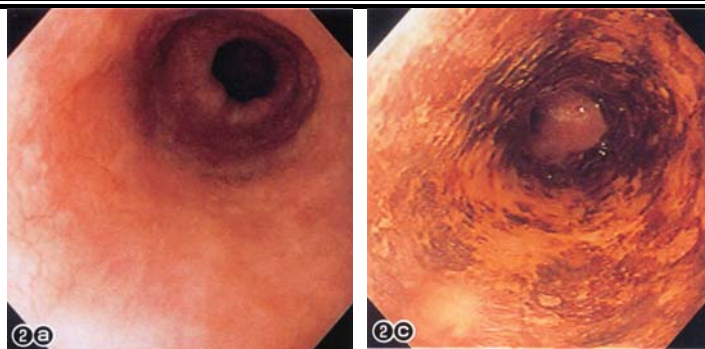
- 1.a 2.b 3.c 4.d 5.e

<解答> 1

画像が不明であるが、慢性の経過であることから胃十二指腸潰瘍と考えて治療を選択した。H2ブロッカー、PPIが治療の第一選択である。

56. 70歳男性。食道内視鏡検査結果(図56-1:通常観察、図56-2:ヨード染色)を示す。内視鏡検査所見より考えられる疾患について正しいものを選び。

- a. 超音波検査が病変の深達度に有用である。
b. ヨード染色で褐色に染まった部分を中心に病変が存在する。
c. 硬化療法の良い適応である。
d. 治療法は手術、放射線、化学療法がある。
e. 喫煙、高濃度のアルコール摂取が発症の危険因子である。



- 1.abc 2.abe 3.ade 4.bcd 5.cde

*コメント: 画像は表在癌 0-IIb を思わせる平坦な粘膜面で、病変部と思われる部分はヨードで染まっていませんでした。画像は出題された画像と似ているもの。

<解答> 3

ヨードで染まらない軽度の隆起→食道癌と考えて解答した。

- oa.超音波内視鏡にて、深達度を測定する。 ×b.染まらない部分が病変部位である。
×c.食道静脈瘤ではない。 od.その通り。食道では扁平上皮癌が主のため、放射線も著効する。
oe.その通り。

57. 42歳女性。3年前から嚥下困難を自覚していたが、最近症状が増悪してきたため来院した。食道造影写真(図57)を示す。この疾患に関して正しい組み合わせはどれか。

- a. 24時間pHモニタリングが診断に必要である
b. 食道内圧測定が診断に有用である c. 下部食道括約筋の静止圧が亢進している
d. 長期罹患例では食道癌の合併がみられる e. 内科的な治療としてプロトンポンプ阻害薬が有効である

1. abc 2. abe 3. ade 4. bcd 5. cde

注) 図57; おそらくS状型のアカラシアです。

<解答> 4

アカラシアの食道造影では、紡錘型→プラスコ型→S字型へと移行する。アカラシアと分かれば、食道内圧測定によるLES圧上昇は分かるだろう(b,c)。また、長期罹患例では3-4%に食道癌の合併を見る(d)。胃酸やpHは関係ない。

58. 67歳の男性。1ヶ月前から嚥下困難を生じ、5kgの体重減少を認めた。来院時の食道造影写真（胸部上部？食道に狭窄像）を示す。正しいものを選べ。

- a) 飲酒、喫煙が発症のリスク因子となる。 b) 治療方針決定のために気管支鏡検査が有用である。
c) 頸部リンパ節へ転移しやすい。 d) 胸部上部に好発する。 e) 扁平上皮由来である。

<解答> a, c, e

「嚥下困難」「体重減少」は典型的な食道進行癌の初期症状である。

- a. ○...重要なリスクファクターである。 b. ×...気管支鏡は使わない。
c. △...上部食道なら○ d. ×...中部に好発。 e. ○...95%が扁平上皮由来である。

59. 30歳、男性。突然の腹痛を主訴に来院した。立位正面単純X線画像を示す（左横隔膜以下に胃泡とは別のリークあり）。腹部全体のディファンス(+)、RBC456万/uL、WBC11000/uL、血圧110/60、脈拍120 診断は何か

- (1)肺梗塞、 (2)胃十二指腸潰瘍穿孔、 (3)急性膵炎、 (4)急性虫垂炎穿孔、 (5)急性胆嚢炎

<解答> 2

リークとは free air のことだろう。よって穿孔があると考え2か4となるが、Year noteによれば、「横隔膜下の free air があれば胃十二指腸穿孔と確診できる」とある。(陽性率 50-80%)

61. 59才男性、便鮮血陽性を指摘され、精査を受けた。(図がありました。大腸の二重造影でアップルコアサインがありました)

- a. 大腸の二重造影である b. 病変はS状結腸である c. 小腸の造影はされていない
d. 虚血による浮腫がある e. いわゆる apple core sign がある

1ab 2ae 3bc 4cd 5de

<解答> 2

注腸二重造影でアップルコアサイン、とくれば大腸癌である。大腸癌の早期発見のスクリーニングとしては現在、免疫学的便潜血反応が一般化している。

62 写真は66歳女性の胃切除標本の肉眼写真(図62-1)、断面の肉眼写真(62-2)、HE標本の顕微鏡写真(図62-3)である。診断は次の中のどれが適当であるか。

- a. II c型早期癌で分化型癌 b. II c型早期癌で未分化型(低分化型)癌
c. 2型(潰瘍限局型)進行癌で分化型癌 d. 4型(びまん浸潤型)進行癌で分化型癌
e. 4型(びまん浸潤型)進行癌で未分化型(低分化型)癌

<解答> ?

図がないので何とも言えないが・・・早期癌なら粘膜下層まで、進行癌なら筋層まで浸潤が見られる。またボルマン4型はほとんど未分化(低分化)型であることや、未分化(低分化)型には印環細胞が見られる場合があることも参考になろう。

63. 大腸のある疾患の生検組織図がある。この疾患について正しいのはどれ？(多分、虚血性腸炎の組織かな～？、解答選択肢的にも、不確かですいません。)

- a. 類上皮細胞肉芽腫をしばしば認める。
b. 著明な好中球浸潤をしばしば認め、陰窩膿瘍をしばしば認める。
c. 偽膜が特徴的所見で、原因は clostridium difficile の毒素による。
d. (ghost crypts)が特徴的所見である。←すいません、ghost crypts の日本語忘れしました。
e. 担鉄細胞をしばしば認める。

1, a, b 2, a, c 3, b, d 4, c, e 5, d, e

- <解答>5? a. ×...クローン病で見られる。 b. ×...陰窩膿瘍とくれば潰瘍性大腸炎。
 c. ×...偽膜性腸炎。粘液及び好中球からなる偽膜形成を認める。 d. △...ghost crypts って何でしょう？
 スミマセン、知らないです...。ghost cell なら赤血球が溶血して出来るものなので、虚血性腸炎で見られて
 もいいかもしれません。 e. ○...担鉄細胞＝ヘモジデリン含有食細胞のこと。虚血性大腸炎で見られる。

64～65. 64歳女性。1ヶ月前より腹部膨満感を認め、便・ガスの排出がすくなくなり、体重が5キロ減少した。図64にこの患者の腹部エックス線単純撮影を示す。

64. 図64について正しいのはどれか。

- a. 下行結腸から近位側結腸にかけて便の貯留を認める。
 b. S状結腸から直腸にかけては便の貯留は認めない。
 c. ただちに下剤を投与して、便の排出をはかるべきである。

1 a 2 b 3 ab 4 bc 5 すべて

65. 考えられる病名は？

- 1 慢性便秘症 2 直腸癌 3 潰瘍性大腸炎 4 直腸脱

<解答>64. ?(1or2or3) 65. おそらく1

直腸癌や潰瘍性大腸炎なら血便が見られることが多い。体重減少があり悪性腫瘍も否定できないが、ここは便秘で良いと思う。直腸脱とするには情報が少なすぎる。腹部 Xp で便の貯留やアップルコアサインの有無を確認したい。

また治療についてだが、器質的便秘疾患であれば原因療法が第一に優先される。機能性便秘の場合は患者に対し排便のメカニズムを理解させ、排便訓練を行なう。さらに生活指導や食事療法を行ない、効果不十分なら薬物療法や心理療法を行なう。(「内科学」朝倉書店)よってcを選ぶのは性急だろう。

66. 75歳女性。40歳の時子宮癌の治療を受けている。2日前から発熱と腹痛があり、尿に空気が混じるようになった。逆行性直腸造影を示す。

- a S状結腸は狭くなっている。 b 小腸が早期に描出され、直腸と瘻孔を認めている。
 c 膀胱との瘻孔ははっきりしない。

1 ab 2 bc 3 ac 4 全て○ 5 全て×

<解答>おそらく3

「尿に空気が混じる」ことから膀胱腸瘻か膀胱陰瘻が考えられる。子宮癌の既往歴より膀胱陰瘻であろう。よって直腸と膀胱に瘻は認めないはずで、b×、c○となる。

68. 48歳女性。空腹時上腹部痛を主訴として来院。上部消化管 X線検査を行った。

その一部を示す。主に描出されている部位はどこか。

- a 胃噴門部 b 胃体上部 c 胃体下部 d 胃角部 e 幽門前庭部

1a 2b 3c 4d 5e

<解答>？これはさすがに画像がないと分かりません・・・。

69. 45歳女性。心窩部痛を主訴に受診し、諸検査の結果、胃癌の診断を受けた。

上部消化管造影、内視鏡写真を示す。正しい組み合わせを選べ。

(造影では胃角が開大していた。これは怪しいが、前庭部が伸展していない印象を受けた。内視鏡では噴門部を見上げたアングルでごつごつとした不整な隆起性？病変を認めた。)

- a.4型進行胃癌である。 b.病変の中心は大弯側である。 c.幽門側胃切除術の適応がある。
 d.手術後の合併症として逆流性食道炎がある。 e.手術後長期間を経ても貧血がおきることがある。

1.ab 2.ad 3.bc 4.cd 5.de

<解答>5

内視鏡写真にて病変の場所が「噴門部」であると分かれば d、e が選べ、c が消せるのではないか。e は胃全摘による悪性貧血のことだろう。隆起型の所見から a(4型＝スキルス)も消せる。

70. 60歳の女性。2ヶ月前から食後の胃部不快感が続くために来院した。発熱や体重減少はない。胃内視鏡写真(図70-1)と胃生検H-E染色標本(図70-2)を示す。診断はどれか。

- a、Curling潰瘍 b、Borrmann1型胃癌 c、Borrmann2型胃癌 d、平滑筋肉腫 e、悪性リンパ腫
1、a 2、b 3、c 4、d 5、e

図70-1

約4分の3週の周堤を伴った潰瘍性病変(→一見したところtype2胃癌かと思われたが・・・)

図70-2

視野全体にリンパ球と思われる細胞が極多数見られる(→恐らく悪性リンパ腫だろう・・・)

解答;周堤を伴う潰瘍性病変ということ、特に手術の既往がないことよりc or eにしぼることができ生検所見よりリンパ球浸潤が著明であることより悪性リンパ腫であることがわかり解答はeであると思われる。

71. 68歳の男性。今朝からめまいが出現し、黒色便に気づき来院した。脈拍128/分、整。血圧100/52mmHg、意識清明。(血液所見)赤血球220万/μl、Hb6.0g/dl、Ht20.0%、白血球9000/μl、血小板48万/μl。(血液生化学)総蛋白6.0g/dl、Alb3.0g/dl、BUN80mg/dl、クレアチニン3.4mg/dl、総ビリルビン1.0mg/dl、GOT30U/L、GPT28U/L。胃内視鏡写真を示す。適切な処置はどれか。

(図71: 胃内視鏡写真・・・白苔に覆われ、一部血管の露出している潰瘍が認められる。)

- a. 輸血 b. 血液透析 c. ウロキナーゼ投与
d. プロトンポンプ阻害薬の点滴静注 e. 内視鏡下エタノール局所注入
1)abc 2)abe 3)ade 4)bcd 5)cde

解答;黒色便より消化管出血が疑われ、胃内視鏡所見より胃潰瘍であるとわかる。Hb6.0/dl、Ht20.0%で貧血を疑われ、脈拍128/分と頻脈であり輸血の適応であると考えられる。血液透析は抗凝固薬を使用するのでこの場合適さないと考えられる。またウロキナーゼは消化管出血には禁忌である。よって、解答は3である。

72. 国試89D-12と同じです。一応打つときます。

65歳男性。生来健康であったが、定期健康診断の胃造影検査で異常があると言われて来院した。胃内視鏡写真と胃生検H-E染色標本とを別に示す。診断はどれか。

- a 過形成性ポリープ b IIa型早期胃癌 c 1型進行癌 d 平滑筋腫 e 腺腫
(確か、内視鏡の写真はもう何個か隆起性病変があった気がする・・・)

解答;この問題は内視鏡と生検像で判断する問題なのでeとしか答えられません。

73. 45歳男性、胃癌の診断にて胃亜全摘術を受けた。術後8日目に38.5度の発熱と右上腹部痛を訴えた。赤血球340万、Hb11g/dl、白血球12800、血小板18万、X線造影所見を示す。(造影剤からの漏出)適切な処置を選べ。

- (a) 絶食 (b) 抗生物質の投与 (c) 胰酵素阻害薬 (d) 輸血 (e) 栄養輸液
(1)abc (2)abe (3)ade (4)bcd (5)cde

解答;術後の縫合不全が疑われる。白血球12800、発熱より感染が疑われるので、抗生物質の投与は必要で胃を安静に保つため絶食、栄養輸液は必要であり解答は2である。

74. 66歳男性、胃癌検診で造影にて3cmの腫瘍が見つかったので精査のため来院した。内視鏡を行った。この疾患にあてはまるものを選びなさい。(粘膜下腫瘍っぽい所見が画像上示されている)

1. 早期胃癌IIa 2. Borrmann2型胃癌 3. bridging foldを認める
4. 出血や壊死は認めない 5. EMRの適応がある

解答;画像上粘膜下腫瘍であり特徴はbridging foldやdelleがみられること、壊死、潰瘍がみられることがあることである。さらに粘膜下の腫瘍であるのでもちろんEMRの適応はない。よって解答は3である。

75. (2002年の64番と同じです。)これは大腸の切除組織写真である。これらの記述の中で正しいものの組み合わせを選べ。

- a. 大腸の中では直腸に多く見られる。 b. 索状、リボン状構造が特徴的である。
c. 遠隔転移は見られない。 d. 神経内分泌顆粒を有することが多い。

1. a b d 2. a c d 3. a d 4. a 5. すべて

>おそらく直腸カルチノイドと思われます。見た目で思いっきり索状でした。

>イヤートアトラスにも似たようなのが載っているんでご参照下さい。

>答えは1の人が多かったです。

(答え) 1

カルチノイドであれば索状配列、リボン状で、直腸(最多)胃・十二指腸に好発し、遠隔転移もある。内分泌細胞(Kultschitzky細胞)が腫瘍化したもので、顆粒をもっている。

76. 中年の男性。喫煙40本/日、ウイスキーボトル半分/日。ファイバーにて梨状陥凹に腫瘍を認める。左声帯固定しているが、軟骨などへの浸潤はなし。両側頸左右1個ずつリンパ節転移あり、大きいほうは径2cm。肺に転移あり。(このような主旨の問題文に、腫瘍の画像がついている)この疾患の診断名とTNM分類を答えよ。

解答;梨状陥凹に腫瘍をみとめることより下咽頭癌と考えられ、喫煙と飲酒がriskとなると考えられている。TMN分類であるが、喉頭固定があり、浸潤がみられることよりT3となり、両側性で6cm以内なのでN2となり、肺への転移が認められるのでM1である。

2005年度概説試験（復元）

平成17年12月16日実施

試験時間 90 分。問題用紙は 20 ページの冊子。解答用紙はマークシート。ともに番号と名前が書かれた封筒に入っており、一緒に提出せねばならない。7割は過去問から、といった感じ。今年の卒試と同じ問題も多かった。席は自由。試験官は5、6人。

【1】糞便検査について正しいものはどれか。

- a. 溶血性貧血では灰白色の便となる。 b. 脂肪滴はズダン III 染色でオレンジ色に染まる。
c. 寄生虫卵の検出には直接塗抹法より集卵法が鋭敏である。
d. 肉食では便の pH は酸性となる。 e. 糖質食では便の pH はアルカリ性となる。

1.ab 2.ae 3.bc 4.cd 5.de

(答) 3 (解説)a.× 溶血性黄疸→濃褐色便、閉塞性黄疸→灰白色便(無胆汁便) b.○
c.○ d,e:× 便の pH は、肉食でアルカリ性、糖質食で酸性

【2】正しいものを選び。

- a.水分は大部分は小腸で吸収される。 b.便中の水分は通常 100-200ml である。
c.消化管内の空気は通常 500ml 程度である。
d.消化管内の空気の大部分は排ガスされる。 e.健常人では腹水は認められない

1.ab 2.ae 3.bc 4.cd 5.de

(答) 1 H15 年 10 月 6 日の講義中に配られた「消化管病学総論」というプリントに載ってます...。
(解説)a.○ 空腸 3~5ℓ,回腸 2~4ℓ,結腸 1~2ℓ再吸収 b.○(レジュメ p9)
c.× 500ml→100ml d.× 90%は血液へ移行。

【3】正しいものを選び。

- a. 大網は腹膜播種の好発部位である。 b. 正常の腹膜は CT が指摘が容易である。
c. 膵癌の腹膜播種はまれである。 d. 横行結腸間膜は胃の大弯から下方にのびる間膜である。
e. 横行結腸間膜と小腸間膜には連続性はない。

1.a 2.b 3.c 4.d 5.e

(答) 1
a.○ (レジュメ p15~16) b.× 正常の CT では腹膜描出(-) (レジュメ p14) c.×
d,e× 横行結腸間膜は膵前面より起こり右側では小腸間膜、左側では脾腎間膜と連続。(レジュメ p16)

【5】食道の運動について正しいものは？

- A 上部食道括約筋は嚥下時に弛緩する。
B 一次性蠕動波は食物が下部食道筋を弛緩させることで起こる。
C 二次性蠕動波は嚥下反射に続いて起こる。 D 下部食道括約筋が (このあとわからん)
E ガストリンは下部食道括約筋を収縮させる。

1 AB 2 AE 3 BC 4 CD 5 DE

(答) 2 (レジュメ p2 参照) (解説)A.○ E.○ B と C は一次性と二次性を入れ替えれば正解。

【6】胃酸分泌について正しいのはどれか。

- a. 胃粘液は副細胞、表皮上皮細胞より分泌される。 b. 胃酸は胃底腺の壁細胞より分泌される。
c. 壁細胞は胃腺の底部に存在する。 d. 内因子は主細胞から分泌される。
e. 胃液分泌量は 1 日 1-2 リットルである。

1(abc) 2(abe) 3(ade) 4(bcd) 5(cde)

(答) 2 (レジュメ p2 参照)
a.○ b.○ c.× 壁細胞は胃腺の中間部分に存在。底部に存在するのは主細胞。
d.× 主細胞→壁細胞 e.○

【7】胃酸分泌が促進するものはどれか。

- a. ガストリン b. ソマトスタチン c. セクレチン d. ヒスタミン e. アセチルコリン
1) a b c 2) a b e 3) a d e 4) b c d 5) c d e

(答) 3 (レジユメ p2 参照) (解説)b,cは分泌抑制

【8】A 上部消化管出血による吐血は黒褐色である。 B 喀血は高 PH である。

C 十二指腸潰瘍でテネスマスが起る。 D 脳腫瘍による嘔吐には腹痛を伴う。

A○ B○ C× D× 腹痛→頭痛 (二内科の飯田先生配布の講義プリント参照)

【9】現在の分子標的治療が直面している問題点はどれか。

- a. 着目分子の生理機能の全貌が明らかでないため、思いもよらない副作用が生じるときがある。
b. スクリーニングによって得られる薬剤が多く、着目分子だけに作用するのは困難である。
c. 検査方法が決定していないので、正しい治療方法を検索するのが困難である。
d. 着目分子の分子異常が判明していないので、後ろ向きな検証が実施されていない。

1 a c d 2 a b 3 b c 4 d 5 全て

(答)わかりませんが、どれも×とはいえないので、5 なんじゃないでしょうか...?

【10】癌と遺伝子について、正しいものを選び。

- a. 食道癌は p53 遺伝子異常が癌化や癌の進展の原因と考えられている。
b. N-myc の増幅は硬化性胆管炎をよく伴う。
c. 家族性大腸腺癌は A P C 遺伝子異常により起る。 d. ヒトの遺伝子は約 3 万である。

1. a, c, d 2. a, b 3. b, c 4. d のみ 5. a-d すべて (←たぶん)

(答)1 a.○ (内科学 p938) b.× N-myc の増幅は神経芽細胞腫に関与。 c.○ d.○

【11】遺伝子に関する記述について正しいものはどれか。

- a. RNA の塩基配列に基づいてアミノ酸を繋げる事を転写という。
b. DNA は 1 本のポリヌクレオチド鎖である。
c. DNA の遺伝子情報に基づき mRNA を作る事を翻訳という。
d. DNA には発現を調節する部分がある。

1. a, c, d 2. a, b 3. b, c 4. d のみ 5. a-d すべて

(答) 4 (解説)a.× 転写→翻訳 b.× 1本→2本 c.× 翻訳→転写 d.○

【12】上部消化管造影 X 線検査について正しいのはどれか?

- a. 消化管の蠕動運動を抑制するため、抗コリン薬を投与する。
b. 胃液や残渣の貯留があると、粘膜へのバリウムの付着が不良となる。
c. 充満法は、胃角を含む胃の辺縁の評価に有用である。
d. 二重造影法は、粘膜の微細構造の評価に適している。

1. a, c, d 2. a, b 3. b, c 4. d のみ 5. a-d すべて

(答) 5

【13】注腸造影検査について正しいもの。

- a. 大腸内の便や残渣を少なくするため下剤を用いた前処置が必要。
b. 腸の蠕動運動を抑えるため抗コリン薬を用いる。
c. 胃透視よりも低濃度のバリウムを用いる。 d. バリウムと空気を経肛門的に注入する。

1 a c d 2 a b 3 b c 4 d 5 全て

(答) 5 (レジュメ p11~12 参照)

(解説)c.o 胃透視：バリウム 120-200W/V%, 注腸造影：バリウム 60-80W/V%

【14】小腸造影 X線検査について正しいものはどれか。

- a. 小腸の機能検査あるいは簡易的な小腸検査として経口小腸造影法を用いる。
- b. 小腸の精密検査では、チューブを胃に挿入するゾンデ法を用いる。
- c. 小腸疾患の頻度は低いため、小腸造影の検査件数は胃透視よりも少ない。
- d. 小腸造影ゾンデ法では、胃透視よりも低濃度のバリウムを使用する。

1.a,c,d 2.ab 3.bc 4.d 5.全て

(答) 5

(解説)d.o 胃透視：バリウム 120-200W/V%, 小腸造影ゾンデ法：バリウム 50-70W/V%

【15】次のうち正しい組み合わせはどれか。

- a. クロウン病と潰瘍性大腸炎は CT で容易に鑑別できる。
- b. 虫垂炎の診断に CT は有用である。
- c. 炎症性腸疾患と大腸癌は CT で鑑別できる。
- d. 消化管癌の深達度診断には MRI が極めて有用である。

1)a,c,d 2)a,b 3)b,c 4)d 5)全て

(答) 3 2004 年卒試で既出 (解説)a.x これらは内視鏡および注腸造影により診断する。

d.x 消化管癌の深達度には超音波内視鏡が有効。

【16】次の組み合わせで関連痛でないものを選び。

- a.胆嚢炎：右肩甲痛 b.膵炎：左肩甲痛 c.心筋梗塞：心窩部痛
- d.急性虫垂炎：右下腹部痛 e.過敏性腸症候群：左下腹部痛

1 a,b 2 a,e 3 b,c 4 c,d 5 d,e

(答) 5 2004 年度卒試と同じ問題。 (解説)d.x 心窩部痛→右下腹部に限局

【17】正しいのはどれか。

- a.痙攣性便秘では直腸に糞便の停滞を伴う。
- b.単純性便秘では交替性の下痢を伴う。
- c.単純性便秘の便は兔糞状となる。
- d.痙攣性便秘では排便後の残便感を伴う。
- e.単純性便秘では便意が少ない。

1.ab 2.ae 3.bc 4.cd 5.de

(答) 5 (H15 年 10 月 6 日配布の「消化管病学総論」プリント参照)

※単純性便秘は、year note やステップでは弛緩性便秘となっています。

【18】モルヒネに対する記述のうち正しいものはどれか。

- a.モルヒネは依存症患者を作りやすい。
- b.モルヒネの長期使用は困難である。
- c.モルヒネの使用は生命予後を悪化させる。
- d.モルヒネには便秘や眠気などの副作用がある。

1.a,c,dのみ 2.a,bのみ 3.b,cのみ 4dのみ 5.a~dのすべて

(答) 4 (レジュメ p117) a~c はモルヒネに対するよくある誤解だそう。

【19】通常癌性疼痛に使用しない薬はどれか。

- a. 塩酸モルヒネ b. ナプロキセン (ナイキサン)
- c. アセトアミノフェン d. リン酸コデイン e. 臭化スコポラミン (ブスコパン)

(答)e (過去問頻出) e は鎮痙薬。

【20】緊急手術を必要とするものはどれか。

- a. 急性膵炎 b. 虚血性大腸炎 c. 卵巣のう腫捻転 d. 絞扼性イレウス e. 大腸憩室炎
1ab 2ae 3bc 4cd 5de

(答) 4

【21】タール便の原因になるのはどれか。

- a. 食道静脈瘤出血 b. マロリーワイス症候群 c. 十二指腸潰瘍出血 d. 大腸憩室 e. 虚血性大腸炎
1,abc 2,bcd 3,cde 4,abe 5,ade

(答) 1 タール便は上部消化管出血で見られる。

【24】化学療法適応の必要条件として正しい組み合わせを選べ。

- a. 全身状態が良好である。 b. 十分なインフォームドコンセントが得られている。
c. 臓器機能が保たれている。 d. 遠隔転移がある。
1.a.b 2.a.c.d 3.b.c.d 4d 5a~d

(答)a,b,c 2004年度卒試で既出。

【25】正しいものを選べ。

- a. 唾石は顎下腺に好発する。 b. 味蕾は舌と口唇にのみ存在する。
c. 舌の前3分の2の味覚は顔面神経の枝である鼓索神経により支配されている。
d. 味覚は不安・睡眠不足・うつ傾向にも影響をうける。
1.a.c.dのみ 2.a.bのみ 3.b.cのみ 4dのみ 5.a~dのすべて

(答) 1 (H17卒試14に類似) レジュメ p35~36 参照

b.× 舌をはじめ口腔粘膜、咽頭、喉頭にも分布。(レジュメ p36)

【26】正しいものを選べ。

- a) 嚥下の第二相は不随意運動である。
b) Plummer-Vinson 症候群では舌炎、鉄欠乏性貧血、嚥下困難がみられる。
c) 舌の白板症は前癌病変である。 d) 伝染性単核球症は肝機能障害に注意する。
1.a,c,d 2.a,b 3.b,c 4.dのみ 5.すべて正しい

(答) 5

a.○? レジュメ p40によると、半不随意的な運動。 b.○ (year note:G-20 参照) c.○

d.○ (year note:H-65 参照)

【27】唾液腺腫瘍について正しいものを選べ。

- a. 多形腺腫は代表的な悪性腫瘍である。 b. 耳下腺腫瘍は70%が良性である。
c. がま腫は舌下腺に多い。 d. 流行性耳下腺炎は細菌感染によっておこる。
1.a.c.dのみ 2.a.bのみ 3.b.cのみ 4dのみ 5.a~dのすべて

(答) 3 (解説)a.× 悪性腫瘍→良性腫瘍 d.× 細菌感染→ウイルス感染(mumps virus)

【28】下咽頭癌について正しいものを選べ。

- a. 咽頭後壁に多い。 b. 輪状軟骨後部癌は女性に多い。
c. 食道癌や胃癌などの重複癌が合併しやすい。 d. 早くから嚥下痛がある。
選択肢は忘れました。

(答)b,c,(dも?) (解説)a.× 梨状陥凹部、輪状軟骨後部、咽頭後壁の順に多い。

b,c.○ (year note:N-8) d.○?

【29】食道病変で正しいものを選び。

- a. 食道アカラシアは、食道造影検査で食道下端の平滑な狭小化を認める。
- b. 逆流性食道炎の治療で、プロトンポンプインヒビターを使用する。
- c. 食道アカラシアの治療で、内視鏡的噴門拡張術を行う。
- d. 発赤所見を伴った食道静脈瘤は、内視鏡的硬化療法の実用ではない。
- e. Zenker 憩室は、中部食道に発生する牽引性の憩室である。

1,abc 2,bcd 3,cde 4,abe 5,ade

(答)1 (解説)d.× 発赤所見のみられるものに適合。 e.× 咽頭食道移行部に発生する圧出性憩室。

【30】胃食道逆流症にて、上部消化管内視鏡検査で食道胃接合部口側に全周性粘膜炎を認めた。Los Angeles 分類ではどのグレードか。

- a. Grade A b. Grade B c. Grade C d. Grade D e. Grade M(NかMCの間違い?)

1) a 2) b 3) c 4) d 5) e

(答)d

GradeN→内視鏡的に正常 GradeMC(minimal change)→明らかな病変を認めないが色調変化を示す。

GradeA→孤立性病変、長径 5mm 以下 GradeB→孤立性病変、長径 5mm 以上

GradeC→癒合性病変、全周の 75%以下 GradeD→癒合性病変、全周の 75%以上

【31】食道良性疾患について誤っているものを1つ選び。

- a. 食道裂孔ヘルニアは逆流性食道炎を合併しやすい。
- b. バレット食道は胸部上部食道に好発する。
- c. アカラシアはLESの弛緩不全が主な原因となる。
- d. アカラシアの治療後は、食事の通過障害、胃酸逆流に注意が必要である。
- e. Heller-Dor 法はアカラシアの代表的術式の一つである。

1) a 2) b 3) c 4) d 5) e

(答)2

(解説)b.× バレット上皮は、食道粘膜炎がびらん、潰瘍を繰り返した結果円柱上皮に置き換わった状態をいい、胃側から連続している(year note:A-24 より)。一方、食道は頸部食道(食道入口部～胸骨上縁)、胸部食道(～食道裂孔)、腹部食道(～胃の入口部)に分けられる。よって、好発部位は「胸部上部食道→腹部食道」(だと思います)。

【32】食道腫瘍について正しいものを一つ選び。

- a. 食道良性非上皮性腫瘍で最も多いのは脂肪腫である。
- b. 食道平滑筋腫は上部より下部に起こりやすい。 c. 日本人は欧米人に比べて腺癌の発症率が高い。
- d. 食道癌が多発する頻度は5%以下である。 e. Barrett 食道癌は扁平上皮癌になりやすい。

1) a 2) b 3) c 4) d 5) e

(答)2 (year note:A-13 参照)

a.× 脂肪腫→平滑筋腫 b.○ 平滑筋腫は下部 2/3 の食道に多い。

c.× 日本では扁平上皮癌、欧米では腺癌の発症率が高い。 e.× 扁平上皮癌→腺癌

【33】食道良性疾患について

- a. マロリー・ワイス症候群は縦隔炎を伴う。 b. マロリー・ワイス症候群は観血的手術を要する。
- c. 特発性食道破裂の破裂部位は胸部中部食道が最も多い。
- d. 特発性食道破裂に対する治療として外科的処置はリスクが高いため、抗生物質の投与、輸液などの保存的治療が重要である。
- e. 特発性食道破裂に対する確定診断として、水溶性造影剤による食道透視が有用である。

(答)eのみが正しい。

a.× 縦隔炎を伴うのは特発性食道破裂。 c.× 食道下部 1/3 に多い。

b,d.× Mallory-Weiss 症候群→保存的治療が第一選択。特発性食道破裂→緊急手術。

<ポイント> Mallory-Weiss 症候群と特発性食道破裂(Boerhaave 症候群)を対比させて覚える！

【34】食道癌について正しいものを選び。

a.喫煙・飲酒は食道癌の risk factor である。 b.咽頭癌の既往は食道癌の risk factor である。

c.食道癌の好発年齢は胃癌より高い。 d.中国の東北部では食道癌の罹患率が高い。

1acd 2ab 3bcd 4a~d

(答)4? (解説)a.o b.? はっきりそう書いてある資料は見つけれませんでした。他臓器との重複癌を有することが多い(レジメ p71)なのでoでしょうか。

c.o? 食道癌は60代後半に多く50歳以上が90%。胃癌は50~60才。だからoでしょうか?

d.? 罹患率の高い地域はカザフスタン、アフリカのトランスケイ、中国の河南省林県だそうです。

【35】食道癌について

a. 胸部中部食道癌の根治手術には左開胸による手術を行う。

b. 胸部中部食道癌では横隔神経に沿うリンパ節転移の頻度は高い。

c. 胸部中部食道癌では頸部リンパ節転移はまれである。

d. 再建は後縦隔経路のほうが胸骨前経路より縫合不全の頻度が低い。

e. 食道ステントは気管食道瘻に有用である。

1ab 2ae 3bc 4cd 5de

(答)5 (解説)a.× 左開胸→下部食道に局限した癌。右開胸が一般的なアプローチ。

c.× 癌の占拠部位がどこであっても、まんべんなく頸部~腹部のリンパ節に転移。(と授業で言った)

d.o (レジメ p74 の表、参照)

【36】食道癌の治療について正しいもの1つを選び。

a. 全周性の病変に対するEMRは狭窄をきたしやすい。 b. sm 癌はEMRの絶対適応である。

c. 化学療法はシクロホスファミド、メトトレキサート中心である。

d. 胃癌に比べ放射線感受性は低い。 e. 術後合併症として嘔声はない。

1) a 2) b 3) c 4) d 5) e

(答)1 (解説)b.× (レジメ p72 参照) c.× 5-FU+CDDP が主流。

【37】食道癌について正しいものを選び。

a. 術後合併症として、横隔神経麻痺がある。 b. 術後2、3日目に肺水腫が起こる。

c. 再建臓器に結腸を用いた方が、胃より縫合不全が起こる。

d. 縫合不全は術後3日以内に起こる。

1.a.c.dのみ 2.a.bのみ 3.b.cのみ 4dのみ 5.a~dのすべて

(答)3か4? (解説)a.× 反回神経麻痺 b.o

c.? 結腸は血流不全を起こしやすいらしい(レジメ p73 より)なのでo? d:o? 胃癌の手術では「縫合不全による侵襲熱が出るのは術後3日目くらいまで」(【60】参照)らしいですが...

【38】大腸癌について正しいものを選び。

a. 日本における大腸癌の罹患率は、近年増加傾向にある。

b. 重症のイレウスを伴う大腸癌の手術では、一次人工肛門を造設することが多い。(?)

c. 右側結腸癌の方が左側結腸癌より頻度が高い。 d. 血中CEA値は、大腸癌の診断に有用である。

(1)acd (2)ab (3)bc (4)d (5)a~dすべて

(答) 1 か 5 (解説) a.○ c.○ d.○ b.?

【39】 消化、吸収に関して正しいものをえらべ

- a) 終末消化は刷子縁膜にて行なわれる。
 b) 唾液、膵液中の α -アミラーゼにより、タンパク質はオリゴペプチドにまで分解される。
 c) ペプシンにより糖質の消化が始まる。 d) ビタミン B1 は内因子と結合して、回腸から吸収される。
 e) 胆汁酸は回腸から再吸収される

1ab 2ae 3bc 4cd 5de

(答) 2 (レジュメ p4 参照) d.× ビタミン B1→ビタミン B12

【40】 内視鏡的止血法で正しい組み合わせはどれか。

- a. EVL—組織の膨化 b. EIS—血管の収縮 c. クリッピング—機械的圧挫
 d. エタノール局所注入—組織の脱水固定 e. レーザー治療—組織の凝固蒸散

1ab 2ae 3bc 4cd 5de

(答) 4 じゃないかと...

a.× EVL→機械的止血 b.× 硬化剤を用いて静脈瘤を血栓化。 C.○

【41】 上部消化管出血によるショックに対する治療として、適切なものを選び。

- a. 昇圧剤投与 b. H2 ブロッカーの投与 c. 輸血 d. 消炎鎮痛剤の投与 e. セミファーラーの体位
 1:a,b,c 2:a,b,e 3:a,d,e 4:b,c,d 5:c,d,e

(答) 1

(解説) 講義レジュメ p.158~159 参照

- a.○ ショック進行例で十分な輸液・輸血にもかかわらず心拍出量が増大しない場合は昇圧剤の投与が必要。
 b.○ 減酸による胃内の pH の上昇は、止血および再出血予防の立場から必要。
 c.○ ショック対策として、1: 気道確保、2: 輸血・輸液、3: 薬剤 がある。
 d.× 消炎鎮痛剤が消化管出血の原因となることがある。
 e.× 逆流性食道炎の時、「就寝時に上半身は 15 度以上挙上する体位をとる (Fowler 体位)」のことか?

【42】 食道静脈瘤出血時の治療で正しいものを選び。

- a. 内視鏡的結紮術 b. 高 Na -エピネフリン局所注入
 c. ヒートプローブによる止血 d. バゾプレッシン投与 e. S-B tube

(1)abc (2)abe (3)ade (4)bcd (5)cde (←たぶん)

(答) 3 (year note:A-21 参照)

【43】 次のうち、誤っているものを選び。

- a. 脳梗塞症患者の吐血はほとんどが食道静脈瘤からの出血である。
 b. 腎機能障害は内視鏡的硬化療法 (EIS) の合併症の一つである。
 c. 内視鏡的静脈瘤結紮術 (EVL) は EIS に比べ、合併症が少ない。
 d. 胃静脈瘤の治療法として B-RTO は有効である。
 e. 食道静脈瘤による活動性出血を認める場合、EVL は有効である。

1.ab 2.ae 3.bc 4.cd 5.de

(答)? 誤りは a のみでは...?

(解説) c.○ EVL は EIS に比べ合併症は少ないが再発をきたしやすい。 d.○ e.○

a.×? 「ほとんどが」ということはないのでは?

b.○? 硬化剤 5%EO の副作用として溶血による腎不全がある。

【45】潰瘍について正しいものを選び。

- a. 小弯は胃潰瘍の好発部位である。 b. HP陽性の胃潰瘍は除菌療法の適応となる。
c. 日本では十二指腸潰瘍より胃潰瘍が多い。 d. 消炎鎮痛剤は潰瘍の原因にならない。
e. U I-III の潰瘍は組織欠損が固有筋層に達する。

(1)abc (2)abe (3)ade (4)bcd (5)cde

(答)? a,b,c,e は正しく、d のみが誤りな気がするのですが...

【46】萎縮性胃炎について正しいものはどれか。

- a. A型胃炎は自己免疫的な機序による。 b. B型胃炎は H.pylori に関連する。
c. 腸上皮化生は胃癌の発生源地である。 d. B型胃炎は悪性貧血を伴う。
e. B型胃炎は抗壁細胞抗体陽性である。

(1)abc (2)abe (3)ade (4)bcd (5)cde

(答)1 (解説)d,e.× A型→B型 (ステップ⑥p58参照)

【47】胃炎に関して正しいものはどれか。

- a. 腐蝕性胃炎の晩期合併症に癌の発生がある。 b. 強いアルコールは急性胃炎の原因となる。
c. ストレスは急性胃粘膜病変の誘因になる。 d. メネトリエ病では、高蛋白質血症が見られる。
e. 好酸球性胃腸炎は胃内視鏡下の生検で好酸球の浸潤を認めなければ除去できる。

(1)abc (2)abe (3)ade (4)bcd (5)cde

(答)1 (レジュメ p81-82参照)

(解説)d.× 高蛋白質血症→低蛋白質血症 e.×? 末梢好酸球増多、血清 IgE 上昇などをみとめる。

【48】正しいものを選び。

- a. Lemmel 症候群とは傍乳糖憩室のことである。
b. Functional dyspepsia(FD)では、特定の器質化病変を認めない。
c. Helicobacter pylori はグラム陽性球菌である。 d. 糖尿病患者では、胃の排出能が亢進している。
e. 胃アニサキス症は、魚介類の経口摂取によることが多い。

(1)abc (2)abe (3)ade (4)bcd (5)cde

(答)2 (レジュメ p81-84参照)

(解説)c.× Hp はグラム陰性らせん菌 d.× 自律神経障害により胃排出能は低下している。

【49】65歳の男性。上部消化管透視、および内視鏡にて胃体下部前壁に径5cmの粘膜下腫瘍あり。正しいのはどれか。

- a. リンパ節転移をきたしやすい。 b. 内視鏡による生検では確診が得られないこともある。
c. c-kit 蛋白陽性なら、分子標的治療薬の効果が期待できる。
d. 第一選択は外科的切除である。 e. 胃全摘の適応である。

1,ab 2,ae 3,bc 4,cd 5,de

(答)3か4? (解説)a.×? GISTであるならば稀。 B.o? c.o e.× (レジュメ p96)

d.o? 直径5cm以上のものは悪性の可能性が高くなるので開腹下胃部分切除。5cm以内なら腹腔鏡下胃部分切除術。ということで、どちらにしても第一選択は外科的切除ということになるのでしょうか...?

【50】19歳の男性、夕食を午後7時にとり、大学受験のために深夜まで勉強していた。午前1時に、急激な上腹部痛が生じ、軽快しないため救急車で来院した。来院時、苦悶様顔貌を呈し、腹部に圧痛と筋性防御があった。体温37.5度、脈拍95/分、整、血圧156/90mmHgであった。適切な処置を選び。

- a. MRI b. 胸腹部立位X線単純撮影。
c. 腹部超音波検査 d. 上部消化管内視鏡 e. 上部消化管造影

(答)何個選べばいいのかわからないのですが、b,cはやると思います。

【51】胃癌を示す粘膜ひだの所見として正しいものはどれか。

- a ひだの途絶 b ひだの先端の太まり c ひだの急峻な先細り d ひだの癒合
1 acd 2 ab 3 bc 4 dのみ 5 すべて

(答)5

【53】胃癌について正しいものを選び。

- a. 陥凹性胃癌は、0-IIc型、0-III型病変を繰り返すことがある。
b. 5-FUは化学療法のKey Drugである。 c. 3型は限局性潰瘍病変である。
d. 4型は若年男性に多い。 e. ヘリコバクターピロリと関係がある。

1abc 2abe 3ade 4bcd 5cde (たぶん)

(答)2 (解説)a.o b.o c.x 3型は潰瘍浸潤型(レジメ p91) d.? e.o

【54】胃癌について正しいものを選び。

- a.山田分類のI型ポリープはほとんど癌化する b.進行胃癌IV型は分化型腺癌である
c.スキルの組織像は乳頭...?様を呈する。
d.リンパ管侵襲は病期に関係しない e.分化型は血行性に肝転移する

1.ab 2.ae 3.bc 4.cd 5.de

(答)5 (解説)b.x 4型は浸潤型で、病理組織学的には多くが未分化型。

【55】胃癌のstage分類を決めるのに重要な因子はどれか。

- a 腫瘍径 b 腫瘍占拠部位 c 進達度 d リンパ節転移 e 遠隔転移

1abc 2abe 3ade 4bcd 5cde

(答)5 2004年度概説で既出。

【56】胃腫瘍に関して正しいものはどれか。

- a.胃原発の悪性リンパ腫の多くはT細胞性である。 b.MALTの発生とH.pyroli感染には関連がある。
c.カルチノイドは胃粘膜下腫瘍の形態をとる。
d.GISTの治療にはメチル酸イマチニブが用いられる。 e.胃腺腫は癌化しない。

(答)b,c,dがo。 (解説)a.x ほとんどはB細胞性 e.x 腺腫内癌の頻度は切除例において10%程度。

【57】悪性リンパ腫について正しいものを選択せよ。

- a.潰瘍を作りやすい。 b.開腹手術はしない。 c.胃癌より予後が悪い。
d.全身性リンパ腫の転移である。 e.非上皮性腫瘍のなかで一番多い。

1ab 2ae 3bc 4cd 5de

(答)2? (解説)a.o? 多発潰瘍などを呈する。 b.x 外科的手術を行うこともある。
c.x 化学療法や放射線療法への感受性が高いため胃癌より予後はよいとされている。(内科学 p977)
d.? e.o 胃非上皮性腫瘍の60%を占める(レジメ p93より)。

【58】胃の切除術について正しいものを選び。

- a.切除ラインは癌の進行度(早期癌・進行癌)と浸潤様式別に癌の肉眼的辺縁からの距離で決定する。
b.胃幽門側胃切除を行うとき、左胃動脈は切除する。
c.胃の神経支配は副交感神経である腹腔神経節からと交感神経である迷走神経からなる。
d.胃後壁の約半分は後腹膜に固定されていることが多い。
e.幽門部リンパ節(NO1,2)に明らかに転移がみとめられても、胃全摘する必要はない。

1.ab 2.ae 3.bc 4.cd 5.de

- (答)1 (2004年度概説に既出)b.○ 右胃動脈、右胃大網動脈、左胃大網動脈も切離する。
c.× 腹腔神経節は交感神経も含まれる。迷走神経は副交感神経。

【59】 胃切除後について誤っているものを選び。

- a. 鉄欠乏性貧血は低色素性小球性貧血で、1～2年と早期に起こる。
b. ビタミン B12 欠乏は高色素性大球性貧血で、1～2年と早期に起こる。
c. 全摘後、鉄の経口摂取 d. 全摘後、ビタミン B12 筋注 e. 全摘後、少量分食
1,ab 2,ae 3,bc 4,cd 5,de

(答)3? bのみが誤りだと思うのですが...。cも誤りなのかも。

(解説)a.○(レジュメ p110) b.× 体内の B12 が枯渇してから生じるので5～6年後。 d,eは○。

c.○? 鉄欠乏性貧血の場合は鉄剤の経口投与が原則ですが、“全”摘の場合は胃酸によって鉄をイオン化することが全くできないので無意味ということでしょうか? どなたかわかったら教えてください。

【60】 術後5日たって38.0度の高熱が出た。考えられる疾患はどれか。

- a. 創部皮下膿瘍 b. 縫合不全 c. 急性肺炎 d. 急性胆嚢炎

(答)d (解説)縫合不全による侵襲熱が出るのは術後3日目くらいまで。4日、5日目以降の熱は感染を疑う。胃切除術後症候群として知られているのは急性胆嚢炎。(レジュメ p108,内科学 p979-984)

【61】 54歳男性。胃癌で開腹した。遠隔転移を認めず、腹膜播種所見なし。小弯から後壁に及び明らかな漿膜浸潤を認めたが隣接臓器への浸潤がなかった。幽門下リンパ節転移数個疑われる。腫瘍は胃上部にあって、上縁は食道胃接合部から肛門側20mmに離れた。適切な治療は?

- a. 開胸・開腹による下部食道・上部胃切除 b. 胃全摘
c. 噴門部胃亜全摘 d. 分節胃切除 e. 幽門部胃亜全摘
1) a 2) b 3) c 4) d 5) e

(答)2? (解説)完全に私の推測なんです。漿膜浸潤を認めたということで、T3。→定型手術(胃2/3以上の切除とD2郭清)以上の手術を行う。腫瘍上縁は食道胃接合部から20mm、幽門下リンパ節転移も疑われるということで、噴門も幽門も温存は不適當。→胃全摘かな、と...

【62】 胃癌の定型手術(2/3以上の胃切除+D2郭清)について誤っているものを1つ選び。

- a. 定型手術は他臓器に浸潤がなく(T3以下)、D2郭清にて、根治度ABが得られるとき施行する。
b. 術中に腹膜播種が疑われるときは腹水洗浄細胞診を施行し遊離癌細胞を確認するのが望ましい。
c. 切除線と腫瘍縁との距離は肉眼的所見にて設定する。進行癌で、浸潤型または中間型に対しては5cm以上、限局型には3cm以上にするのが望ましい。
d. 下部(L)進行胃癌では、脾門部リンパ節(No.10)の郭清を行うために脾摘を行うことが多い。
e. 噴門部リンパの転移が疑われるときは胃全摘が多い。
1) a 2) b 3) c 4) d 5) e

(答)4 (解説)「胃癌治療ガイドライン」をネット (<http://www.jgca.jp/PDFfiles/GL2004VER2.PDF>) や本で調べてみてください。「定型手術」について書かれた部分があります。

a~c:○ d.× 下部(L領域)ではなく上部(U領域) e.たぶん○

【63】 胃切除後の合併症について誤っているものをえらびなさい。

- a. 消化吸収障害により体重減少がみられる。
b. 胃全摘後には逆流性食道炎が起こる。
c. 食後2～3時間後に一過性高血糖に反応してインスリンの過剰分泌がおり、低血糖をきたす。
d. 長年経過してもビタミン B1 欠乏による貧血に注意しなければならない。
e. 骨代謝異常により骨粗鬆症や骨軟化症がおこる。
1) a 2) b 3) c 4) d 5) e

(答)4 (解説)d.× B1→B12

【64】急性虫垂炎との鑑別が必要な疾患の組み合わせを選びなさい。

A 卵巣腫瘍捻転 B 大腸憩室炎 C 尿管結石 D 大腸癌

1acd 2ab 3bc 4d 5全て

(答)2 (レジュメ p131 参照)

【66】a. クロウン病は縦走潰瘍が見られる。

b. 虚血性大腸炎は深い下掘れ潰瘍が見られる。 c. 潰瘍性大腸炎は裂溝が見られる。

d. 感染性大腸炎は敷石像が見られる。 e. 腸結核では輪状狭窄を伴う円柱潰瘍が見られる。

1.a,b 2.a,e 3.b,c 4.c,d 5.d,e

(答)正しいものは2。 (解説)a.○ b.× 下掘れ潰瘍→縦走潰瘍(下掘れは腸管パーチェット病)

c.× 裂溝はクロウン病の特徴 d.× 敷石像もクロウン病の特徴 e.○

【67】クロウン病の薬物治療で正しいもの。

a. 抗 TNF- α 抗体 b. プロトンポンプインヒビター

c. 副腎皮質ステロイド d. NSAID e. 抗 CD20 抗体

(答)a,c (選択肢はもっとたくさんあったようですが、正解となるのはこの2つだけだったそうです。)

【69】潰瘍性大腸炎の特徴で正しいものはどれか。

a. 直腸は正常に保たれる。 b. 喫煙は本症の増悪因子である。 c. 典型例では縦走潰瘍を認める。

d. 癌化のリスクが高い。 e. 本邦での有病率はクロウン病より高い。

1ab、 2ae、 3、bc、 4cd、 5de

(答)5

a.× 全大腸炎型、左側大腸炎型、直腸炎型がある。 d.○ 10年間罹患で普通のヒトの20倍高い。

e.○ UC:10万人対53人、クロウン病:10万人対15人(year note より)。

【71】腸結核について

a. 直腸に好発する。 b. 潰瘍が多発性である。 c. 深い下掘り状の潰瘍が特徴的である。

d. 乾酪壊死が見られる。 e. Ziehl-neelsen 染色で菌体検出が有用である。

a.× 回盲部に好発。 b.○ c.× 下掘り状潰瘍は腸管パーチェット病 d.○

e.×? 生検組織の抗酸菌染色による結核菌の証明はきわめて低頻度(内科学 p1000 より)。少なくとも「有用」ではないと思います。

【72】パーチェット病について正しい記載の組み合わせを選べ。

a. 潰瘍は回盲部に好発する。 b. 円形の打ち抜き潰瘍が特徴的である。

c. 炎症性ポリポーシスをしばしば認める。

d. 単純性潰瘍とは組織像から鑑別可能である。 e. 組織学的には非特異的炎症である。

1abc 2abe 3ade 4bcd 5cde

(答)2 (解説)a.○ b.○ 下掘り状潰瘍も punched-out ulcer も腸管パーチェット病のキーワード。

c.× d.× 組織像はパーチェット病と同じ。パーチェット病の徴候の欠如により鑑別。

【73】虫垂炎に関して正しい組み合わせはどれか。

- a. 虫垂炎は6歳以下の小児には少ないが、発生すると穿孔することが多い。
 b. カタル性虫垂炎は手術の絶対適応である。 c. 筋性防御があるときは腹膜刺激徴候を表している。
 d. 虫垂炎時の圧痛点のうち、へそと右上前腸骨棘を結ぶ線の外3分の1の部をMcBurney点という。
 1acd 2abのみ 3bcdのみ 4dのみ 5a~dのすべて

(答)1 (レジュメ p130 参照) b.× カタル性虫垂炎には保存的治療。

【74】虚血性大腸炎の特徴は？

- a. 右側結腸に好発する。 b. 狭窄型よりも一過性型のものが多い。
 c. 診断は血行造影が必要である。 d. 小腸に多い。 e. 大部分は開腹手術を行う。
 1ab、 2ae、 3、 bc、 4cd、 5de

(答)? 正しいのはbのみという気がします。 dの選択肢の意図もよくわかりません...

- a.× 左側結腸に好発(※O-157では右側結腸に好発) b.o 一過性型:65%,狭窄型:25%(内科学 p1026)
 c.× 血管造影で血管の閉塞所見を描出可能な症例は極めて少ない。(レジュメ p156)
 e.× 90%を占める一過性型と狭窄型では保存的治療。

【75】急性出血性腸炎について正しいものを選び。

- a. ペニシリン等の抗生物質で起こることが多い。
 b. 突発する血性下痢と激しい腹痛を伴うことが多い。
 c. 若年女性に好発。 d. 治療は原因薬剤の投与中止である。
 1.a.c.dのみ 2.a.bのみ 3.b.cのみ 4dのみ 5.a~dのすべて

(答)5? (解説)a.o b.o d.o

c.o? 若年者に好発らしいですが(year note:A-60より)、性別までは....

【76】大腸アメーバ赤痢について正しい組み合わせを選び。

- a. 融解壊死が特徴的な所見である。 b. 好酸球浸潤が著明である。
 c. 核内封入体を認める。 d. 類上皮細胞がしばしば見られる。
 e. 赤血球を貪食した像が病原性に意義がある。
 1ab、 2ae、 3、 bc、 4cd、 5de

(答)2 (解説)融解壊死の中に虫体+, 赤血球貪食像などが特徴的。

【77】イレウスの初期治療で適切でないものを選び。

- a. 絶飲食 b. 胃管挿入 c. 下剤投与 d. 抗生剤投与 e. 輸液
 1a 2b 3c 4d 5e

(答)3

【78】結腸ストーマの術後早期合併症で正しいものはどれか？

- a)ストーマ壊死 b)ストーマ周囲皮膚炎 c)狭窄 d)傍ストーマヘルニア
 1acd 2ab 3bc 4d 5abcd

(答)? ストーマの合併症としてはa~dすべて当てはまります。早期かどうかはわかりません。

【79】大腸ポリープについて正しい組み合わせを選び。

- a. 腺腫の30%が癌化する。 b. Peutz-Jeghers症候群は粘膜筋板の樹枝状増生を特徴とする。
 c. 管状腺腫より絨毛腺腫のほうが癌化率が高い。
 d. 非上皮性腫瘍としては脂肪腫が多い。 e. カルチノイドは直腸に好発する。
 1.abc 2.abe 3.ade 4.bcd 5.bde

(答)? レジュメ p152~154 参照

(解説)a.? 腺腫の癌化の危険性は高いですが、何%かはわかりませんでした。 b.o c.o

d.o? 非上皮性腫瘍としては、脂肪腫、リンパ管腫、平滑筋腫が多い(レジュメより)。 e.o

【80】 正しい組み合わせを一つ選べ。

- a. ポイツイエガー—脱毛 b. クロンケットカナダ—爪の変形
c. ターコット—骨腫 d. カウデン—カフェオレ斑 e. 若年性ポリポーシス—皮膚の色素沈着
1a 2b 3c 4d 5e

(答)2 (レジュメ p153~154 参照)

【81】 小腸について正しいものを選べ。

- a. 腫瘍は口側、肛門側より、中央部に多い。 b. 腺腫よりカルチノイドのほうが予後が悪い。
c. 良性腫瘍でも腸閉塞を起こすことが多い。
d. 転移性悪性腫瘍は、肺癌・乳癌など、腹腔外臓器からの転移が多い。
1acd 2ab のみ 3bcd のみ 4d のみ 5a~d のすべて

(答)3か4 bとcが微妙です。 (解説)a.x d.o b.? 腺腫(良性)ではなく腺癌なら、5生率はカルチノイド:50%,腺癌:19%(レジュメ p129 より)で、腺癌のほうが予後不良なので答はxとなります。腺腫の場合はカルチノイドのほうが予後が悪い気がするのでoだと思うのですが。

c.? 腸閉塞を起こすことはある。レジュメによると 25%。

【82】 下部消化管出血について正しいものの組み合わせはどれか。

- a.下部消化管出血は大腸疾患の方が小腸疾患より少ない。
b.偽膜性大腸炎は Clostridium difficile のトキシンに起因する。
c.虚血性大腸炎は左側結腸に多い。 d.イチゴゼリー状便はアメーバ赤痢に特徴的なものである。
e.潰瘍性大腸炎よりもクローン病の方が顕出血が多い。
1.abc 2.abe 3.ade 4.bcd 5.bde

(答)4 (レジュメ p166~167 参照)

【85】 便秘症について正しいものを選べ。

- a. 胃結腸反射によって、食後に大腸は蠕動する。 b. 排便指導では朝食をしっかり取るように言う。
c. 感染性下痢では止痢剤は使用しない。 d. 糞づまりでは浣腸後も残渣がないか直腸診を行う。
(1)acd (2)ab (3)bc (4)d (5)すべて

(答)5

【86】 過敏性腸症候群と大腸憩室炎について正しいものを選べ。

- a. 両者とも大腸機能障害による疾患である。
b. S状結腸憩室炎は上行結腸よりも膀胱と瘻孔を形成しやすい。
c. 過敏性腸症候群では、便は兔糞状で下痢になることは少ない。
d. 大腸憩室炎は保存的治療では治癒することはないので外科手術の適応である。

(答)b (解説)a.x 大腸憩室炎は機能障害ではないのでは?

c.x 便秘、下痢、交代性便通異常がみられる。 d.x 原則的に保存的治療。

【87】直腸脱について、正しい組み合わせを選べ。

- a. 便失禁症をきたすことが多い。 b. Gant-Miwa 法は、再発が少ないので国内でよく行われる。
c. 経腹的アプローチより経肛門的アプローチの方が再発率が低い。 d. 40~60 歳代の女性に多い。
(1)acd (2)ab (3)bc (4)d (5)すべて

(答)? 正しいのは a と d? (レジュメ p137 参照) (解説)a.o b.× 再発多い。 d.o
c.×? レジュメ p137 によると、Abdominal procedure の方が Perineal procedure より再発率が低いようなのですが…。Perineal は「会陰の」という意味らしいですが、Perineal procedure は経肛門的アプローチと解釈していいんですよね?

【88】大腸損傷について正しいものを選べ。

- a. 大腸損傷が疑われるときは開腹手術が行われる。
b. 左上腹部の刃物による刺創の場合、脾損傷を合併する。
c. 大腸の損傷では胃のほうが十二指腸損傷よりよく合併する。
d. 大腸損傷の手術で人工肛門造設することはない。

(答)a,b? (レジュメ p138 と 11/26 配布の授業プリント(No28 まであるもの)を参考にしましたが、あまり載ってません。)

(解説)d は×。 a.o? 出血や穿孔がある時や疑われるときは手術。 b.o? 位置的にそうかなと。
c.? 授業プリントより、小腸損傷 45%、胃損傷 16%合併するそうですが、十二指腸損傷との比較までは…。

【89】正しいものを選べ。

- a. 重複腸管に異所性胃粘膜は認められない。
b. Meckel 憩室は胎生期の卵黄腸管が残存したものである。
c. 巨大結腸症は先天性のものと後天性のものがある。
d. Hirschsprung 病(症)は大腸の神経叢の神経節細胞の欠損が原因である。
e. Meckel 憩室は大腸に好発する。
1.a.b.c 2.a.b.e 3.a.d.e 4.b.c.d 5.c.d.e

(答)4 (解説)a.× 異所性に胃や腸粘膜を認める例が 25%に存在。(内科学 p987 より) b.o
c.o d.o e.× 回盲部より口側数十 cm の腸間膜附着部対側にできる。

【90】大腸癌について正しいものを選べ。

- a. 好発部位は横行結腸である。 b. 40%が遺伝性である。
c. 進行癌の肉眼的所見は、潰瘍限局型が多い。
d. 内視鏡的治療の適応は、粘膜内癌に限られる。 e. 早期癌は、リンパ節転移しない。

(答)c (b は?) (解説)a.× 直腸・S 状結腸に好発。 b.? c.o 70-80%を占める(year note:A-68)
d.× E.× 粘膜下層癌 10-15%にリンパ節転移あり。(レジュメ p144)

【91】大腸の解剖について正しいものを選べ。

- a. 結腸には 3 本の taenia がある。 b. 腹膜垂は結腸に存在する。
c. 側方向リンパ流とは、中直腸動脈に沿って分布するリンパ流のことである。
d. 中直腸弁がほぼ腹膜翻転部で、この部より肛門側が R b 領域となる。
(1)acd (2)ab (3)bc (4)d (5)すべて

(答)(5) レジュメ p132-133,11/26 配布プリント No.7,授業で先生がおっしゃったことを参照。

【94】直腸癌の手術において、癌手術の根治度を向上させる目的なのはどれか。

a. 自律神経温存手術 b. total mesorectal excision c. 側方郭清 d. 腹腔鏡補助下手術

(1)acd (2)ab (3)bc (4)d (5)a~d すべて

(答)3

【96】ヘルニアについて。

- a. 腹直筋後膜は臍の上部には存在しない。
 b. 横隔膜ヘルニアの Morgagni は、突然の呼吸不全を症状とする。
 c. 臍ヘルニアは切除が第一選択である。 あと忘れまして。

a. ? すみません。よくわかりません。

b. x 突然の呼吸不全を呈するのは Bochdalek。Morgagni は無症状で放置しても大丈夫。

c. x 小児の臍ヘルニアは自然治癒傾向が強く、生後 6 ヶ月以内に 90% が治癒する。

【97】大腿ヘルニアについて正しい記載はどれか。

- a. 両側同時発生することが多い。 b. 鼠径靭帯より足側に突出する。
 c. 大腿動脈の内側に脱出する。 d. 鼠径ヘルニアよりも嵌頓しやすい。 e. 修復は Bassini 法による。

1.a.b.c 2.a.b.e 3.a.d.e 4.b.c.d 5.c.d.e

(答)4

平成 17 年卒試 49 番とまったく同じようです。(他の年度の過去問にも頻出??)

【98】食道裂孔ヘルニアについて正しい組み合わせは？

- a. 傍食道型は最も頻度が高い。 b. マロリーワイス症候群を合併しやすい。
 c. 滑脱型の食道胃接合部は正常位置にある。 d. 横隔膜ヘルニアの中で最も頻度が高い。
 e. Nissen 法は本疾患に対する手術術式である。

(1)ab (2)ae (3)bc (4)cd (5)de

(答)5 (解説)a. x 傍食道型→滑脱型(約 90%) b. x 逆流性食道炎を合併しやすい。

c. x d. おそらく。 e. o

【99】腹膜癒痕ヘルニアについて正しいものの組み合わせを選べ。

- a. 先天性の疾患である。 b. 嵌頓しやすいので、ほとんどの場合で外科的治療を必要とする。
 c. 90% は感染が原因である。 d. 触診によりヘルニア門の触知が可能である。
 e. 再発防止には、皮膚よりもむしろ筋膜を十分に縫合する必要がある。

1.ab 2.ae 3.bc 4.cd 5.de

(答)5

(類 15 年概説 79) (レジュメ P136 清水先生)

【100】鼠径ヘルニアについて正しい記載はどれか。

- a. 男性より女性に多い。 b. 外鼠径ヘルニアより内鼠径ヘルニアのほうが頻度が高い。
 c. 内鼠径ヘルニアは嵌頓を起こす危険性が高い。
 d. 小児の鼠径ヘルニアは内鼠径ヘルニアが多い。
 e. Mesh plug 法は創部に緊張がかかりにくく、術後の疼痛が少ない。

1a 2b 3c 4d 5e

(答)5 (year note:A-93 参照)

【問題番号不明】偽膜性大腸炎について正しいものはどれか。

- a. 下血と腹痛を来しやすい。 b. 便に新鮮血を見る。
 c. メトロニダゾールを経口投与するとよい。
 d. バンコマイシンを経静脈注射するとよい。 e. MRSA感染が原因である。

1.ab 2.ae 3.bc 4.cd 5.de

(答)3? レジュメ p156 参照

(解説)a,b:症状は下痢、腹痛、時に血便ということで、下血とは書かれてなかったので a:×,b:o?

c,d:バンコマイシンまたはメトロニダゾールを“点滴ではなく経口投与”ということで、c:o,d:×。

e:× Clostridium difficile が起炎菌。

【問題番号不明】正しいものを選べ。

- a) 嚥下の第一相（口腔期）は随意運動である。
 b) Plummer-Vinson 症候群では舌炎、ビタミン B12 欠乏性貧血、嚥下困難がみられる。
 c) 舌の白板症は前癌病変である。 d) 伝染性単核球症は肝機能障害に注意する。
 1) a,c,d (2) a,b (3) b,c (4) dのみ (5) すべて正しい

(答)5 【26】とほぼ同じ問題。

【問題番号不明】絞厄性イレウスについて正しいものを選べ。

- a、保存的に治療する。 b、診断に超音波検査が有用である。
 c、腹単で無ガスイレウス像が見られる。
 d、腹水の貯留が見られることがある。 e、下剤を使用する。

1(abc) 2(bcd) 3(cde) 4(abe) 5(ade)

(答)2 (解説)a:×緊急手術となる。 c:o 見られることがある。

2004年度概説試験

(問題番号不明) 胃癌のステージを決めるのに重要な因子はどれか。

- a,腫瘍径 b,腫瘍占拠部位 c,進達度 d,リンパ節転移 e,遠隔転移
1,abc 2,bcd 3,cde 4,abe 5,ade

(答) 3.

(問題番号不明)

- a.左反回神経は大動脈を回って上行する。 b.食道の上部1/3は横紋筋からなる。
c.食道には2つの生理的狭窄部位がある。 d.奇静脈は下大静脈へ流入する。
e.胸部中部食道には気管支動脈の分枝が分布する。
1,abc 2,abe 3,ade 4,bcd 5,cde

(答) 2. c. ×、3つの生理的狭窄部位がある。
d. ×、奇静脈は第3胸椎の高さ付近で上大静脈へ流入する。

(2) 上部消化管造影X線検査について正しいのはどれか。

- a,充満法では、胃角を含む胃の辺縁の評価に有用である。
b,圧迫法では、陥凹性病変には、バリウムがたまり、隆起性病変ではバリウムをはじく。
c,二重造影法は、陽性と陰性の造影剤によるコントラストの差を利用した造影法である。
d,二重造影法は、粘膜面の微細構造の評価に適している。
1,abc 2,ab 3,bc 4,d 5,全て

(答) 5.

(3) 注腸造影検査について正しいのはどれか。

- a,大腸内の便や残渣を少なくするための前処置が必要である。 b,バリウムと空気を経肛門的に注入する。
c,胃透視で使用するものよりも高濃度のバリウムを使用する。 d,鎮痙剤は使用しない。
1,abc 2,ab 3,bc 4,d 5,abcd

(答) 2. c. ×、バリウム濃度は上部消化管検査法より低い。
d. ×、鎮痙剤を静注して腸の動きを止める。

(4) 胃癌の化学療法について正しいものを選び。

- a,化学療法の目的の1つは症状緩和である。 b,術後補助療法は進行性胃癌では必須である。
c,5-FUは胃癌化学療法のkey drug である。 d,延命は化学療法の目的の1つである。
1,ab 2,acd 3,d 4,全て

(答) 2. a.d. 抗癌剤治療の目的は延命と、症状緩和を含む Quality of life(QOL)の向上である。
b. ×、確実な延命効果を証明した evidence は乏しい。
適応の原則：肉眼的には治癒手術であるが、遺残腫瘍の存在が想定される場合。
早期癌および sT2/N0 症例を除く、治癒手術後の症例。

(6) 胃癌の微小転移について

- a,治療切除後でも見つかることがある。 b,微小転移はリンパや腹水から検出可である。
c,ほとんどの微小転移は画像でも検出できる。 d,微小転移は胃癌で見つかることはない。
1,ab 2,acd 3,d 4,全て

(答) (正しいものを選び、という問題と考えると) 1.

- c. ×、微少転移は目に見えない小さな転移であり、ほとんど画像で検出できるなら遺伝子発現解析など必要ないと思われる。 d. ×

(7) 胃の切除術について正しいものを選び。

- a, 切除ラインは癌の進行度（早期癌・進行癌）と浸潤様式別に癌の肉眼的辺縁からの距離で決定する。
 b, 胃幽門側胃切除を行うとき、左胃動脈は切除する。
 c, 胃の神経支配は副交感神経である腹腔神経節からと交感神経である迷走神経からなる。
 d, 胃後壁の約半分は後腹膜に固定されていることが多い。
 e, 幽門部リンパ節（NO1,2）に明らかに転移がみとめられても、胃全摘する必要はない。
 1,ab 2,ae 3,bc 4,cd 5,de

- (答) 1. b. 右胃動脈、右胃大網動脈、左胃大網動脈も切離する。
 c. ×、腹腔神経節は交感神経も含まれる、迷走神経は副交感神経。

(8) 胃切除後の障害について誤っている記述を選び。

- a, ビタミンB12吸収障害による貧血にはビタミンB12の内服が有効である。
 b, 巨赤芽性貧血は胃全摘後5～7年で発生することがある。
 c, 骨代謝異常による骨軟化症の発生を見ることがある。
 d, 輸入脚症候群の手術的治療にはBraun吻合がよい。
 e, 吻合部潰瘍の発生頻度はBillrothII法再建後に多い。
 1,ab 2,ae 3,bd 4,cd 5,de

- (答) 2. a. ×、ビタミンB12の静注を行う。
 e. ×、輸入脚症候群はBillrothII法再建後に多い。

(9) 胃・十二指腸潰瘍について正しいものを選び。

- a, 胃潰瘍の治療は手術によるものがほとんどである。 b, 十二指腸潰瘍は後壁に発生することが多い。
 c, 潰瘍穿孔を起こした場合、緊急手術となることが多い。
 d, 潰瘍からのコントロール不良の出血は手術適応となる。
 e, 潰瘍の手術には腹腔鏡手術を行うことはない。
 1,ab 2,ae 3,bc 4,cd 5,de

- (答) 4. b. ×、後壁→球部前壁 e. ×

(10) 胃癌に対しての胃全摘術についての正しいものを選び。

- a. Billroth I法による再建が一般的である。 b. 開胸操作を行うことはない。
 c. 胃全摘における脾摘の意義は郭清である。 d. 術後合併症に逆流性食道炎がある。
 e. 術後長時間を経ても貧血に注意する。
 1,abc 2,abe 3,ade 4,bcd 5,cde

- (答) 5. a. ×、Billroth I法→Modified Roux-en-Y法 b. ×

(11) 胃癌の転移について正しいものを選び。

- a, 右鎖骨上リンパ節への転移をVirchow転移という。
 b, リンパ節転移は粘膜内癌でもみられる。 c, 肝転移は高分化腺癌に多い。
 d, 胃癌手術後再発で最も多いのは後腹膜播種性転移である。
 e, Krukenberg tumorは閉経後婦人に多い。
 1,abc 2,abe 3,ade 4,bcd 5,cde

- (答) 4. a. ×、左鎖骨上窩リンパ節への遠隔転移をVirchow転移という。
 e. ×、閉経後は少ない。

(12) 65歳の男性。上部消化管透視、および内視鏡にて胃体下部前壁に径5cmの粘膜下腫瘍あり。正しいのはどれか。

- a,リンパ節転移をきたしやすい。 b,内視鏡による生検では確診が得られないこともある。
c,c-kit蛋白陽性なら、分子標的治療薬の効果が期待できる。
d,第一選択は外科的切除である。 e,胃全摘の適応である。

1,ab 2,ae 3,bc 4,cd 5,de

(答) おそらく4.

c. c-kit 蛋白陽性→Gastrointestinal stromal tumor(GIST)ではチロシンキナーゼ活性阻害剤を用いた分子標的治療も行われている。

d. 胃粘膜下腫瘍で直径5cm以上の充実性腫瘍では悪性の可能性が高くなる。

治療：悪性を疑う所見が無く、また出血などの症状をきたさないものは経過観察

粘膜下層に存在する小さなもの；内視鏡的粘膜切除

5cm以内のもの；腹腔鏡下胃部分切除術

5cm以上のもの；開腹下胃部分切除術

(14) 36歳男性。1ヶ月前から十二指腸潰瘍の治療中であった。昨夜会合で大量に飲酒したが、夜半急激な上部腹痛が生じ、軽快しないため救急車で来院した。来院時、苦悶様顔貌を呈し、上腹部には左痛と筋性防御が著明であった。体温37.5度、脈拍95/分整、血圧156/90mmHg便潜血は陽性であった。まず行うべき検査はどれか。

- 1.心電図 2.胸腹部立位X線単純撮影 3.腹部超音波検査
4.上部消化管造影検査 5.上部消化管内視鏡検査

まず立位胸腹部Xp。解答：

(16) 末期癌の患者によくみられる症状のうち、誤りはどれか。

- a,全身倦怠感 b,痛み c,不穏 d,死前喘鳴 e,食欲増進

1,a 2,b 3,c 4,d 5,e

<解答> 5

(19) 腸瘻について正しい組み合わせはどれか。

- a,腸瘻とは消化管内容の全部が排除される場合をいう。
b,小腸が膀胱と瘻孔を形成した場合は外腸瘻である。
c,腸瘻の治療ではまず手術による閉鎖を考える。
d,クローン病、腸結核、放線菌症などの炎症性腸疾患では瘻孔をきたす。

1,abc 2,ac 3,bd 4,d 5,全て

a× 全部 → 一部または全部 b× 外腸瘻 → 内腸瘻

c× 手術 → まずは保存的治療 d○

解答：4

(20) 腸間膜血管閉塞症と短腸症候群について正しいものはどれか。

- a,腸管壊死は腸管の血流が再開しても発生する。
b,上腸間膜動脈閉鎖症の閉塞は血栓症より塞栓によることが多い。
c,短腸症候群は小腸の長さが100cm以下で消化吸収障害により代謝障害が発生することがある条件である。
d,経腸栄養剤を経口投与して栄養補給している場合は小腸機能障害の認定が得られる。

1,abc 2,ab 3,bd 4,cd 5,全て

<解答> 5

(22) 虫垂炎に関して正しい組み合わせはどれか。

- a, 虫垂炎は15歳から24歳に多い。
 b, McBurneyの圧痛が軽度で、直腸診断により右側に圧痛点が強い場合には虫垂が盲腸の後方にあることを示す。
 c, 老人の虫垂炎では腫瘤として触知することもある。
 d, 腸管は気体を占有しているため、虫垂炎の診断として超音波検査は有効ではない。
 組み合わせ不明

<解答> a.○ c.○ d.×

(25) 正しい組み合わせを選べ。

- a, 異所性子宮内膜症は手術が第一選択。
 b, Cronkheit-Canada症候群は非遺伝性ポリポーシスで、ステロイドで治す。
 c, 広基性ポリープが直腸にできると、直腸切断術を行う。
 d, 絨毛性腫瘍では、分泌性下痢をきたすことがある。
 1, a b 2, a c 3, b d 4, d 5, 全て

<解答> 3

(26) 炎症性腸疾患について正しいものはどれか。

- a, 腸結核では活動性病変には抗結核療法を行い、狭窄などの合併症が発生したら手術を行う。
 b, 腸型ベーチェット病では深掘れ潰瘍が形成され、穿孔や保存的治療無効例では、腸管切除術を行う。
 c, 虚血性腸炎では、縦走潰瘍が発生するが、一過性が多く、外科治療を行うことは少ない。
 d, 粘膜脱症候群は脱出する直腸粘膜を切除する。
 1, abc 2, ac 3, bd 4, d 5, 全て

<解説> 1か5 a ○ b ○ (?) c ○ 内科的治療で数日程度で軽快する。

(27) 大腸癌に対して正しいものはどれか。

- a, 粘膜下層に浸潤した癌でリンパ節転移のある場合はDukes分類ではDukesAである。
 b, 遺伝性非ポリポーシス大腸癌 (HNPCC) ではp53遺伝子に遺伝子異常が多い。
 c, 側方リンパ節転移陽性はRsに存在する進行癌に見られる。
 d, 肝転後や腹膜転移がある場合には日本の大腸癌取り扱い規約ではstage IVである。
 1, abc 2, ac 3, bd 4, d 5, 全て

<解答> 4 a× A→C

(29) 肛門疾患に関して正しいものはどれか。

- a, 痔瘻は肛門腺の感染により発生する。 b, 肛門癌は腺癌と扁平上皮癌が多い。
 c, 毛巣洞は後天性疾患であり毛深い男性に発生しやすい。
 d, 肛門掻癢症は肛門を不潔にすることによって発生する皮膚病である。
 1, abc 2, ac 3, bd 4, d 5, 全て

<解答> 5

(30) 食道裂孔ヘルニアについて正しい記載はどれか。

- a, 傍食道型の頻度が最も高い。 b, 滑脱型の食道胃境界部は正常位置にある。
 c, Mallory-Weiss症候群を合併しやすい。 d, 横隔膜ヘルニアの中で最も頻度が高い。
 e, Mcvay法は本疾患に対する手術である。
 1, a 2, b 3, c 4, d 5, e

<解答> 4 a 滑脱型 b 上方にずれる c 逆流性食道炎 e Nissen法

(31) 大腿ヘルニアについて正しいのはどれか。

- a, 中年男性に多い。 b, 両側に同時に発生しやすい。
 c, 大腿動脈の内側に脱出。 d, 嵌頓しやすい。 e, 修復はBassini法による。
 1, a b 2, b c 3, c d 4, d e 5, a e

<解答> 3 a 中年女性、経産婦 b 片側 d Mcvay法

(35) 上部消化管出血によりショックをきたした症例に対する適切な治療法はどれか。

- a,昇圧剤の投与 b,H2ブロッカーの投与 c,輸血 d,消炎鎮痛剤の投与 e,セミファラーの体位
 1,abc 2,bcd 3,cde 4,abd 5,ade

<解答> 1

(37) 正しいのはどれか。

- a, 結腸は盲腸・上行結腸・横行結腸・下行結腸・S状結腸からなる。
 b, 消化管は、口・食道・胃・回腸・空腸・大腸・直腸とつづく。 c, 胃酸は主細胞から分泌される。
 d, セクレチンは胃酸分泌を抑制する。 e, ソマトスタチンは胃酸分泌を抑制する。
 1, a b c 2, a b e 3, a d e 4, b c d 5, c d e

解答：3 a○、b×空腸、回腸の順、c×壁細胞

(38) 外科治療が必要なものはどれか。

- a,胃穿孔 b,難治性十二指腸潰瘍出血 c,胃潰瘍 d,食道静脈瘤 e,胃癌
 1,abc 2,abe 3,ade 4,bcd 5,cde

解答：2 c、eは内科的にあるから

(40) 誤りはどれか

- a, 明確で正確かつ遅滞なくカルテをつける義務がある。
 b, 患者からのカルテ提示の要請があった場合には応じなければならない。
 c, カルテ記載の修正は、修正液で行える。
 d, カルテ傷病名欄には、主病名、副病名などを記載する必要がある。
 e, カルテは5年間保存しなければならない。

解答：c

(41) 食道の部位区分について正しいものはどれか。

- a,食道入口部の高さは甲状軟骨下縁である。 b,頸部食道と胸部食道の境界は胸骨上縁である。
 c,胸部上部食道は胸骨上縁よりも気管分岐部下縁までである。
 d,胸部下部食道の下端は食道胃接合部である。 e,腹部食道の上端は食道裂孔である

a：多分○ d：×食道裂孔 後は○

(42) 食道憩室について正しい組み合わせを選べ。

- a,Rokitansky's憩室は圧出性憩室である。 b,咽頭食道接合部にできる憩室は牽引性である。
 c,横隔膜上憩室は圧出性憩室である。 d,症状によっては切除を考えるべきである。
 e,胸腔鏡による手術は・・・以後不明

解答：？

a：×気管分岐部憩室のこと。結核性の炎症などによって、気管分岐部のリンパ節が癒痕化し、それに食道が牽引されて憩室が生じる牽引性憩室。

b：×Zenker 憩室のこと。咽頭と食道の境界に生じる圧出性憩室

c：○噴門部の少し上部で内圧が上昇しやすいらしい d：多分○

(43) 食道癌の生物学的特性について誤っているものはどれか。

- a,食道内多発病変が多い。 b,反回神経周囲リンパ節に転移することが多い。
c,壁内転移を来たすことが多い。 d,他臓器重複癌では胃癌が最も多い。
e,上皮内伸展は予後不良の指標である。

1,a 2,b 3,c 4,d 5,e

解答：4 咽頭癌、喉頭癌に多いらしい

(44) 食道癌の非手術的治療に関して正しい組み合わせはどれか。

- a,化学放射線療法では表在癌でも根治は望めない。
b,化学放射線療法の副作用として骨髄抑制が重要である。
c,他臓器浸潤を伴う進行癌に対しては全身化学療法が第一選択である。
d,食道癌に対する化学療法の第一選択は5-FU+CDDP療法である。
e,通過障害の改善を目的とした治療として、食道ステントがある。

1,abc 2,abe 3,acd 4,cde 5,bde

解答正直わかりません

a:× あり得る

b:○? 放射線による穿孔、5-FUだと腎障害、嘔気嘔吐。CDDPだと骨髄抑制、脱毛下痢。

c:○ d:○ FP療法 e:○があまり意味ないらしくバイパス術のほうがよいらしい

(45) 表在型食道癌について正しいものを選び。

- a, 粘膜筋板に及ぶが、リンパ転移がみられないものは早期癌である。
b, 胸部下部食道癌で粘膜下層まで癌が及ぶとき、頸部リンパ節への転移がよく見られる。
c, 癌が粘膜下層にまで達しているとき、化学放射線治療は行わない。
d, 通常手術は、左開胸で行う。 e, 全周性の癌に対しては、EMRは困難である。

1, a b 2, b c 3, c d 4, d e 5, a e

解答5

a:○浸潤が粘膜下層にとどまり、リンパ節転移が証明されないもの b:逆と思われる

c:× d:× 右開胸が基本 e:○ 大きくても2/3周

(46) 胸部食道癌の手術に関して正しい組み合わせはどれか。

- a,胸骨前経路での再建は縫合不全が少なく安心である。
b,再建臓器で胃を用いるときは、右胃大網動脈の血流が最も重要である。
c,再建臓器で胃が用いられるときは胃周囲リンパ節郭清は控えるべきである。
d,再建経路では後縦隔経路が最短である。 e,再建臓器では右側結腸が逆流症状が最も少ない。

1,abc 2,abe 3,acd 4,bde 5,cde

解答? d:○しかわかりません

(47) 胃酸分泌が促進するものはどれか。

- a, ガストリン b, アセチルコリン c, ヒスタミン d, ソマトスタチン e, セクレチン
1, a b c 2, a b e 3, a d e 4, b c d 5, c d e

解答：1 ソマトスタチン、セクレチンは抑制

a, 胃酸は幽門腺の壁細胞より分泌される。

b, ペプシノーゲンは胃底腺の主細胞より分泌される。c, ガストリンは幽門腺のG細胞より分泌される。

d, 内因子は胃底腺の壁細胞より分泌される。e, ヒスタミンは幽門腺のD細胞より分泌される。

1, a b c 2, a b e 3, a d e 4, b c d 5, c d e

解答 4 a: × 幽門腺ではなく胃底腺 b: ○ c: ○ d: ○ e: ?

(49) 消化管運動を亢進するものはどれか。

- a, ガストリン b, セロトニン c, セクレチン d, グルカゴン e, アセチルコリン
1, abc 2, abe 3, ade 4, bcd 5, cde

解答 2

(50) 食道癌について正しいものはどれか。

- a 食道癌は、色素内視鏡検査にてヨード染色で褐色に染まる。
b 癌の進達度が粘膜下層までにとどまるものを早期癌と呼ぶ。
c 表層上皮にとどまる食道癌はEMRの適応とはならない。 d わが国の食道癌の90%が扁平上皮癌である。
e バレット上皮から発生する食道癌は腺癌である。
1, ab 2, ae 3, bc 4, cd 5, de

解答 ; 5

解説 ; a, × 不染帯として描出される。 b, × リンパ節転移のないもの。 c, × 粘膜癌 (m1~m2) で第一選択になることが多い。 d, e, ○ 欧米ではバレット上皮癌が多い。

(51) 食道疾患に関して正しいものを選び。

- a, 食道アカラシアでは下部食道括約筋 (LES) の弛緩不全が見られる。
b, 逆流性食道炎の治療薬としてPPIが用いられる。
c, 食道アカラシアの治療法として内視鏡的噴門拡張術がある。
d, 発赤所見を伴った食道静脈瘤は内視鏡的硬化療法 of 適応ではない。
e, 食道裂孔ヘルニアではLES圧が上昇している。
1, abc 2, abe 3, ade 4, bcd 5, cde

解答 ; 1

(52) 食道癌に関して正しいものはどれか。

- a, 食道扁平上皮癌は放射線療法 of 適応とはならない。
b, 食道癌肉眼型分類において0-I型は表在陥凹型を示す。
c, 食道癌肉眼型分類において、2型は潰瘍限局型を示す。 d, 喫煙は食道癌の発生要因となる。
e, 食道アカラシアには食道癌の発生頻度が高い。
選択肢不明

解説 ; a, 術前照射にも根治術としても行われる。 b, × 表在隆起型。 c, d, ○ e, ○ 約1%に合併する。

(53) 門脈圧亢進症および食道静脈瘤に関して正しいものはどれか。

- a, Budd-Chiari症候群における門脈圧亢進症は肝性性である。
b, 発赤所見を伴う静脈瘤は出血の可能性が高い。
c, 内視鏡検査上、形態を直線状、連珠状、結節状に分類する。
d, 内視鏡検査上、基本色調を白色と赤色に分類する。
e, 内視鏡的食道静脈瘤結紮術 (EVL) は、出血している食道静脈瘤の治療に用いない。
選択肢不明

解説 ; a, 肝後性である。 b, ○ c, ○ d, × 白と青に分類する。青が出血のリスクが高い。 e, × 簡便なので応急処置として行われる。

(54) 胃十二指腸潰瘍について正しい組み合わせを選べ。

- a,U I-IIの潰瘍は組織欠損が固有筋層に達する潰瘍である。
 b,胃角部小彎は胃潰瘍の好発部位である。 c,H.pylori陽性の胃潰瘍は除菌療法の適応となる。
 d,プロトンポンプ阻害剤はH.pyloriの除菌療法時に使われる。 e,十二指腸潰瘍は高齢者に好発する。
 1,abc 2,abe 3,ade 4,bcd 5,cde

解答 ; 4

解説 ; a,×U I-III のこと。 b,○c,○d,○P P I, アモキシシリン、クラリスロマイシンの3剤併用療法を行う。
 e,×若年者に多い。胃潰瘍は高齢者。

(55) 胃潰瘍の治療薬として適当なものはどれか。

- a, プロトンポンプ阻害薬 b, H₂受容体阻害薬 c, NSAID
 d, 副腎皮質ステロイド e, プロスタグランジン製剤
 1, abc 2, abe 3, ade 4, bcd 5, cde

解答 ; 2 解説 ; 他2剤は悪化させる。

(56) 胃十二指腸潰瘍について正しいものはどれか。

- a, 出血性十二指腸潰瘍では新鮮血の血便がみられる。
 b, 出血性胃潰瘍でみられる吐血はコーヒー残渣物である。
 c, 穿孔した潰瘍での腹部単純X線検査では遊離ガス像がある。
 d, 穿孔は十二指腸前壁に多い。 e, NSAIDは胃潰瘍の原因にはならない。
 1, abc 2, abe 3, ade 4, bcd 5, cde

解答 ; 4

解説 ; a,×タール便が多い。 b,○下血の方が症状としては多い。 c,○腹単でも double wall sign など見られることがある。 d,○球部前壁に多い。 e,×

(57) 萎縮性胃炎に関して正しいのはどれか。

- a,A型胃炎は自己免疫的な機序による。 b,B型胃炎は悪性貧血を伴う。
 c,B型胃炎は抗壁細胞抗体陽性である。 d,B型胃炎はH.pyloriに関連する。
 e,腸上皮化成は胃癌の発生源となる。
 1,abc 2,abe 3,ade 4,bcd 5,cde

解答 ; 3

解説 ; A型胃炎...自己免疫性機序で生じる。前底部が正常で、胃底腺部に萎縮を見るもの。悪性貧血が見られる。G細胞が増加し、血中ガストリン値は高値で、後壁細胞抗体の陽性率が高い。
 B型胃炎...自己免疫とは関係ない。前底部に萎縮が見られ、通常の胃炎のことである。G細胞の減少が見られ、抗体陽性率は低い。

(58) 胃炎に関して正しいものを選べ。

- a,腐食性胃炎の晩期合併症には癌がある。 b,胃アニサキス症の原因はイカやさばの生食である。
 c,ストレスは急性胃粘膜病変の誘因になりうる。 d,メネトリエ病では高タンパク血症が見られる。
 e,好酸球性胃炎は胃内視鏡下の生検で、好酸球の浸潤を認めなければ除外できる。
 1,abc 2,abe 3,ade 4,bcd 5,cde

解答 ; 1

解説 ; a,強酸、強アルカリの誤嚥などによるもの。 b,○c,○その他、アルコール、薬剤など d,×特にアルブミンの胃粘膜透過性の亢進が見られ、低蛋白血症となる。 e,×漿膜下層の病変の場合もある。

(59) 胃癌に関して正しいのはどれか？

- a,リンパ節転移のある胃癌は早期癌ではない。
 b,浸潤度が粘膜に留まる胃癌は全て内視鏡的粘膜切除術の適応となる。
 c,低分化型腺癌は内視鏡的粘膜切除術の適応となる。 d,血行性転移は肝転移が最も高い。
 e表在型では隆起型が最も多い。
 1,a 2,b 3,c 4,d 5,e

解答；4

解説；a,粘膜、粘膜下層に限局するものが早期癌。 b,リンパ節転移があると適応がない。
 c,高分化型の方がなりやすい。 e,IIC型（表在陥凹型）が最も多い。

(60) 腎腫瘍について正しいものはどれか。

- a, MALTリンパ腫の治療法にH.pylori除去がある。
 b, 過形成ポリープは良性ポリープで変化することはない。
 c, 胃に限局したカルチノイドの多くはカルチノイド症候群を呈する。
 d, GISTの治療にメチル酸イマチニブが用いられる。 e, 胃腺腫は癌化することはない。
 1, a b c 2, a b e 3, a d e 4, b c d 5, c d e

解答；3？

解説；a,ob,×炎症性変化で生じる。c,×胃に限局している間は症状を示さないことが多く、肝臓に転移するとカルチノイド症候群（顔面、四肢の紅潮、下痢、気管支喘息）を来す。d,oe,o？

(61) 胃癌に関して正しいものを選び。

- a,血行性転移は肝転移が最も多い。 b,左鎖骨上窩リンパ節転移はVirchow転移という。
 c,卵巣への血行性、播種性転移をSchnizler転移という。 d,良性潰瘍の癌化を悪性サイクルという。
 e,リンパ節転移のない胃癌は内視鏡的粘膜切除術の適応になりうる。
 1,abc 2,abe 3,ade 4,bcd 5,cde

解答；2

解説；c,×Krukenberg 転移。Schnizler 転移はダグラス転移。d,×早期胃癌病変巣内の潰瘍性変化が、良性潰瘍と同様に、治癒、再燃、再発を繰り返すこと。

(62) 内視鏡的粘膜切除術の適応となる胃癌はどれか。

- a,径1cmの0-IIc型、高分化型腺癌、深達度：粘膜内
 b,径2cmの0-IIc+III型、高分化型腺癌、深達度：粘膜内
 c,径1cmの0-I型、高分化型腺癌、深達度：粘膜下層
 d,径2cmの0-IIc型低分化腺癌、深達度：粘膜内
 e,径2cmの0-IIa型、高分化型腺癌、深達度：粘膜内
 1,ab 2,ae 3,bc 4,cd 5,de

<解答>2 <解説>EMRの適応は、有茎性Ia型、大きさ2.0cm以下のIIa型、1.0cm以下のIIb型、UI(-)のIIc型

(63) 胃十二指腸疾患について正しいものを選び。

- a,胃ポリープの肉眼的分類、山田分類においてIV型は有茎性ポリープである。
 b,胃原発の悪性リンパ腫はT細胞が多い。
 c,胃GISTは良性であり、手術の適応とならない。
 d,胃MALTリンパ腫の発生にH.pyloriが関係している。
 e,十二指腸悪性腫瘍では、十二指腸乳頭部癌が最も多い。
 1,abc 2,abe 3,ade 4,bcd 5,cde

<解答>3

<解説>(a)○：I、IIが無茎性、III、IVが有茎性。

(b)×：ほとんどがMALTリンパ腫で、non HodgkinのB細胞リンパ腫に属する。

(c)×：GISTの20～30%は悪性。第一選択は外科的切除。(d)○ (e)○：60～70%が乳頭周囲に発生する。

(64) ワルダイユの咽頭輪を構成するリンパ組織として正しい組み合わせを選べ。

- a, 耳管扁桃 b, 喉頭扁桃 c, 咽頭扁桃 d, 口蓋扁桃 e, 舌根扁桃
1, a b c d 2, a c d e 3, a b d e 4, b c d e 5, 全て

<解答>2

<解説>咽頭で輪状に存在するリンパ組織の配列。細菌が気道や消化管に侵入するのを防止する免疫作用。

(65) 口腔、咽頭の解剖について正しい組み合わせはどれか。

- a, 咬筋、側頭筋、内側翼突筋は咀嚼筋である。 b, 舌動脈は内頸動脈の枝である。
c, アデノイドは中咽頭に存在する。 d, 舌の運動は舌下神経に支配されている。
1, a b 2, a d 3, b c 4, b d 5, c d

<解答>2?

<解説>(a)○(b)×：外頸動脈から上甲状腺・舌・後頭・顔面動脈がでる。(c)○?(d)○

(66) 口腔癌について正しい組み合わせはどれか。

- a, 口腔癌で最も部位的に多いのは口腔底癌である。
b, 口腔の不衛生、喫煙歴、飲酒は口腔癌のリスクファクターである。
c, 口腔癌の組織型としては腺癌が多い。
d, 初期の口腔癌は切除や放射線治療で治療可能だが、早期に頸部リンパ節転移をきたすと治療成績が低下する。
1, a b 2, a d 3, b c 4, b d 5, c d

<解答>4

<解説>(a)×：舌癌が一番多い。虫歯、入れ歯(特に金属)、尖った歯、悪い歯並びなどによる慢性刺激が原因。

(b)○ (c)×：多いのは扁平上皮癌 (d)○

(67) 耳下腺腫瘍について、正しい組み合わせはどれか。

- a, 良性腫瘍で最も多いのは多形腺腫である。 b, 耳下腺腫瘍は悪性腫瘍が多い。
c, 耳下腺腫瘍の手術では顔面神経に注意する必要がある。 d, ワルチン腫瘍は代表的な悪性腫瘍である。
1, a b 2, a c 3, b c 4, b d 5, c d

<解答>2

<解説>(a)○ (b)×：多形腺腫など良性が多い (c)○

(d)×：耳下腺に好発する良性腫瘍で、リンパ濾胞が特徴となる

(68) 咽頭部の癌について正しいものを選べ。

- a, 中耳炎が初発症状になることがある。 b, 頭部リンパ節への転移は稀である。
c, EBウイルスが関与していると言われている。 d, 治療の第一選択は手術である。
1, a b 2, a c 3, b c 4, b d 5, c d

<解答>2

<解説>(a)○：上咽頭癌が側方進展すると耳管を閉塞して、滲出性中耳炎を起こすことがある

(b)×：比較的早期からリンパ節転移をする。(c)○

(d)放射線療法(FAR療法)を優先。化学療法を症状に応じて追加。病変消失しないなら手術。

(69) 正しいものの組み合わせを選べ。

- a, クロウン病と潰瘍性大腸炎はCTで容易に鑑別可能である。
 b, 消化管癌の深達度にMRIはきわめて有用である。
 c, 炎症性腸疾患と大腸癌のCTによる鑑別は容易である。 d, 虫垂炎の診断にはCTが有用である。
 1, a 2, ab 3, cd 4, d 5, 全て

<解答> <解説>(a)×:内視鏡(注腸造影も?)で十分。(b)(c)(d)

(70) 正しいものの組み合わせを選べ。

- a,肝鎌状間膜は肝を後上方から支える間膜である。
 b,肝十二指腸間膜には、門脈、総肝動脈、リンパ節が存在する。
 c,肝十二指腸間膜の腹側にWinslow孔が存在する。
 d,網のうと通常の腹膜腔はbare areaを通じて交通している。 e,小網は肝胃間膜と脾腎間膜よりなる。
 1,a 2,ac 3,b 4,bd 5,e

<解答>3? <解説>2003年度概説31参照。

(71) 正しいものを選べ。

- a,胆石イレウスは、空腸の閉塞が多い。 b,腸軸念はS状結腸に多い。
 c,急性腸間膜動脈閉塞では、早期より麻痺性イレウスが起こる。
 d,単純性イレウスでは腸音が減弱する。 e,絞扼性イレウスは保存的治療で経過観察する。
 1,ab 2,bc 3,cd 4,de 5,ae

<解答>2

<解説>(a)×:回盲部の閉塞が多い (b)(c)○ (d)×:必死に蠕動するので腸音は亢進する (e)緊急手術の適応

(72) イレウスの初期治療として適切でないものはどれか。1つ選べ。

- a.絶飲食 b.胃管挿入 c.下剤投与 d.抗生剤投与 e.輸液

<解答>c? <解説>抗生剤は必要か不要かで意見が対立している、らしい。

(73) 絞扼性イレウスについて正しいものを選べ。

- 1,保存的に治療を行う。 2,超音波検査は診断に有用。
 3,腹単で無ガスイレウス像が見られる。 4,腹水が貯留する。 5,下剤を投与する。
 1,abc 2,bcd 3,cde 4,abe 5,ade

<解答>2 <解説>2003年度概説42参照。

(74) 急性虫垂炎について正しいものはどれか。

- a,診断がつき次第手術を行う。 b,腹膜刺激症状がなければ、保存的に経過をみる。
 c,痛みは心窩部に出現し、徐々に右下腹部に局限する。
 d,発熱、腹痛、悪心、嘔吐がみられる。 e,腹部超音波検査より腹部X線単純写真が診断に有用である。
 1,abc 2,bcd 3,cde 4,abe 5,ade

<解答> 2. bcd

(75) 胃潰瘍穿孔の際の処置はどれか。

- a,絶飲食 b,抗生物質投与 c,H2ブロッカー投与 d,補液 e,胃管挿入
 選択肢不明

<解答> abe

(76) 筋性防御を認めるものを選び。

- a,胃潰瘍穿孔 b,急性虫垂炎 c,急性腎盂腎炎 d,過敏性大腸炎 e,急性胆のう炎
1,abc 2,bcd 3,cde 4,abe 5,ade

<解答> 4.ab

(77) 緊急手術の適応疾患を選び。

- a,急性膵炎 b,虚血性腸炎 c,卵巣のう腫捻転 d,絞扼性イレウス e,大腸憩室炎
1,ab 2,bc 3,cd 4,de 5,ae

<解答> 3.cd

(78) 60歳男性。今朝排便時に便に鮮血が付着していたため来院。外来でまずすべきことはどれか。

- a,直腸指診 b,便潜血反応 c,便培養 d,注腸造影 e,大腸内視鏡
1, a 2, b 3, c 4, d 5, e

..<解答> 1. 高齢者で血便を伴う便通異常を認めたら、大腸癌を疑ってまず直腸指診を行い、異常がなくてもすみやかに注腸造影または内視鏡の検査を行う(今日の診療Vol.11) 内視鏡は直腸診の後。鮮血がついていれば血液があることから、便潜血反応は不要。

(79) タール便の原因になるのはどれか。

- a.食道静脈瘤出血 b.マロリーワイス症候群 c.十二指腸潰瘍出血 d.大腸憩室 e.虚血性大腸炎
1,abc 2,bcd 3,cde 4,abe 5,ade

<解答> 1.abc

(80) 正しいものの組み合わせを選び。

- a,クローン病では縦走潰瘍が特徴的である。
b,潰瘍性大腸炎では裂溝(fissuring ulcer)が特徴的である。
c,腸結核では輪状狭窄を伴う円形潰瘍が特徴的である。
d,感染性腸炎では敷石像が特徴的である。
e,虚血性大腸炎では深い下掘れ潰瘍が特徴的である。
1,ab 2,ac 3,cd 4,de 5,be

<解答> 2.ac

(81) 潰瘍性大腸炎の特徴で正しいものはどれか。

- a.通常直腸は正常に保たれる。 b.喫煙は本症の増悪因子である。
c.典型例では縦走潰瘍を認める。 d.硬化性胆管炎を合併することがある。
e.本邦での有病率はクローン病よりも高い。
1, a b 2, a e 3, b c 4, c d 5, d e

<解答> 5.de

(82) クローン病と潰瘍性大腸炎の両者で用いられる治療法はどれか。

- a,5-アミノサリチル酸 b,副腎皮質ステロイド c,白血球除去療法
d,抗TNF- α 抗体 e,成分栄養剤
1,ab 2,ae 3,bc 4,cd 5,de

<解答> 1.ab

(83) 68歳男性、1ヵ月前より黒色便が出現したため受診した。まず最初に行うべき検査は。
 a,上部消化管内視鏡検査 b,末梢血液検査 c,腹部CT検査
 d,血管造影 e,大腸内視鏡検査
 1,ab 2,ae 3,bc 4,cd 5,de

<解答> 1.ab

(84) 上部消化管X線検査、内視鏡検査の際、抗コリン剤投与の禁忌でない疾患はどれか。
 a. 狭心症 b. 前立腺肥大 c. 甲状腺機能低下症 d. 肺気腫 e. 脳腫瘍
 1, abc 2, abe 3, ade 4, bcd 5, cde

<解答> 5.cde

抗コリン剤の禁忌は・・・

1. 緑内障の患者 [抗コリン作用により房水通路が狭くなり眼圧が上昇し、緑内障を悪化させる]
2. 前立腺肥大による排尿障害のある患者
抗コリン作用による膀胱平滑筋の弛緩、膀胱括約筋の緊張り排尿困難を悪化させるおそれがある。
3. 重篤な心疾患のある患者 [抗コリン作用により心拍数が増加し、心臓に過負荷をかけることがあるため、症状を悪化させるおそれがある。]
4. 麻痺性イレウスの患者 [抗コリン作用により消化管運動を抑制し、症状を悪化させる。]

(85) 糞便検査について誤っているものはどれか。
 a,閉塞性黄疸では灰白色の便となる。 b,脂肪滴はスダンIII染色でオレンジ色に染まる。
 c,寄生虫卵の検出には直接塗末法により集卵法が鋭敏である
 d,免疫学的潜血反応は胃癌検診に用いられる
 e,ギョウチュウは肛門周囲にセロテープを貼布して検査する。
 1,a 2,b 3,c 4,d 5,e

<解答> 4.d 主に大腸がんのスクリーニングに用いられる。

(88) 腸結核のX線内視鏡所見として間違っているものはどれか？
 1, 癥痕萎縮帯 2, 偽憩室 3, 輪状潰瘍 4, 拇指圧痕像 5, 炎症性ポリープ
 1,a 2,b 3,c 4,d 5,e

【解答】 4 (これは虚血性大腸炎の特徴的注腸X線所見)

【解説】 腸結核：結核菌による腸管感染症

X線所見：活動期...開放性の輪状・帯状潰瘍、不整形の小潰瘍

治癒期...腸管短縮、輪状狭窄、炎症性ポリープ、潰瘍癥痕 (癥痕萎縮帯、偽憩室、回盲弁の開大)

内視鏡所見：輪状潰瘍

(89) クーロン病の特徴として正しいものはどれか。
 a,本病の有病率は欧米よりも高い。 b,男性よりも女性に多い。
 c,臨床症状として下血が最も多い。 d,好発年齢は40代である。 e,大腸型より小腸・大腸型が多い。
 1,a 2,b 3,c 4,d 5,e

【解答】 5

【解説】 a. × 欧米のほうが多い。日本の有病率は15/10万人 b. × 男：女=2：1

c. × 4主徴は腹痛、下痢、体重減少、発熱。(潰瘍性大腸炎では血便も見られる)

d. × 好発年齢は10-20歳代。 e. ○ 小腸型(40%)、小腸大腸型(40%)、大腸型(20%)

(91) 小腸腫瘍について正しいものはどれか。

- a,悪性リンパ腫は回腸より空腸に好発する。 b,腺腫は十二指腸に好発しやすい。
 c,良性腫瘍は腸重積を契機に見つかることが多い。 d,Brunner腺腫は十二指腸に好発する。
 e,癌は空腸より回腸に好発しやすい。
 1, a b c 2, a b e 3, a d e 4, b c d 5, c d e

【解答】 4

【解説】 a. ×空腸<回腸 b. ○

c. ○?成人腸閉塞の7割は小腸良性腫瘍に起因する。が、多くは無症状。

d. ○ e. × 空腸>回腸

(92) 虚血性腸炎の特徴として正しいものを選び。

- a. 左側結腸に好発する b. 診断には血管造影は不要である。
 c. 治療期に炎症性ポリープを認める。 d. 小腸に発生することはない。 e. 大部分は開腹術の適応となる。
 1, a b 2, a e 3, b c 4, c d 5, d e

【解答】 1

【解説】

a. ○ 上・下腸間膜動脈の支配領域の境目のため、左側結腸が最も虚血に陥りやすい。

b. ○ 血管の閉塞所見を描出可能な症例は極めて少ない。診断のfirst choiceは腹部エコー、腹部CT。

c. × 腸結核で認められる。 d. × 大腸に好発するが、小腸でも発生しうる。

e. × 虚血性腸炎は、基本的に自然軽快する疾患であるため、腸管の安静（絶食、輸液）が大事。壊疽型の場合、外科的切除の適応となる。

(93) 偽膜性大腸炎の治療薬はどれか。

- a,5-アミノサリチル酸 b,プレドニゾロン c,非ステロイド系抗炎症剤 (NSAID)
 d,バンコマイシン e,メトロニダゾール
 1,ab 2,ae 3,bc 4,cd 5,de

【解答】 5

【解説】 偽膜性腸炎の原因菌 *Clostridium difficile* に対する抗生物質がバンコマイシン、メトロニダゾール

(94) 大腸癌について

- a, 本邦における死亡率は胃癌よりも高い。 b, 20%の患者では、遺伝性が見られる。
 c, 女性よりも男性に多い。 d, 内視鏡的治療の適応は粘膜内癌に限られる。
 e, 早期癌には転移はない。
 1, a 2, b 3, c 4, d 5, e

【解答】 3

【解説】 a. × まだ胃癌のほうが高い

b. × 遺伝性非ポリポーシス大腸癌 (HNPPC) は全大腸癌の0.2~4%といわれている。

c. ○ d. 粘膜内~sm1までは内視鏡的切除の適応 e. × そんなことはない。

(95) 大腸ポリープに関する以下の記載のうち正しいものはどれか?

- a, 腺腫の30%が癌化する。 b, 腺管腺腫は絨毛腺腫よりも癌化率が高い。
 c, 若年性ポリープは粘膜筋板の増殖を特徴とする。 d, カルチノイドは右側結腸に好発する。
 e, 過形成ポリープ遠位大腸に後発する。
 1, a 2, b 3, c 4, d 5, e

【解答】 5

【解説】 a. ? 直腸ポリープの20~30%が癌化。 b. × 絨毛状腺腫に担癌率が高い。

c. × 過誤腫性ポリープであり、非腫瘍性ポリープである。粘膜筋板の増生はPeutz-Jeghers症候群。

d. × 直腸に好発。 e. ○ 直腸~S状結腸が好発部位。

(96) 65歳男性。S状結腸の有茎性ポリープに対しポリペクトミーを施行し絶食と輸液で経過観察していた。当日夜10時より腹痛を伴わない新鮮血の下血が見られた。意識清明、血圧は不変で、腹部所見にも異常はなかったが、直腸指診で新鮮血が付着した。行うべき処置はどれか。

a, 末梢血液検査 b, 大腸内視鏡の再検 c, 胸・腹部単純X線撮影

d, 上部消化管内視鏡検査 e, 開腹術

1, a b 2, a e 3, b c 4, c d 5, d e

【解答】 ?

【解説】 bは○

(97) 次の(大腸良性ポリープの?)うち常染色体優性遺伝のものはどれか。2つ選べ。

a, Familial Adenomatous Polyposis b, Turcot syndrome

c, Cronkheit-Canada syndrome d, ? e, Peutz-Jegher syndrome

【解答】 a, e

【解説】他にCowden病も常染色体優性遺伝。

(98) 唾液腺腫瘍で良性腫瘍はどれか。

a, 多形成腺腫 b, warthin腫瘍 c, 粘表皮がん d, 腺様嚢胞がん

1, a 2, b 3, ab 4, abcd 5, 全て

【解答】 3

(99) 慢性胃炎の説明として正しいものはどれか。

a, 自己免疫性胃炎は幽門腺領域の萎縮を特徴とする。b, 自己免疫性胃炎は逆萎縮性胃炎とも呼ばれる。

c, 萎縮性胃炎の原因としてH.pylori感染が注目されるようになってきた。

d, 腸上皮化生は体部腺領域には見られない。

1, ac 2, ad 3, bc 4, bd

【解答】 3 ?

【解説】 cは○、bも○?、aは×：自己免疫性胃炎は胃体部の萎縮。

(100) 次のうち胃癌の説明として正しいものはどれか。

a, 低(未)分化型胃癌は、血行性に肝臓転移を起こしやすい。

b, 低(未)分化型胃癌は、腹膜播種による転移を起こしやすい。

c, 若年者に起こる胃癌は高分化型癌であることが多い。

d, 高分化型胃癌は腸上皮化成で囲まれていることが多い。

1, ac 2, ad 3, bc 4, bd

【解答】 4

【解説】

a. × 低分化型胃癌はリンパ行性転移をしやすい。分化型腺癌は血行性転移が多い。

b. ○ Schnitzler転移という。

c. × 若年者では、女性に多く、低分化型腺癌(スキルス胃癌)が多い。

d. ○ 腸上皮化生や慢性萎縮性胃炎は分化型胃癌の発生母地である。

2003年度概説試験（復元）

1. 次の文章で正しいものはどれか。

- a. テネスマスは遠位大腸の強い炎症によって起こる。 b. 浸透圧性下痢では血便は少ない。
c. 分泌性下痢は絶食により改善しない。 d. 腸管内の水分は大部分大腸で吸収される。
e. 滲出性下痢は食事摂取により軽減する。

1. a, b, c 2. a, b, e 3. a, d, e 4. b, c, d 5. c, d, e

<解答>1

<解説> a.o...虚血性大腸炎で起こる。

b.o...腹腔内に水の停滞をきたして起こる。血便は普通(-)。 c.o...その通り。

d.x...実は水分の80%は小腸で吸収される。 e.x...食事により下痢は増強する。

2. 以下のうち、関連痛はどれか。

- a. Headの知覚過敏帯 b. Boasの点 c. McBuerneyの点 d. 筋性防御 e. 小野寺の点

1. a, b, c 2. a, b, e 3. a, d, e 4. b, c, d 5. c, d, e

<解答>3(もしくは2?)

a.o...胆嚢炎によりTh7-11支配の右季肋部皮膚に起こる知覚過敏。

b.x...Th10-12のすぐ右側にある胆石仙痛点。 c.x...虫垂炎の圧痛点。

d.o...内臓病変に基づく骨格筋の反射性収縮のこと。

e.o...胆嚢炎、胃炎、胃潰瘍によりTh8-9横突起から下肢にかけて放散する痛みがある。

※aとeは正しいと思います。筋性防御が関連痛なのかどうかは自信がありません・・・

3. 以下のうち、便秘を来す疾患はどれか。

- a. WDHA症候群 b. パセドウ病 c. 糖尿病 d. 腸管癒着 e. 過敏性腸症候群

1. a, b, c 2. a, b, e 3. a, d, e 4. b, c, d 5. c, d, e

<解答>5

<解説> a.x...水様性下痢。 b.x...腸運動亢進→下痢 c.d.o e.o...便秘・下痢ともに見られる

4. クロウン病のX線・内視鏡所見として正しいものはどれか。

- a. 敷石状外観 b. 縦走潰瘍 c. 拇指圧痕像 d. 輪状潰瘍 e. 炎症性ポリープ

1. a, b, c 2. a, b, e 3. a, d, e 4. b, c, d 5. c, d, e

<解答>2

<解説> a.o b.o c.x...虚血性大腸炎の所見。 d.x...腸結核の所見。

e.o...潰瘍性大腸炎の所見だが、一部クロウン病にも見られる。

5. クロウン病の治療法として誤ったものはどれか。

- a. 成分栄養療法 b. ステロイド c. 5-ASA製剤
d. 非ステロイド性消炎鎮痛剤 e. 抗TNF-α抗体

1. a 2. b 3. c 4. d 5. e

<解答>4

<解説>5-ASAとはサラゾピリン、ペンタサのこと。

6. 腸結核に関する以下の記載のうち正しいものはどれか。

- a. 非乾酪性肉芽腫を認める。 b. 左側結腸に好発する。 c. 大部分で結核菌培養が陽性となる。
d. 治癒期に偽憩室がみられる。 e. 狭窄は外科治療の適応となる。

1. a, b 2. a, e 3. b, c 4. c, d 5. d, e

<解答>5

<解説> a.×...「非乾酪性」ではなく「乾酪性」。 b.×...回盲部、回腸、結腸に好発。

c.×...例えば糞便の結核菌培養は、結核菌が体内をさまよっている続発性腸結核では陽性となるが、腸管のリンパ節を中心に住み着いている原発性腸結核の場合、多くは陰性となる。 d.o

e.o...内科的治療に抵抗性の場合は外科的切除の適応になる。

7. 潰瘍性大腸炎の特徴につき正しいものはどれか。

- a. 本邦ではクローン病よりも有病率が低い。 b. 男性よりも女性が多い。
c. 本邦における有病率は増加しつつある。 d. 一般人口よりも大腸癌発生率が低い。
e. 60歳以上の高齢者に好発する。

1. a 2. b 3. c 4. d 5. e

<解答>3

<解説>潰瘍性大腸炎の有病率は10万人対53人。(クローン病は15人。)若年成人に好発し、有病率は毎年10%ずつ増加している。

8. 虚血性大腸炎の特徴として正しいものはどれか。

- a. 盲腸・上行結腸に好発する。 b. 治癒期に縦走潰瘍を認める。
c. 狭窄型よりも一過性型が多い。 d. 高齢者に好発する。 e. 再発を繰り返す。

1. a, b, c 2. a, b, e 3. a, d, e 4. b, c, d 5. c, d, e

<解答>4

<解説> a.×...虚血性大腸炎は脾彎曲部や下行・S状結腸に好発する。 b.o

c.o...多くは可逆的で10日以内に寛解する。(つまり一過性) d.o e.×...再発は稀である。

9. 急性大腸炎の原因として頻度の高い薬剤はどれか。

- a. プロトンポンプ阻害剤 b. ペニシリン c. 非ステロイド性消炎鎮痛剤
d. カルシウム拮抗剤 e. ヒスタミン2受容体拮抗剤

1. a, b 2. a, e 3. b, c 4. c, d 5. d, e

<解答>3

10. 早期大腸癌の正しい定義はどれか。

- a. 粘膜内にとどまる癌 b. 腺腫を伴う癌 c. リンパ節転移のない癌
d. 静脈侵襲とリンパ管侵襲のない癌 e. 粘膜下層までにとどまる癌

1. a 2. b 3. c 4. d 5. e

<解答>5

<解説>胃癌の早期癌の定義とほぼ同様である。

11. 家族性大腸腺腫症の大腸外病変はどれか。

- a. 結節性紅斑 b. 口唇の色素沈着 c. 胃底腺ポリープ d. 骨腫瘍 e. デスモイド腫瘍

1. a, b, c 2. a, b, e 3. a, d, e 4. b, c, d 5. c, d, e

<解答>5

<解説>デスモイド腫瘍とは、腹部をはじめ各部の膜および線維組織などのできる、良性悪性中間の腫瘍のことである。

12. 65歳、男性。早期大腸癌に対し、内視鏡的粘膜切除をしたところ、終了2時間後より腹痛が出現した。まず行うべき検査はどれか。

- a. 鎮静剤の投与 b. 胸・腹部単純X線撮影 c. 大腸内視鏡の再検 d. 注腸X線検査 e. 試験開腹

1. a 2. b 3. c 4. d 5. e

<解答>2

<解説>穿孔を疑い、free airの有無をまず確認すべき。再検はその後でもよいでしょう。

13. 正しい記述はどれか

- a. 胃粘液は副細胞、表層上皮細胞より分泌される。
- b. ペプシノーゲンは主細胞より分泌される。
- c. 胃全摘後、長期間を経た患者では悪性貧血を来すことがある。
- d. 胃液分泌量は1日およそ1～2リットルである。

1. a, b, c 2. b, c, d 3. a, c, d 4. a, b, d 5. 全て

<解答>5

14. 正しい記述はどれか

- a. オリゴペプチドは小腸吸収上皮細胞の刷子縁膜のアミノペプチダーゼによりアミノ酸に分解される
- b. 壁細胞よりH⁺が分泌されると、同時にK⁺が細胞内へ流入する。
- c. 頻回の下痢を来すと高K血症を来す。
- d. M cellはパイエル板上皮中に存在する。

1. a, b, c 2. b, c, d 3. a, c, d 4. a, b, d 5. 全て

<解答>4

<解説>頻回の下痢では低K血症になる。

15. 正しい記述はどれか

- a. 腸上皮化生は、内視鏡的検査にて前底部に散在する灰白色調小隆起として観察される。
- b. 吻合部潰瘍の好発部位は吻合縁から1cm肛門側付近である。
- c. アニサキス症に腐食性胃炎を合併することが多い。
- d. 日本では胃潰瘍に比し、十二指腸潰瘍の有病率が高い。

1. a, b 2. b, c 3. c, d 4. a, d 5. 全て

<解答>おそらく1

<解説>a.△...腸上皮化生は胃癌の温床になるといわれているものなので、胃癌の好発部位である前庭部に見られることはあるだろう。「灰白色調小隆起」なのかどうかは分かりません・・・

b.o c.x...「腐食性肺炎」とは薬物や酸アルカリなどの化学物質による(誤嚥性)肺炎のこと。アニサキスとは関係ないでしょう。

d.x...本邦では、胃潰瘍82万人、十二指腸潰瘍22万人(1993年)。

16. 正しい記述はどれか

- a. Mallory-Weiss syndromeは十二指腸球部後部潰瘍、食道潰瘍を来すことがある。
- b. G cellは胃前底部に多く存在する。
- c. 凝血が付着している胃潰瘍は、内視鏡的ステージ分類A1 stageに分類される。
- d. 慢性腎不全では高ガストリン血症を来す。

1. a, b, c 2. b, c, d 3. a, c, d 4. a, b, d 5. 全て

<解答>4(もしくは2?)

<解説>

a.△...朝倉にもそういう記述はないが、食道潰瘍ならあってもよさそう・・・

b.o...幽門前庭部および小腸上部にある。

c.x...「厚い白苔をつけていて周囲粘膜部が浮腫状に膨らみ、再生上皮が全く見られない時期」が stage A1とされる。凝血は関係ないのでは?

d.o...腎不全のためガストリン代謝排泄不良となる。

17. 正しい記述はどれか

- a. 迅速ウレアーゼ検査は、内視鏡的検査を必要とする。
- b. プロトンポンプ阻害剤はH₂受容体拮抗剤に比し、胃酸分泌をより強力に抑制する。
- c. *Helicobacter pylori*除菌療法による十二指腸潰瘍再発率の低下は証明されている。
- d. *Helicobacter pylori*は便中に排出される。

1. a, b, c 2. b, c, d 3. a, c, d 4. a, b, d 5. 全て

<解答> 2

- × a. 迅速ウレアーゼ検査...尿素呼気試験とも呼ばれ、試薬の内服と呼気の採取のみで可能。

18. 正しい記述はどれか

- a. CCKにより胆嚢収縮、Oddi筋弛緩を来す。
 - b. ビタミンB₁₂は回腸末端で吸収される。
- 以下?

<解答> ? a. b. はともに正しい。

21. 正しい記述はどれか。正しい組み合わせを選択せよ。

- a. Dieulafoy 潰瘍は、露出血管を伴う巨大潰瘍のことをいう。
- b. Cajal 細胞は間質細胞である。
- c. 分泌型 IgA は腸管感染防御機構に関与する。
- d. 胃酸も腸管感染防御の一翼を担っている。

1. a, b, c 2. b, c, d 3. a, b, d 4. a, c, d 5. 全て

<解答> 5

- a. Dieulafoy 潰瘍...粘膜下の血管が異所性に上皮を覆ったもので、しばしば大量出血をもたらす。(巨大であるかどうかの記述は確認できませんでした。一応○で。)
- b. カハールの間質細胞は消化管自動運動の歩調取り細胞と言われている。 ○ c. ○ d.

22. 正しい記述はどれか。正しい組み合わせを選択せよ。

- a. Menetrier 病では低蛋白血症を来すことがある。
- b. アニサキス症は内視鏡的治療の適応ではない。
- c. 脳外科手術は急性胃粘膜病変の誘因になりうる。
- d. 胃内異物の発生頻度は乳幼児と高齢者で高い。

1. a, b, c 2. b, c, d 3. a, b, d 4. a, c, d 5. 全て

<解答> 4

- a. Menetrier 病...粘液壁が肥厚して大脳回様の外観を呈し、蛋白漏出性胃腸症を呈する。
- × b. 胃アニサキス症は内視鏡治療の適応。(腸アニサキス症は保存的療法)
- c. AGML の原因には薬剤、アルコール、ストレス、重症疾患、大手術後などがある。 ○ d. 高い。

23. 十二指腸潰瘍について正しい記述はどれか。正しい組み合わせを選択せよ。

- a. 胃潰瘍に比して胃酸分泌量が多い傾向にある。
- b. 球部後壁が好発部位である。
- c. *Helicobacter pylori* 除菌後の再発率は胃潰瘍に比し低い。
- d. 穿孔は胃潰瘍より頻度が高い。

1. a, b, c 2. b, c, d 3. a, b, d 4. a, c, d 5. 全て

<解答> 4

- a. 幽門輪に近い胃潰瘍や十二指腸潰瘍では過酸が多い。(高位潰瘍は胃酸↓) × b. 球部前壁に後発する。
- c. 逆に、十二指腸潰瘍の90~100%にピロリ菌が検出される。(胃潰瘍からは70~80%)
- d. 特に球部前壁潰瘍に多い。胃後壁の潰瘍に多いのは「穿通」(cf. 穿孔・穿通の違い)

24. 食道に関する次の記述のうち正しいのはどれか。

- a. 気管分岐部は、食道の生理的狭窄部ではない。
- b. ヨード染色法による色素内視鏡検査で、正常食道粘膜は褐色に染まる。
- c. ヨード染色法による色素内視鏡検査で、食道癌は不染帯となる。
- d. トルイジンブルー染色法による色素内視鏡検査で、正常食道粘膜は染まらない。
- e. 超音波検査で、正常食道壁は5層に描出され第5層は漿膜を表す。

<解答>b.c.d.

- × a. 食道の生理的狭窄部...食道入口部、気管分岐部（左主気管支交叉部）、食道裂孔部
- b. ヨード（ルゴール）とグリコーゲンが反応して茶褐色に染まる。
- c. 不染色帯として「くっきり」観察できる。(yn A-13) ○ d. トルイジンプルーでは癌領域が染まる。
- × e. 食道は漿膜を持たない（だから浸潤が早い）。ちなみに5層構造は胃の話で、食道は9層構造である。

25. 食道疾患に関する次の記述のうち正しいのはどれか。

- a. Mallory-Weiss 症候群では、悪心、嘔吐後に吐血を見ることが多い。
- b. Rokitansky 憩室は牽引性憩室である。
- c. 逆流性食道炎で全周性の炎症は Los Angeles 分類の Grade A である。
- d. 食道裂孔ヘルニアは逆流性食道炎になることはない。
- e. 逆流性食道炎の治療にプロトンポンプ阻害薬を用いる。

<解答>a.b.e.

- a. 激しい嘔吐後の吐血が一般的。
- b. 圧出性憩室...Zenker 憩室・ope 適応(+) 牽引性憩室...Rokitansky 憩室・ope 適応(-)
- ? c. × d. 逆流性食道炎の多くは食道裂孔ヘルニアを伴う。(高齢者に多い)
- e. ファーストチョイス。他に H2 ブロッカー、中和剤、粘膜保護薬など。

27. 食道癌に関する次の記述のうち正しいのはどれか。

- a. 癌の壁深達度が粘膜下層に留まるものを早期食道癌をという。
- b. バレット食道は食道腺癌の母地となる。 c. 日本において組織学的に扁平上皮癌が多い。
- d. 喫煙、高濃度のアルコール摂取、熱い飲食物の摂取等が食道癌発生の誘引となる。
- e. 癌の深達度が粘膜層に留まるものは内視鏡的粘膜切除の適応となる。

<解答>b.c.d.

- × a. それは「表在癌」。早期癌は癌浸潤が「粘膜層」まででリンパ節転移が「ない」もの。
- b. 加齢、高濃度アルコール、喫煙、高塩食、もリスクファクター
- c. 95%は扁平上皮癌。腺癌は1~3%（「白い巨塔」では腺癌でした。） ○ d. b. で説明済み
- ? e. 粘膜癌ではEMR、PDT（アルゴン・ダイ・レーザーによる焼却）、放射線療法を選択する。リンパ節転移の有無に触れていないので×か？

28. 食道疾患に関する次の記述のうち正しいのはどれか。

- a. 食道静脈瘤に対する治療では EVL が行われる。
- b. 食道静脈瘤で発赤所見は出血の可能性が高い。
- c. EIS は血管内、外に硬化剤を注入する。 d. Vasopressin 静注により門脈圧は亢進する。
- e. Budd-Chiari 症候群では門脈圧は亢進しない。

<解答>a.b.c.

- a. EVL（内視鏡的静脈瘤結紮術）や内視鏡的硬化薬注入療法（EIS）を行なう。
- b. 青色静脈瘤、連珠状静脈瘤（F2）以上、発赤所見（RCS）（+）は破裂の徴候。
- c. 食道静脈瘤内にエタノールアミン、周囲にエトキシスクレロール等の硬化剤を注入。
- × d. バソプレッシンは腹腔内の細動脈を収縮させて、門脈圧を下げる。
- × e. 門脈圧亢進症の原因：肝硬変、特発性門脈圧亢進症、Budd-Chiari 症候群 etc...

29. 胃腫瘍に関する次の記述のうち正しいのはどれか。

- a. 胃 MALT 腫瘍に対する治療の一つに Helicobacter pylori の除菌がある。
- b. 胃原発の悪性リンパ腫では B 細胞性が多い。
- c. 胃肉腫の中で悪性リンパ腫が最も多い。
- d. 胃カルチノイド腫瘍はカルチノイド症候群を呈する。
- e. 胃カルチノイド腫瘍は胃粘膜下層より発生するので、粘膜下腫瘍の形態をとる。

<解答> a.b.c.

- a. MALT リンパ腫は HP と密接に関係している。
- b. T 細胞性は主に縦隔から、B 細胞性は腹部から生じることが多い。
- c. 胃肉腫は胃悪性腫瘍の 2% 前後を占める。悪性リンパ腫 (60%) > 平滑筋肉腫 (30%) × d. カルチノイド症候群... 弁膜性心疾患、気管支喘息様発作、チアノーゼ、腹部けいれん、下痢などからなる症候群で、通常、セロトニンやブラジキニン、ヒスタミン、プロスタグランジン、ポリペプチドホルモンを含む過剰な血管作用性物質を分泌する転移性腸管カルチノイド腫瘍によって引き起こされる。ただし、消化管カルチノイドはカルチノイド症候群に特異な症状を示さないことが多い。
- × e. カルチノイドは粘膜下腫瘍の場合が多いが、ポリープ様となることもある。

30. 胃ポリープに関する次の記述のうち正しいのはどれか。

- a. 過形成ポリープは癌化することが多い。 b. 内視鏡下で発赤調ポリープが観察される。
- c. 山田 IV 型ポリープは有茎性ポリープである。
- d. 胃腺腫は内視鏡で白色調扁平な隆起として観察される。
- e. 胃腺腫は放置するとほとんどが癌化する。

<解答> c.d.e.

- × a. 過形成ポリープの癌化率は 1~2% と低い。
- × b. 過形成性ポリープは発赤、乳頭状。腺腫性ポリープは平滑、灰白色調、扁平。
- c. 山田の分類。 ○ d. 同 b. △ e. 直径 2cm 以上では癌化していることが少なくない。

31. 正しいものを選べ

- a. 肝鎌状間膜は肝を後上方から支える
 - b. 肝十二指腸間膜内には門脈、総肝動脈、リンパ節が存在する
 - c. 肝十二指腸間膜の腹側にはウインスロー孔が存在する
 - d. 網嚢と腹膜腔は bare area を通じて交通する e. 小網は肝胃間膜、脾腎間膜からなる
1. a 2. a, c 3. b 4. b, d 5. e

<解答> 3?

- × a. 前上方から支えている? ○ b. 肝十二指腸間膜... 肝門部と十二指腸を結び、門脈、総肝動脈、固有肝動脈、近位総胆管、総肝管、リンパ節、神経が存在する。
- ? c. ウインスロー孔 (網嚢孔) は網嚢に通じており肝十二指腸間膜自由縁の後方にある。
- ×? d. bare area... 無漿膜野であるが、おそらく網嚢とは無関係。
- × e. 小網は肝胃間膜と肝十二指腸間膜からなる。

32. 正しいものを選べ

- a. 大網は腹膜播種の好発部位である b. 正常の腹膜は CT で指摘が容易である
 - c. 臍ガンは胃結腸間膜を介して横行結腸へ浸潤するのが普通である
 - d. 横行結腸間膜は大湾から下方に伸びる間膜である e. 横行結腸間膜と小腸間膜には連続性はない
1. a 2. b 3. c 4. d 5. e

<解答> 1

- a. 腹膜播種性転移は大網や腸間膜に多い。 × b. おそらく容易ではない。
- × c. ? そもそも臍は後腹膜臓器のはず... ちなみに後腹膜臓器とは腎臓、副腎、十二指腸、尿管、臍臓、aorta
- × d. それは大網。 × e. ある。

33. 正しいものを選べ

- a. 網嚢と通常の腹膜腔には交通はない b. 網嚢は臍臓の背側に位置する
 - c. 臍嚢は胃の背側に位置する d. 臍静脈、傍臍静脈は肝鎌状間膜内を走行する
 - e. 大網は二層の腹膜より構成される
1. a 2. b 3. c 4. d 5. e

〈解答〉 4 ?

- × a. 網嚢孔（ウィンスロー孔）によって交通している。
- × b. 膵臓は後腹膜にあり、網嚢はそれより腹側に位置する。
- ? c. 膵嚢→膵臓? 膵臓は胃の後方、みぞおちから左上腹部、第一、二腰椎あたり。○ d. そのとおり。
- × e. 腸間膜は2枚の腹膜から成る。同様に考えると、大網は4層の腹膜より構成される。

34. 胸部食道に隣接する臓器はどれか

- a. 下行大動脈 b. 気管 c. 上大静脈 d. 横隔神経 e. 心嚢
 1. a, b, c 2. a, b, e 3. a, d, e 4. b, c, d 5. c, d, e

〈解答〉 2

解剖は各自参照してください・・・

35. 特発性食道破裂について正しい組み合わせを選べ

- a. 食道下部1/3に多い b. 胸写で縦隔陰影の拡大、縦隔気腫が観察される
 c. 原則として保存治療 d. 確定診断には食道内視鏡が有用
 e. 確定診断には水溶性造影剤による食道造影が有用である
 1. a, b, c 2. a, b, e 3. a, d, e 4. b, c, d 5. c, d, e

〈解答〉 3

- a) 正しい b) 胸写では縦隔気腫像、胸水が認められる。胸水は破裂の7割以上が左側であることより左側胸水が多い。また、特発性食道破裂例の13～17%に縦隔気腫は認められる。よって縦隔陰影の拡大は伴わない
- c) 治療は、飲食を禁止して食道の安静を保つとともに中心静脈栄養による管理を行なう。胸腔ドレナージによって分泌物の貯留を防ぎ、感染予防のために広域スペクトルの抗生物質を非経口に投与する。ただしこのような保存的治療で閉鎖する可能性は少なく、多くは外科的な閉鎖術が必要となる。(Mallory-Weiss 症候群と違って保存的治療はしない。)
- d) 正しい e) 正しい 疑われる症例に対しては積極的に食道造影を施行。造影剤が漏れ出ているのを確認して確定診断とする。

36. 食道良性腫瘍で最も多いものを選べ

- a. 脂肪腫 b. 平滑筋腫 c. 神経鞘腫 d. 血管腫 e. 線維腺腫
 1. a, b, c 2. a, b, e 3. a, d, e 4. b, c, d 5. c, d, e

〈解答〉 b

食道良性腫瘍で最も多いものは b の平滑筋腫。

37. 食道癌について正しいものを選べ

- a. 胸部上部に好発する b. 50歳代に多い c. 飲酒、喫煙は発癌の risk factor である
 d. 男性に多い e. 特定の国や地域に集積する傾向がある
 1. a, b, c 2. a, b, e 3. a, d, e 4. b, c, d 5. c, d, e

〈解答〉 5

- a) 好発部位は胸部中部で約55%。続いて胸部下部および腹部食道が多く30%。 b) 60歳台に多い
- c) 正しい リスクファクターは、1. 50歳以上の男性 2. 喫煙者と大量飲酒者 3. 頭頸部癌患者 4. Barrett 食道、腐食性食道炎、食道アカラシアなどの食道疾患 d) 正しい 4:1で男性に多い
- e) 正しい 日本では東北から北関東地方、奈良から和歌山地方、南九州から沖縄にかけて多発地域が存在する。アメリカ合衆国では10万人に対し5人の割合で、中華人民共和国北部では10万人に対し130人に発症する。

38. 食道表在癌について正しいものを選び

- a. 早期癌は粘膜下層にとどまる癌でリンパ節転移は問わない b. ルゴール液に対し不染性を示す
 c. 深達度診断に超音波内視鏡が有用である d. ほとんどが扁平上皮癌である
 e. 粘膜下層に留まる癌に対しては内視鏡的切除術適応である
1. a, b, c 2. a, b, e 3. a, d, e 4. b, c, d 5. c, d, e

〈解答〉 4

- a) まず、筋層にまで食い込んだ進行癌と粘膜下層に留まる表在癌の2つに大別。表在癌のうち、転移がないものを早期癌と呼ぶ。 b) 正しい ヨードは扁平上皮細胞中のグリコーゲンと反応、粘膜は茶褐色に染色される。癌の部分は不染体として明らかになる。トルイジンブルーも同様の目的で使われるが、ヨードとは逆に、食道の正常上皮の欠失部分や壊死物質と結合するために異常部分が青く染まることに注意する。臨床ではこの2つを共に用いる二重染色が行なわれている。
- c) 正しい 超音波内視鏡（EUS）によって表在癌の深達度やリンパ節転移の有無を正確に診断できる。
- d) 正しい 食道癌の90%以上が扁平上皮癌 e) 粘膜筋板を超えて粘膜下層まで達するとリンパ節転移を高率に引き起こすため、原則として食道切除術を行なう。

39. 胸部食道癌について正しいものを選び

- a. 胸部中部癌は右開胸でアプローチする b. 胸部中部進行癌は腹腔内リンパ節郭清を行う
 c. 再建臓器には胃を使う d. 再建ルートには胸骨後経術を使う
 e. 再建臓器には結腸がもっとも血流がよく安全である
1. a, b, c 2. a, b, e 3. a, d, e 4. b, c, d 5. c, d, e

〈解答〉 1

- a) 普通中・下部胸部食動癌に対しては右開胸による胸部全摘出術を行なう。
- b) 胸部食道癌でも容易に頸部や腹部のリンパ節に転移する。
- c) 再建には普通胃、次に結腸が用いられる。 d) 近年は後縦隔ルートが普及し始めている。
- e) 胃を用いる術式が最も広く行なわれている。その理由は3点。1) 食道→胃という生理的な食物通過が確保されること、2) 吻合部が1箇所ですむこと 3) 頸部への挙上をもっとも容易であること があげられる。

40. 食道癌の非手術的治療について正しいものを選び

- a. 化学療法、放射線療法では進行癌の根治は不可能である
 b. 放射線療法単独は化学療法合併より予後が良い c. 通過障害改善に食道ステント
 d. 化学療法の第一選択はF P療法（5-FU+CDDP）
 e. 他臓器浸潤の高度進行癌に対しては術前治療が施行される
1. a, b, c 2. a, b, e 3. a, d, e 4. b, c, d 5. c, d, e

〈解答〉 5?

- a) 化学療法としてはシスプラチン(CDDP)とフルオロウラシル(5-FU)が用いられるが効果は満足できるものではない。食道癌の90%以上を占める扁平上皮癌は放射線感受性が高いが、単独での治癒を期待することはできない。 b) 放射線療法と化学療法を併用する。
- c) 正しい。外科的手術適応のない症例ではQOLの改善目的にステント挿入を行なう。
- d) 正しい。 e) 正しい。 予後改善のために術前化学療法や術前放射線療法で腫瘍のダウンスレージングをはかり、切除術を行なうこともある。

41. イレウスの初期治療で明らかに誤っているものはどれか。

- a. 下剤投与 b. 輸液 c. 絶食 d. 経鼻的チューブによる腸内容排除 e. 抗生物質
1. a 2. b 3. c 4. d 5. e

〈解答〉 a

- a) 不要。 b) 脱水が起こっているので必要。 c) 腸管の安静を保つために必要。
 d) 必要な処置。 e) 抗生物質投与が必要とする見解と不要とする見解が対立している。

42. 絞扼性イレウスについて正しいものはどれか。

- a. 下剤を投与する b. 保存的治療を行う c. エコーは診断に有用である。
d. 腹水が貯留する e. 腹部単純撮影で無ガスイレウス像が見られる
3つ。選択肢は5つでしたが組み合わせがわかりません。

〈解答〉

- a) 不要。 b) 絞扼性イレウスは緊急手術を行なう。他のイレウスはまず、保存的に治療する。

43. 急性虫垂炎について正しいものを選び。

- a. 診断がついてから手術を行う b. 保存的に経過を見る c. エコーより腹部単純写真が有用である
d. 痛みが心窩部から右下腹部に移動する e. 悪心・嘔吐がおこる
3つ。選択肢は5つでしたが組み合わせがわかりません。

〈解答〉

- a) 正しい。診断がはっきりしない時は数時間から翌日まで経過をみることもある。
b) 原則的に手術。最近ではカタル性虫垂炎に対しては、禁食と抗生物質投与による保存的治療を行なうようになってきた。 d) 正しい。初期は心窩部に鈍い周期性疼痛（内臓痛）を訴え、その後右下腹部に局限する鋭い持続性疼痛（体性痛）となる。 e) 正しい。前駆症状として一般的な腹痛、悪心、嘔吐を伴う。

44. 27歳、男性。10日前に腹痛を訴えて診察を受け、十二指腸潰瘍と診断されていた。アルコールを大量摂取後、激しい腹痛のため来院した。早急に行うべき検査として正しいものを1つ選べ。

- a. 腹部単純写真 b. MRI c. 血管造影 d. 注腸X線 e. 試験開腹
1. a 2. b 3. c 4. d 5. e

〈解答〉 1

十二指腸潰瘍の方が胃潰瘍よりも穿孔を起こしやすく、その頻度は2倍以上とも言われている。穿孔が疑われる場合、直ちに立位の腹部単純X線撮影を行なう。そして横隔膜下に free air を認めれば、診断は確定する。ただしこの所見が認められる確率は80%なのでこの所見が無いからといって本症を否定することは出来ない。

45. 筋性防御をおこすものとして正しいものはどれか。

- a. 胃潰瘍穿孔 b. 急性腎盂腎炎 c. 急性虫垂炎 d. 過敏性大腸炎 e. ?
3つ。選択肢は5つでしたが組み合わせがわかりません。

〈解答〉

- a) 正しい b) 患側の腰痛およびCVA（第12肋骨と脊椎のつくる三角）の叩打痛を伴うのが特徴
c) 排便で軽快し、食後に発生する腹痛
d) 正しい。心窩部から始まって、右下腹部に局限した痛みを伴う。

46. 緊急手術の適応となるものはどれか。

- a. 急性膵炎 b. 虚血性腸炎 c. 卵巣囊腫茎捻転 d. 絞扼性イレウス e. 大腸憩室炎
1. a, b 2. b, c 3. c, d 4. d, e 5. a, e

〈解答〉 3

卵巣囊腫茎捻転は、卵巣囊腫（腫瘍）が卵巣固有靭帯と骨盤漏斗靭帯を茎として捻転した状態をいう。成熟嚢胞性奇形腫に起こりやすい。腫瘍は変性・壊死を起こし、下腹部激痛と悪心・嘔吐などの腹膜刺激症状を呈する。

絞扼性イレウスは緊急手術の適応。他のイレウスはまず、保存的に治療。初診後、短時間のうちに保存的治療・緊急手術 or 待機的手術が必要かどうかの判断を行なうことが、イレウスの初期治療において重要で、予後を左右する。

47. タール便の原因として正しいものはどれか。

- a. 食道胃静脈瘤出血 b. MW症候群 c. 十二指腸潰瘍出血 d. 大腸憩室炎 e. 虚血性大腸炎
 1. a, b, c 2. b, c, d 3. c, d, e 4. a, b, e 5. a, d, e

〈解答〉 1

上部消化管出血の疾患を選べばよい。ならびにタール便は胃・十二指腸潰瘍によるものももっとも多く、約60%を占める。

48. AGMLの原因となるものはどれか。

- a. 絶食 b. ストレス c. NSAIDの投与 d. Ca拮抗薬の投与 e. 抗コリン剤の投与
 1. a, b 2. b, c 3. c, d 4. d, e 5. a, e

〈解答〉 2

アルコールなどの胃粘膜直接刺激や精神的・身体的ストレスなどが要因となる。他に NSAID は胃粘膜の防御因子であるプロスタグランジンの合成を阻害するので、特に本症を起こしやすい薬剤である。

49. 食道静脈瘤の出血に対する治療として正しいものはどれか。

- a. エタノール注入 b. 高Na-エピネフリン局所注入 c. 硬化療法 d. 結紮療法 e. S-B tube
 1. a, b, c 2. b, c, d 3. c, d, e 4. a, b, e 5. a, d, e

〈解答〉 3

まずバイタルサインのチェックをして、ショック状態か否かを確認する。もしもショック状態であれば直ちにその治療を行なう。それに引き続いて緊急内視鏡を行ない、出血部位を確認。確認できた場合には EVL を第一選択とし、ときに EIS を行なう。これらの手技で止血が困難な場合に S-B tube を用いて止血する。

*) 内視鏡的静脈瘤結紮術 (EVL) とは、軟性ループを使い、内視鏡的に静脈瘤を正常粘膜も含め結紮し、消去する内視鏡的結紮術である。単独では再発・再出血率が高いので硬化療法と併用することが多い。

**) 内視鏡硬化薬注入療法 (EIS) とは、食道静脈瘤内にエタノールアミン、周囲にエトキシスクレロール等の塞栓薬を注入し、引き起こされた炎症と随伴する肉芽形成で再出血予防を図ろうとするもので、緊急的にも実施できる。ただし総ビリルビン 4mg/dl 以上の高度肝障害例では硬化療法は禁忌。

***) 出血時で緊急内視鏡検査が行えない場合、あるいは視野確保が十分とれない場合は Sengstaken-Blakemore tube の経鼻的挿入による静脈破裂部の圧迫止血を行なう。

50. 胃潰瘍出血の治療法として適当でないものはどれか。

- a. 内視鏡的クリップ b. 内視鏡下エタノール注入 c. プロトンポンプ阻害剤投与 d. 輸液 e. NSAID
 1. a 2. b 3. c 4. d 5. e

〈解答〉 5

NSAID は胃粘膜の防御因子であるプロスタグランジンの合成を阻害するので胃潰瘍患者に投与してはならない。

51. 消化管出血の検査として有用なものはどれか。

- a. 超音波 b. 胃内視鏡 c. 血管造影 d. 出血シンチ e. CT
 1. a, b, c 2. a, b, e 3. a, d, e 4. b, c, d 5. c, d, e

〈解答〉 2

52. 上部消化管出血によりショックをきたした症例に対する適切な治療法はどれか。

- a. 昇圧剤投与 b. H₂ブロッカーの投与 c. 輸血 d. 消炎鎮痛剤の投与 e. セミファーラー体位
 1. a, b, c 2. a, b, e 3. a, d, e 4. b, c, d 5. c, d, e

解答) 4?

×? a. 昇圧剤の投与は適宜行いますが、なによりも輸液による昇圧が先決です。

○ b. 潰瘍からの出血の場合は投与します。直接ショックに有効なわけじゃないけど。

○ c. 輸液からスタートし、重症なら輸血に切り替えます。 ○ d. 不穏不安に対して鎮痛薬を注射することがあります。 × e. 吐血した患者は頭に行く血流の確保のために頭部を低く、下肢を高くします。セミファーラー体位とは、上体を25～30度挙上した体位のことです。不適です。

53. 胃癌を示す粘膜ひだの所見として正しいのはどれか。

- a. ひだの途絶 b. ひだの急峻な先細り c. ひだ先端の太まり d. ひだの癒合（融合）
 1. a, c, d 2. a, b 3. b, c 4. dのみ 5. 全て

解答) 5 良性潰瘍ではひだの漸減消失や境界不明瞭が目立ちます。

54. 注腸造影検査について正しいのはどれか。

- a. バリウムを経肛門的に注入する。 b. 空気を経肛門的に注入する。
 c. いわゆるapple core signは全周性の2型進行大腸癌の所見である。
 d. 拇指圧痕像は大腸ポリープの所見である。 e. 鉛管像は虚血性大腸炎の所見である。

解答) a, b

○ a. 造影するには造影剤が必要だと思います。 ○ b. 二重造影のための空気を入れるのも経肛門的です。

× d. 虚血性大腸炎の所見です。数日で消失するとか。 × e. 潰瘍性大腸炎の所見です。

55. 次のうち唾液腺腫瘍の説明として正しいものはどれか。

- a. 腺房細胞癌(acinic cell carcinoma)、粘表皮癌(mucoepidermoid carcinoma)は高悪性度の癌である。
 b. 多形性腺腫(pleomorphic adenoma)は奇形種に分類される。
 c. ワルチン腫瘍(Warthin tumor)はリンパ組織からなる間質とオンコサイト様細胞質を持つ腫瘍細胞からなる。
 d. 腺様嚢胞腫(adenoid cystic carcinoma)は上皮細胞と筋上皮細胞からなる混合腫瘍だ。
 1. aのみ 2. a, b 3. cのみ 4. c, d 5. b, d

解答) 4

× a. 腺房細胞癌と粘表皮癌は悪性度が低く、腺腫と癌腫の間と考えられてきましたが、近年癌腫の分類に入れられました。

× b. 調べた限りではそういう記述は得られませんでした。混合腫瘍ではあります。

○ c. ワルチン腫瘍は腫瘍細胞が好酸性、最顆粒状の細胞質をもち、間質はリンパ組織に飛んでいます。”オンコサイト様”ってどういうことか知りませんが、好酸性顆粒状細胞質をもつ大型細胞がoncocytoma(膨大細胞腫)の特徴なので、多分よいのでは?

○ d. 腺様のう胞”癌”のことだと思われまます。これは癌なので上皮細胞の腫瘍化があり、さらに筋上皮細胞に似た細胞の増殖が見られるということなので、多分・・・かな。

56. 次のうち慢性胃炎の説明として正しいものはどれか。

- a. 自己免疫性胃炎は幽門腺領域の萎縮を特徴とする。
 b. 自己免疫性胃炎は逆萎縮性胃炎とも呼ばれる。
 c. 萎縮性胃炎の原因にはHelicobacter pylori感染が注目されるようになった。
 d. 腸上皮化生は幽門腺領域だけに見られ、体部腺領域には現れることはない。
 1. a, b 2. b, c 3. c, d 4. a, c 5. b, d

解答) 2

- × a. 壁細胞に対する抗体であり、幽門側に限局しているわけではありません。
- b. 萎縮型胃炎にはピロリ菌感染によるものと、自己免疫性のものが含まれ、自己免疫性胃炎(AIG)では体部からの萎縮が目立つことから逆萎縮性胃炎(ピロリだと幽門側から)と呼ばれることがあります。
- c. その通り。ピロリに対する自己防衛手段として腸上皮化生が起こっているという説。
- × d. そんなことはない。だんだん幽門部から体部へと広がっていき、低酸症となります。

57. 次のうち胃癌の病理の説明として正しいものはどれか。

- a. 分化型胃癌は血行性に肝臓転移を起こしやすい。
 - b. 分化型胃癌は腹膜播種による転移を起こしやすい。
 - c. 若年者に起こる胃癌は低分化型癌であることが多い。
 - d. 低分化型胃癌は腸上皮化生で囲まれることが多い。
1. a, c 2. b, d 3. a, d 4. b, c 5. c, d

解答) 1

- a. 胃における腸上皮化生から発生し、高齢者や男性に多いようです。
- × b. 未分化型で腹膜播種やリンパ行性転移がみられやすいのです。
- c. 未分化型は若年者に多く見られ、低分化型、印環細胞癌(クルケンベルグ転移しやすい)などが含まれます。
- × d. 高分化型胃癌は腸上皮化生から派生することが多いとされています。

58. 潰瘍性大腸炎の組織像として特徴的なものを選び。

- a. 全層性炎症 b. 肉芽腫 c. 陰窩膿瘍 d. basal plasmacytosis e. 核内封入体
1. a, b 2. a, c 3. c, d 4. d, e 5. b, e

解答) 3

- × a. UCは粘膜層のみの炎症。全層性はクローン病で見られます。× b. 基本的に肉芽形成しません。
- c. 陰窩(crypt)内に好中球が出現して、膿瘍(abscess)形成します。
- d. 炎症性腸疾患(IBD)全体の指標として用いられます。× e. 聞いたことないけど…。どうですか?

59. 以下の腸炎についての記述で正しいものの組み合わせを選び。

- a. エルシニア腸炎では、膿瘍を伴う類上皮細胞肉芽腫が特徴的である。
 - b. 腸結核では乾酪壊死を伴う膿瘍を伴う類上皮細胞肉芽腫が特徴的である。
 - c. アメーバ腸炎では融解壊死が特徴的である。
 - d. 虚血性大腸炎では粘膜の立ち枯れ壊死が特徴的である。
 - e. サイトメガロウイルスによる腸炎は核内封入体が特徴的である。
1. a, b, c 2. b, c, d 3. d, e 4. 全て正しい 5. 全て誤り

- a. エルシニア腸炎は偽結核型肉芽腫(中心から abscess, epithelioid cell & Langhans 巨細胞、リンパ球)を形成します。
- b. 乾酪壊死を伴う類上皮細胞肉芽腫。 ○ c. アメーバ赤痢の特徴とされています。
- × d. 立ち枯れ壊死(!?) はアポトーシスのこと。
- e. サイトメガロウイルスは核内封入体をもつ巨細胞をつくるのが有名ですが・・・。

60. 以下の腸炎についての記述で正しいものの組み合わせを選び。

- a. 放射性腸炎では血管内皮細胞下の泡沫細胞出現が特徴的組織所見である。
 - b. 偽膜性腸炎の原因はClostridium difficileの毒素による。
 - c. 病原性大腸菌O-157感染による腸炎の組織像は虚血性腸炎と類似している。
 - d. 腸チフスでは類上皮細胞肉芽腫がしばしば出現する。
 - e. 抗癌剤性腸炎では奇異な核を有する異型細胞が出現する。
1. a, b, c 2. b, c, d 3. d, e 4. 全て正しい 5. 全て誤り

解答) ? (b, dが○なので2か4なのでしょうが。

? a. 泡沫細胞が出現するという記述は見つきましたが場所までは特定できず。

○ b. 抗生物質が菌交代現象を惹起した結果。 ○? c. 選択肢から○? よくわかりません。

○ d. 細胞結節を形成する。 ? e. よくわかりません。

6 1. 間違っているものを一つ選べ。

a. 口腔、咽頭の悪性腫瘍では高率に消化器、呼吸器に重複癌が認められる。

b. う歯、喫煙歴、飲酒歴は口腔癌のリスクファクターである。

c. 口腔癌で最も部位的に多いのは口腔底癌である。 d. 口腔癌の組織型としては扁平上皮癌が多い。

e. 初期の口腔癌は切除や放射線治療で治療可能であるが、比較的早期におとがい下、顎下部、頸部に転移をきたすと治療成績が低下する。

1. a 2. b 3. c 4. d 5. e

解答) 3

○ a. 多重癌 (4%~15%、消化管、肺)。 × c. 口腔癌で最も部位的に多いのは舌癌です。

○ e. 早期にオトガイ下、顎下、内頸リンパ節に頸部転移を来します。

6 2. 間違っているものを一つ選べ。

a. 口蓋扁桃に原発する癌は口腔癌に分類される。 b. 中咽頭癌の組織は分化度が高い扁平上皮癌が多い。

c. 中咽頭癌の原発巣の治療には手術と放射線療法がある。

d. 中咽頭癌の切除に伴う組織欠損は前腕皮弁や大胸筋皮弁によって形成される。

e. 頸部リンパ節転移に対しては頸部郭清術が行われる。

1. a 2. b 3. c 4. d 5. e

解答) 1 (2002年概説 70 参照) 耳鼻科

腔は前弓までで、それより後ろにある口蓋扁桃は中咽頭に分類されます。

6 3. 間違っているものを一つ選べ。

a. 下咽頭癌や喉頭癌で声帯が固定している場合、TNM 分類では T2 となる。

b. 進行した下咽頭癌症例で放射線療法や化学療法のみで完治が困難な場合は咽頭、喉頭、頸部食道の合併切除が行われる。

c. 下咽頭癌は頸部リンパ節転移しやすい。

d. 下咽頭癌の頸部リンパ節転移に対しては頸部郭清術が行われる。

e. 下咽頭癌で切除された咽頭、頸部食道再建には遊離空腸移植が行われることが多い。

1. a 2. b 3. c 4. d 5. e

解答) 1 声帯固定は T3、これはぜひ覚えてください。

6 4. 小腸出血と小腸穿孔につき正しいものの組み合わせはどれか。

a. 小腸出血は大腸出血より頻度が高い。

b. 小腸出血は少量であれば血管造影より出血シンチのほうが診断に適している。

c. 小腸穿孔は外傷性が非外傷性より少ない。 d. 穿孔時の腹腔内遊離ガス像の出現は回腸では少ない。

1. a, b, c 2. a, b 3. b, d 4. cのみ 5. 全て

解答) 3 × a. 全消化管出血の2~5%と少なめ。

○ b. 大量にでていれば造影でもわかるけど、0.1ml/minならテクネシウムのシンチを。

× c. 外傷性が60%です。 ○ d. その通り。空腸では多いようです。

65. 腸瘻につき正しいものの組み合わせはどれか。

- a. 消化管手術後の縫合不全により発生するのは管状瘻が多い。
 b. 小腸が膀胱と瘻孔を形成したものは内腸瘻である。 c. 腸瘻の治療ではまず水分電解質の補正を行う。
 d. クロウン病、腸結核、放線菌症では瘻孔をきたす。
1. a, b, c 2. a, c 3. b, d 4. dのみ 5. 全て

解答) 5

- a. 外腸瘻の間接瘻が多い。 ○ b. 腸管と他の部位の臓器(腸管も含む)との間の瘻孔形成をさします。
 ○ c. 大事なことでございます。 ○ d. ほかに癌、イレウスなど。

66. 腸間膜血管閉塞症と短腸症候群に関して正しいものはどれか。

- a. 腸管壊死は腸管の ischemic injury のみによって発生する。
 b. 上腸間膜動脈閉塞症の起始部での閉塞は塞栓によることが多い。
 c. 短腸症候群は小腸の長さが 100cm 以下、消化吸収障害により代謝障害が起こるものをいう。
 d. 経腸栄養で体重減少 10%以上が 3ヶ月続くと、小腸機能障害の認定が得られる。
1. a, b, c 2. a, b 3. b, d 4. c, d 5. 全て

解答) 4

- × a. ischemic injury + reperfusion injury(superoxide による)らしいですよ。
 × b. 塞栓は中結腸動脈分岐部とその末梢側に、血栓症は中枢側に(こちらの方が広範囲)。
 ○ c. 短いだけではありません。回腸が残っていれば機能が保たれることもある。
 ○ d. そういうふうに決められているのです。

67. 小腸腫瘍に関して正しい組み合わせはどれか。

- a. 小腸には良性腫瘍より悪性腫瘍が多い。 b. 悪性リンパ腫の予後は腺癌、カルチノイドより良い。
 c. 腫瘍は小腸の中部に発生することが多い。
 d. 転移性小腸腫瘍は肺癌や乳癌などの腹腔以外からの転移がある。
1. a, b, c 2. a, b 3. b, d 4. cのみ 5. 全て

解答) ? (dのみという選択肢が4番だったのかな?)

- × a. 消化管全体に占める小腸の悪性腫瘍の割合は 1%以下。良性が 60%(ミヴプリより)。
 × b. 5生率 カルチノイド 50%, 腺癌 19%, 悪性リンパ腫 26%らしいです。
 × c. 悪性リンパ腫、カルチノイドは回腸、癌は Vater 乳頭部、平滑筋腫は空腸や回腸に好発します。”中部”
 って言われても困るけど、空腸口側や回腸肛門側に好発するらしい。
 ○ d. ありえます。他にメラノーマ、腎細胞癌などからの転移も。

68. 大腸の解剖に関して正しいものはどれか。

- a. 結腸には 3本の taenia があり、縦走筋が taenia を形成する。
 b. 中直腸動脈は内直腸動脈から分岐している。 c. 下方向リンパ節とは鼠径部へのリンパ流をいう。
 d. 上直腸弁が腹膜翻転部で、この部より肛門側が Rb の領域となる。
1. a, b, c 2. a, c 3. c, d 4. dのみ 5. 全て

解答) 1

- a. 結腸ひもは筋層の外縦層の平滑筋が 3ヶ所によく発達したものです。
 ○ b. 中・下直腸動脈は内腸骨動脈から、上直腸動脈は下腸間膜動脈から分岐します。
 ○ c. そうだと思いますけど。
 × d. 腹膜翻転部は直腸内では Kohlrausch 皺襞(中直腸弁)に相当し、それより下が下部直腸(Rb)です。

69. 大腸の生理に関して正しいものはどれか。

- a. 下腹神経を損傷すると排尿障害が起こる。 b. 大腸では右側結腸より左側結腸で水分を吸収する。
 c. 大腸では炭水化物や蛋白質は嫌気性菌によりブドウ糖やアミノ酸に変化して、吸収される。
 d. 大腸では逆蠕動波が発生するので便として出されるのは24から48時間後である。
 1. a, b, c 2. a, c 3. b, d 4. dのみ 5. 全て

<解答> 2

- oa) その通り。 xb) 主に右側結腸で水分を吸収する。 oc) その通り。
 xd) 逆蠕動によりこねくり回されて、30分～2時間で排泄される。

70. 便秘と下痢に関して正しいものはどれか。

- a. 大腸では食事摂取と大腸蠕動には関連がない。 b. 便を保持しているのは内肛門括約筋の力による。
 c. 感染性下痢ではまず抗生物質と止痢剤を投与して、下痢を止める。
 d. Ogilvie syndrome では右側結腸拡張により、減圧が生じる。
 1. a, b, c 2. a, c 3. b, d 4. dのみ 5. 全て

<解答> 1

- oa) 食事がきっかけで、胃・結腸反射により蠕動が起きる。
 ob) 不随意的な内肛門括約筋の働きが大きい。
 oc) ほかに脱水防止のための水分・電解質の輸液も大事。
 xd) 手術・外傷などの合併症による急性偽性腸閉塞症候群。右側結腸拡張と左側結腸閉塞が特徴的。もちろん圧が上昇する。

71. 直腸脱について正しいものをえらべ。

- a. 直腸脱は同心円状に広がる。 b. 直腸脱は直腸壁が薄くなっているのが原因である。
 c. 直腸脱には便秘・便失禁の合併が多い。
 d. 手術は経腹的のほうが会陰側からのアプローチよりも再発率は低い。
 1. a, b, c 2. a, c 3. b, d 4. dのみ 5. 全て

<解答> 5

- oa) 同心円状なのが特徴的。 ob) 直腸および肛門支持組織の脆弱性が原因。
 oc) 肛門括約筋の筋力低下による。
 od) 会陰側からのアプローチでは、侵襲性が低い、再発率が高い。

72. 大腸の損傷について正しいものを選び。

- a. 外傷により出血が疑われるときにはperitoneal lavageを行い出血を確認する。
 b. 大腸損傷と合併するのは腎臓の損傷である。 c. 大腸の損傷は小腸損傷より死亡率高い。
 d. 大腸損傷は近年プライマリ・ケアの率が低下している。
 1. a, b, c 2. a, c 3. b, d 4. dのみ 5. 全て

解答> 1

- oa) 腹腔内穿刺 peritoneal lavage を行う。 ob) その通り。
 oc) 感染などの影響で死亡率が高い。 xd) そのような報告はない。

73. 炎症性腸疾患について正しいものを選び。

- a. 腸結核では活性病変には抗結核療法を行い、狭窄が発生してから手術を行う。
 b. 腸のベーチェット病は深掘れ潰瘍が形成され穿孔・保存的治療無効例では狭窄形成術を行う。
 c. 虚血性腸炎は一過性のものが多く手術することは少ない。
 d. 閉塞性大腸炎は大腸癌の部が穿孔を起こすものを言う。
 1. a, b, c 2. a, c 3. b, d 4. dのみ 5. 全て

<解答> 1

- oa) まずは抗結核療法を行い、難治例に対して手術を行う。 ob) 難治性易穿孔性潰瘍が特徴的。
 oc) 再発はまれなのが特徴的。多くは内科的治療で十分。 xd) 明らかに違う。

74. 子宮内膜症・粘膜脱症候群について正しいものを選び。

- a. 子宮内膜症は腸管に発生するときにはS状結腸がおおい。
 b. 子宮内膜症の症状として排卵期の疼痛がある。
 c. 子宮内膜症には性腺刺激ホルモン抑制剤を用いる。
 d. 粘膜脱症候群努責の習慣がある場合潰瘍のみができる。

1. a, b, c 2. a, c 3. b, d 4. dのみ 5. 全て

<解答> 4

- xa) 直腸に多いと言われている。 xb) 月経時疼痛が特徴的。
 xc) GnRH agonist やゲスターゲン（プロゲステロン）を用いる。 od) 潰瘍でなく隆起性病変ができる。

75. 大腸癌について正しいものを選び。

- a. 粘膜下層にまで浸潤したものはDukes Bに属する。 b. 直腸下の癌は進行すると残便感が強くなる。
 c. 側方リンパ節転移陽性例はRsへの進行がんになる。
 d. 大腸癌では下層への癌には15%程度のリンパ節転移があるので浸潤の多い時にはリンパ節郭清が必要である。

1. a, b, c 2. a, c 3. b, d 4. dのみ 5. 全て

<解答> 3

- xa) 腸壁を貫くが、リンパ節転移(-)なのが Dukes B。 ob) 左側結腸～肛門側の大腸癌は症状が強い。
 xc) Rb のリンパ流は、大部分が内腸骨・総腸骨リンパ節に至るため側方リンパ流と呼ばれる。(STEP 外科 P.107 参照)
 od) その通り。

76. ストーマに関して正しいものはどれか。

- a. ストーマは作製すれば全て直腸機能障害の認定を受けられる。
 b. ストーマはskin levelより突出させて作製する必要はない。
 c. 洗腸排便法は 24 時間排便をしなくてよいので若い患者によりケアの方法である。
 d. ストーマの大きさは変化するので装具の穴の大きさは変える必要がある。

1. a, b, c 2. a, c 3. b, d 4. dのみ 5. 全て

<解答> 2

- oa) その通り。 xb) 普通、皮膚より 1cm ほど突出させる。術後の処置が容易。
 oc) ストーマには自然排便法と洗腸排便法がある。後者は、ストーマから腸内に湯を入れ、浣腸の要領で強制的に排便させる。1日・2日は排便は不必要になる。
 xd) 大きさを変える必要はない。

77. 痔裂について。

- a. 痔裂は肛門腺への感染によりおこる。 b. 肛門管は扁平上皮なので扁平上皮がんが多い。
 c. 毛巣洞は先天性のものなので切除により治癒する。
 d. 肛門搔痒症は肛門を不潔にしていると発生するので石鹸をしっかり使用して常に清潔にするよう指導する必要がある。

1. a, b, c 2. a, c 3. b, d 4. dのみ 5. 全て

<解答> 3

- xa) 硬い便の排泄を繰り返すことによる。 ob) その通り。
 xc) 先天性ではない。毛深い人などに出来ると言われている。 od) その通り。

78. 大腿ヘルニアについて正しい記載はどれか。

- a. 中年男性に多い。 b. 片側性に発生しやすい。 c. 大腿動脈の外側に脱出する。
d. 嵌頓しやすい。 e. 修復はMcVay法による。

<解答>

- ×a) 中年女性、特に経産婦に多い。 ob) 80%が片側性である。 ×c) 大腿動脈の内側に脱出する
od) 特徴的。 oe) McVay 法や鼠径法がある。

79. 腹壁癒痕ヘルニアについて正しいものを選び。

- a. これは先天性の疾患である。 b. 触診によりヘルニア門の触知が可能である。
c. 嵌頓しやすい。 d. 90%以上は感染が原因である。
e. 再発防止には腹膜と皮膚を十分に縫合する必要がある。

<解答>

- ×a) 手術創感染から生じる。腹壁ヘルニア中最多。 ×b) 触知できない。
×c) 嵌頓はまれ。 od) 前述。 oe) その通り。

80. 癌性腹膜炎について正しいものを選び。

- a. 胃の低分化腺癌が原発となることは少ない。 b. 直腸視診は有用な検査法である。
c. 血清腹水を呈する。 d. 腹水細胞診は確定診断になりうる。
e. 腹水細胞診は利尿剤によく反応する。

<解答>

- ×a) 胃・腸・卵巣癌に好発する。 ×b) そんなことはない。 oc) 血性もしくは浸出性腹水が特徴的。
od) 腹水の腫瘍マーカーおよび細胞診にて診断する。 ×e) 利尿剤で腹水は減少する。

81. 腸間膜を持つものはどれか。

- a. 上行結腸 b. 下行結腸 c. 横行結腸 d. S状結腸 e. 下部直腸
1. a, b 2. a, e 3. b, c 4. c, d 5. d, e

<解答> 4 横行結腸とS状結腸だけが腸間膜をもつ。

82. 腹水の診断で正しいものはどれか。

- a. 波動の触知 b. 臍の陥凹所見 c. 濁音界の体位変換現象 d. 叩打痛 e. グル音の亢進
1. a, b 2. a, e 3. b, c 4. c, d 5. d, e

<解答> ? oa) ×b) oc) ×d) ×e)

83. 胃に関する解剖について正しいものを選び。

- a. 右胃大網動脈は胃十二指腸動脈から分岐することが多い。
b. 胃幽門側胃切除を行うとき、左胃動脈は切離する。
c. 胃の神経支配は副交感神経である腹腔神経節からと交感神経である迷走神経からなる。
d. 胃後壁の約半分は後腹膜に固定されていることが多い。
e. 噴門側リンパ節 (No1, 2) に明らかに転移が認められても、胃全摘する必要はない。
1. a, b 2. a, e 3. b, c 4. c, d 5. d, e

<解答> 1

- oa) その通り。 ob) 胃幽門側胃切除術では、左右の胃動脈と胃大網動脈を結紮・切離する。
×c) 交感神経である腹腔神経節と副交感神経である迷走神経によって支配されている。
×d) 後腹膜に固定されていない。 ×e) U癌と safety margin を確保できないM・L癌は全摘が必要。

84. 幽門側胃切除術で結紮切離するのはどれか。

- a. 右胃動脈 b. 上臍十二指腸動脈 c. 胃十二指腸動脈 d. 短胃動脈 e. 右胃大網動脈
 1. a, b 2. a, e 3. b, c 4. c, d 5. d, e

<解答> 2 前述の通り、胃幽門側胃切除術では、左右の胃動脈と胃大網動脈を結紮・切離する。

85. 55歳の男性。2年前に胃前庭部早期胃癌のため、幽門側胃切除を受けた。最近3ヶ月ほど、午後になると全身倦怠感と疲労感が強くなり、会社でも食後2時間ぐらいいして横になって休むようになった。時々下痢をする。体重も減少気味である。この病態について正しいのはどれか。

- a. 食後に高血糖になる。 b. 低張性脱水を起こす。
 c. 運動療法により症状は改善する。 d. インスリンの反応性過分泌がある。
 e. 間食をすると症状は改善する。

1. a, b, c 2. a, b, e 3. a, d, e 4. b, c, d 5. c, d, e

<解答> 3

食後2・3時間で生じる後期ダンピング症候群の症例。食後一過性高血糖→→インスリン過剰分泌→→低血糖症状の病態生理。間食で症状が改善するのが特徴的。

86. 胃癌に対する胃全摘術について正しいものを選び。

- a. Billroth I法による再建が一般的である。 b. 開胸操作を行うことはない。
 c. 胃全摘における脾摘の意義は郭清である。 d. 術後合併症に逆流性食道炎がある。
 e. 術後長期間を経ても貧血に注意する。

1. a, b, c 2. a, b, e 3. a, d, e 4. b, c, d 5. c, d, e

解答) Billroth I法は残胃と十二指腸を端々吻合するので、胃全摘術では行えない。dについては噴門部が失われるので正しい。eについては胃の壁細胞から分泌される内因子が失われるのでビタミンB12欠乏による巨赤芽球性貧血を5年以上のちに引き起こすことがあり正しいよって5番が正解

87. 胃全摘出術後5日目に体温が38.0度に上昇した。考えられる合併症として正しいものはどれか。

- a. 創部皮下腫瘍 b. 縫合不全 c. 急性肺炎 d. 急性胆嚢炎

1. a, b 2. b, c 3. a, c, d 4. dのみ 5. 全て

解答) bは術後合併症として代表的。あと急性胆のう炎もリンパ節郭清による胆嚢周囲の神経や血管の損傷、術後の腸管麻痺による胆汁うったいにより起こるかのうせいあり、これを満たすのは5しかないので正解は5

88. 上部消化管造影で胃癌を示唆する所見はどれか？

- a. 粘液皺壁のこん棒状変化 b. 粘液皺壁の癒合 c. bridging fold
 d. 瀑状胃 e. 島状結節性隆起

1. a, b, c 2. a, b, e 3. a, d, e 4. b, c, d 5. c, d, e

解答) a,b,eは胃がんの代表的な所見よって、2番が正解。

89. 胃癌の転移について正しいものを選び。

- a. 右鎖骨上リンパ節への転移も Virchow の転移という。
 b. リンパ節転移は粘膜内癌でもみられる。 c. 肝転移は高分化腺癌に多い。
 d. 胃癌手術後再発で最も多いのは後腹膜播種性転移である。
 e. Krukenberg tumor は閉経後婦人に多い。

1. a, b, c 2. a, b, e 3. a, d, e 4. b, c, d 5. c, d, e

解答) aについては左鎖骨下リンパ節への転移をいう。よって4か5になるが、粘膜内癌でもリンパ節転移の可能性はあるので、正解は4。

90. 次のうちで正しいものの組み合わせはどれか？

- a. 固形癌では手術時すでに微小転移が存在している可能性がある。
 b. 原発巣切除により転移巣が増大することがある。c. 術中操作により腫瘍細胞散布の可能性はない。
 d. 癌の手術では治癒切除であれば、再発は認められない。
1. a, b 2. b, c 3. a, c, d 4. dのみ 5. 全て

解答) cは明らかに違う。これは1が正解。

91. 以下の記述で正しいものの組み合わせを選べ。

- a. 腫瘍マーカーの変動は化学療法の効果の目安とはならない。
 b. 腫瘍マーカーの上昇しない進行癌はない。
 c. 早期癌のほとんどで腫瘍マーカーの上昇を認める。
 d. 大腸癌の肝転移ではCEAの上昇を認めることが多い。
1. a, b, c 2. a, d 3. b, d 4. dのみ 5. 全て

解答) aは明らかにだめ。よって3か4だが、進行がんすべてが腫瘍マーカーの上昇をきたすとは考えにくいよって正解は4。

92. 49歳の女性。胃部不快感と体重減少とを主訴として来院。上部消化管透視にてスキルス胃癌と診断された。この疾患について正しいのはどれか。

- a. 高齢層に好発する b. 内視鏡検査により早期発見しやすい。 c. 間質成分の増殖が顕著である。
 d. 腹膜播種転移を起こしやすい。 e. 蛋白漏出を起こしやすい。
1. a, b 2. a, e 3. b, c 4. c, d 5. d, e

解答) スキルスは線維性の結合組織の増殖を特徴としていて、腹膜播種転移をきたしやすいよって、正解は4。

93. 高分化腺癌が転移しやすいのはどこか。

- a. 肺 b. 肝 c. リンパ節 d. 腹膜 e. 骨
1. a, b 2. a, e 3. b, c 4. c, d 5. d, e

解答) bには転移がよく認められるので1か3またリンパ節転移もきたしやすいので正解は3。

94. 65歳の男性。上部消化管透視および内視鏡にて胃体下部前壁に径5cmの粘膜下腫瘍が認められた。この疾患について正しいのはどれか。

- a. リンパ節転移をきたしやすい。 b. 内視鏡による生検で診断は容易である。
 c. c-kit蛋白が陽性であれば分子標的治療薬の効果が期待できる。
 d. 治療の第一選択は外科的切除である。 e. 胃全摘手術の適応である。
1. a, b 2. a, e 3. b, c 4. c, d 5. d, e

eは×よりcd。cはGISTにイマチニブが。 解答 4

95. 54歳の男性。胃癌。開腹すると、遠隔臓器への転移は無く、腹膜播種も見られない。癌腫は上胃部にあって小弯から後壁に及び、明らかに漿膜までの浸潤が見られる。隣接他臓器への浸潤は無い。幽門下リンパ節の数個に転移が疑われる。腫瘍の上縁は食道・胃接合部から20mm離れている。この患者の根治的胃切除術として最も適切なものはどれか。

- a. 開胸・開腹による下部食道・上部胃切除術 b. 胃全摘術
 c. 噴門側胃亜全摘術 d. 分節胃切除術 e. 幽門側胃亜全摘術
1. a 2. b 3. c 4. d 5. e

解答) まず進行がんは2cm以上のマージンをとって切除するので噴門側は切除しなくてはならない。また、幽門側のリンパ節郭清も行う必要があるので、幽門側も切除する必要がある。よって胃全摘術を行う必要がある。正解は2。

96. 抗癌剤の作用機序について正しい記述は次の内どれですか。
- 5-FUはDNA合成障害およびRNA機能障害をもたらす。
 - CDDPはDNA intrastrand cross linkをおこす。
 - CPT-11はDNA Topoisomerase Iの阻害作用がある。
 - Docetaxelは微小管脱重合阻害作用があり、微小管安定化による癌細胞の分裂を阻害する。
- (選択肢がわかりません)

解答) aはそのとおり。bについてはCDDPは2本のDNA鎖間に架橋を形成するので正しい。cはそのとおり。dもそのとおり。よってすべて正しい。

97. 以下の文について間違っているものを選びなさい。
- 癌は遺伝的要因がほとんどを規定する疾患である。
 - ヒトの癌の原因となるウイルスは見つかっていない。
 - ウイルスの癌遺伝子の中には、元来ヒトの遺伝子に存在するものがある。
 - Kunudsonの2ヒットセオリーとは、癌細胞には癌遺伝子と癌抑制遺伝子の両方に異常があることを示す。
 - DNA癌遺伝子には、癌抑制遺伝子の機能を抑制する作用があるものがある。
1. a, b 2. a, c 3. b, d 4. b, e 5. c, d

解答) 2ヒットセオリーは癌抑制遺伝子がヘテロ接合性の消失をおこすことによって癌化が起こるといふ説なのでdはだめ。人の癌の原因となるウイルスも存在するので、bもだめ。よって正解は3。

98. 細胞死について正しいものの組み合わせを選びなさい。
- 細胞死には大きく分けてアポトーシスとネクローシスがある。
 - 抗癌剤は細胞にアポトーシスを起こす。
 - 核の分断化はアポトーシスの特徴である。
 - アポトーシスは遺伝子発現によって制御された細胞死である。
1. a, b 2. a, c, d 3. dのみ 4. 全て

解答) a,c,dは正しい。bについては抗がん剤は能動的細胞死をおこすので、アポトーシスではなく、ネクローシスである。よって正解は2。

99. 糞便検査について正しいものはどれか。
- 閉塞性黄疸では黒色便となる。
 - 脂肪滴はズダンIII染色で青色に染まる。
 - オルトトルイジン反応はグアヤック反応よりも鋭敏である。
 - 免疫学的潜血反応は大腸癌検診に用いられている。
 - 蟯虫卵は肛門周囲にセロテープを貼付して検査する。
1. a, b, c 2. a, b, e 3. a, d, e 4. b, c, d 5. c, d, e

解答) 閉塞性黄疸では灰白色便である。ズダンIII染色陽性は赤色に染まる。c d eはそのとおり。よって正解は5。

100. 腹痛の原因疾患として不適切なものはどれか。
- 腸リンパ管拡張症 b. ポルフィリン症 c. 尿毒症 d. 肺梗塞 e. 糖尿病性アシドーシス
1. a 2. b 3. c 4. d 5. e

解答) 尿毒症は消化器潰瘍をきたすことがあるので腹痛もおこるはず。b d eは腹痛をきたす疾患として有名。よって、正解はa。